

第 56 回ガンカモ類の生息調査
報 告 書
(令和 6 年度)

令和 8 (2026) 年 3 月

環 境 省
自 然 環 境 局

本報告書を英語で引用する場合、以下のとおり記述ください。

Biodiversity Center of Japan, Ministry of the Environment (2026). Annual report of Census on Anatidae Populations in FY2024. Biodiversity Center of Japan, Ministry of the Environment, Yamanashi. Japan

はじめに

我が国は、東アジア地域を季節移動するガン、カモ、ハクチョウ類のフライウェイの一部を構成し、主要な越冬地を提供している。しかしながら、越冬地として適した湖沼や河川、遊水池、干潟などの湿地は、経済の発展とともに環境変化や人為活動、水質汚濁等によって徐々に減少、悪化し、これまでガン、カモ、ハクチョウ類は大きな影響を受けてきた。例えば、かつて東京湾には広大な干潟が広がり、多くのガン、カモ、ハクチョウ類が生息する好適な環境であったが、埋め立てが進んだ現在、目にするのできる種は一部の限られたものとなってしまった。また、ガン類はかつて九州まで広く国内全域に渡来していたが、現在では極めて局所的な越冬地に集中する状態となっている。さらに、我が国への定期的な群れの渡来が見られなくなった種も複数存在する。

昨今のこのような状況から、越冬地の適切な管理や維持を通じたガン、カモ、ハクチョウ類の保全が求められている。我が国のガン、カモ、ハクチョウ類とその生息地を保全することは、フライウェイを介して東アジア地域のガン、カモ、ハクチョウ類保全につながる非常に重要な取り組みである。また、ガン、カモ、ハクチョウ類をはじめとする水鳥は、良好に保たれた水辺環境の指標種としての役割を持っている。そのため、ガン、カモ、ハクチョウ類を含む水鳥の保全が湿地生態系の保全にもつながることは、世界的にも認識されてきている。

本調査は、我が国におけるガン、カモ、ハクチョウ類の冬期の生息状況を把握し、野生生物保護行政に必要な資料を収集することを目的として、環境庁（当時）が発足する以前の昭和45年に、鳥獣行政が林野庁所管の時代に各都道府県の協力を得てスタートした。その後昭和47年からは、野生生物行政の一環として環境庁（当時）が取りまとめを担い、令和6年度調査で第56回を迎えた。本調査の成果として、ガン、カモ、ハクチョウ類の生息状況、渡来傾向、保護管理を図るべき生息地等に関する貴重な資料が得られており、各地の鳥獣保護区指定やラムサール条約湿地を選定するための候補抽出などに活用されている。

本調査の実施にあたっては、都道府県の職員や鳥獣保護管理員、公益財団法人日本野鳥の会、公益財団法人日本鳥類保護連盟、一般社団法人大日本猟友会及び全日本狩猟倶楽部の会員の方々に、ご多忙の中、多大な尽力をいただいた。ここに厚く御礼申し上げますとともに、今後とも調査を継続し、さらに充実した資料とするために、より一層のご協力をお願いする次第である。

令和8年3月

環境省自然環境局 生物多様性センター

目 次

要 約 (Abstract)

第 1 章 調査状況	1
1. 調査目的	1
2. 調査方法	1
3. 調査期日	1
4. 調査規模	2
5. 調査結果の整理	7
6. 亜種の扱い	7
7. 調査成果の活用	7
第 2 章 令和 6 年度 (第 56 回) 調査結果	8
1. 結果概要	8
2. ハクチョウ類	12
2.1 観察個体数	12
2.2 分布状況	14
2.3 法指定区域別の観察状況	16
2.4 地況別の観察状況	20
3. ガン類	24
3.1 観察個体数	24
3.2 分布状況	27
3.3 法指定区域別の観察状況	29
3.4 地況別の観察状況	34
4. カモ類	38
4.1 観察個体数	38
4.2 分布状況	50
4.3 法指定区域別の観察状況	53
4.4 地況別の観察状況	63
5. 希少なガンカモ類の観察状況	73
5.1 選定基準	73
5.2 希少なガンカモ類の観察状況	74
6. 移入種の観察状況	79
6.1 コブハクチョウ	79
7. 飼養品種の観察状況	81

(参考) 第 56 回ガンカモ類の生息調査実施要領

要 約

環境省は、ガン、カモ、ハクチョウ類の冬期の生息状況を把握し、野生生物保護管理行政に必要な情報を把握するため、都道府県の協力を得て、ガン、カモ、ハクチョウ類の生息状況の把握調査を、毎年1月中旬に全国一斉で実施している。

令和6年度の調査は、実施要領に基づき令和7年1月12日とその前後7日間（計15日間）を原則とし、全国8,732地点において、延べ12,735名の調査員により実施された。

ハクチョウ類は33道府県の633地点において72,985羽、ガン類は25道府県の157地点において282,761羽、カモ類は47都道府県の6,359地点において1,527,663羽が観察された。観察総数は1,883,409羽であり、令和5年度の1,957,147羽と比べ73,738羽減少した。

観察個体数の多かった種を分類群別に示すと、ハクチョウ類はコハクチョウ（44,357羽）、ガン類はマガン（255,689羽）、カモ類はマガモ（361,716羽）であった。

Abstract

Ministry of the Environment has been conducting a waterfowl Anatidae population census during the winter each year in order to confirm the status of wintering swans, geese and ducks and to collect the information necessary for wildlife management. In cooperation with all prefectures, this census is carried out in January simultaneously throughout Japan.

The census of this year was carried out for 15 days in total before and after January 12th, 2025, at 8,732 observatory sites by a total of 12,735 participants.

72,985 swans were confirmed at 633 sites in 33 prefectures, 282,761 geese at 157 sites in 25 prefectures, 1,527,663 ducks at 6,359 sites in 47 prefectures. The total number of waterfowl counted this year has decreased by 73,738 to 1,883,409 compared with the number last year 1,957,147.

The most abundant waterfowl was Tundra Swan (44,357) in swans, Greater White-fronted Goose (255,689) in geese, and Mallard (361,716) in ducks.

第1章 調査状況

1. 調査目的

本調査は国や自治体における野生動物保護管理行政（鳥獣の保護管理、希少種の保全、外来種・鳥インフルエンザ対策等）に効果的に活用されるよう、我が国におけるガン類、カモ類、ハクチョウ類の冬期の生息状況を把握することを目的とした。

2. 調査方法

調査実施に先立ち、過去の調査結果や鳥類保護団体等からの情報に基づいてガン類、カモ類、ハクチョウ類全ての渡来地を抽出し、その位置と地況等を整理した。次いでそれらの中から調査地点を選定した。その際、ハクチョウ類、あるいはガン類の見られる渡来地は全てを選定し、カモ類のみの渡来地については各都道府県の状況（調査体制、調査人数等）に応じて、各都道府県の飛来数を概ね把握できるよう、主要な渡来地を選定した。

現地調査では、調査地点ごとに1名以上の調査員を配置し、双眼鏡や望遠鏡を用いて種ごとに観察個体数を計数した。その他、調査地点での人工給餌の有無や工事の有無、天候なども併せて記録した。

なお、現地調査は各都道府県が主体となり、巻末に示した調査実施要領に従って実施した。

3. 調査期日

現地調査の実施期日は、原則として令和7年1月12日を基準日とした前後1週間（1月5日～19日）としており、都道府県ごとに集中調査日を設定し、天候等の状況によって実施不可能な場合には、その前後に実施することとした（表1-1）。実際は1月5日～19日に8,673地点（約99.3%）で調査が実施された。令和5年度の調査期間に調査された地点数8,552地点（97.9%）と比較すると、調査実施割合は高くなった。また、調査期間より前に調査を実施した地点は12地点（0.1%）、調査期間より後に実施された地点は47地点（0.5%）、調査期日不明の地点は0地点（0.0%）であった。

表 1-1 調査期日

調査期日	令和6年度		令和5年度	
	地点数	割合(%)	地点数	割合(%)
調査日から一週間以前	12	0.1	83	1.0
調査日の前後一週間 (令和6年度は1/5～1/19)	8,673	99.3	8,552	97.9
調査日から一週間以降	47	0.5	48	0.5
不明	0	0.0	1	0.0
合計	8,732	100.0	8,684	100.0

4. 調査規模

令和6年度の調査は、47都道府県の計8,732地点、総面積371,277 haを対象として、総勢3,633名（延べ12,735名で複数地点を調査している場合がある）の調査員によって実施した。

表1-2に令和5年度からの調査継続状況別の調査地点数を示した。令和5年度から継続して実施されている地点は8,504地点、令和6年度新規に調査を行った地点及び令和5年度は調査を休止していたが令和6年度に調査を復活した地点は228地点であった。また、令和5年度は調査を実施したが、令和6年度は調査を休止した地点は566地点であった。

河川や湖沼等の地況別の調査地点数及び調査面積を表1-3に、都道府県別の調査地点数、調査面積、調査人数及び延べ調査人数を表1-4に、都道府県別の調査員の内訳を表1-5に、調査実施地点を図1-1(1)～(2)に示した。

表 1-2 令和5年度からの調査継続状況

調査継続状況		地点数	割合(%)
調査実施	令和5年度より調査継続	8,504	97.4
	令和6年度より調査開始・再開	228	2.6
	合計	8,732	100.0
今年度より調査休止		566	

表 1-3 地況別の調査地点数及び調査面積

地況	調査地点数		調査面積 (ha)	
	地点数	割合 (%)	面積 (ha)	割合 (%)
海岸	797	9.1	109,649	29.5
河口	383	4.4	22,048	5.9
河川	3,058	35.0	70,309	18.9
自然湖沼	533	6.1	105,519	28.4
ダム湖	691	7.9	32,828	8.8
その他人造湖	2,982	34.2	16,070	4.3
その他	288	3.3	14,851	4.0
合計	8,732	100.0	371,277	100.0

【備考】割合は、総観察地点数及び総調査面積に対する、地況別の構成比を示す。

※注：小数以下を四捨五入して表示しているため内訳と合計にずれがある

表 1-4 都道府県別調査規模

都道府県	調査地点数	調査面積 (ha)	調査人数	延べ調査人数
北海道	152	11,945	80	342
青森県	235	11,894	57	303
岩手県	336	4,696	85	419
宮城県	523	17,601	104	585
秋田県	295	13,884	64	382
山形県	335	2,541	57	345
福島県	337	8,704	151	473
茨城県	43	21,815	103	103
栃木県	32	1,525	32	64
群馬県	81	1,806	47	83
埼玉県	169	8,431	199	335
千葉県	338	6,936	131	465
東京都	62	3,692	57	102
神奈川県	272	5,186	82	361
新潟県	23	3,192	65	69
富山県	18	1,057	21	27
石川県	10	10,919	38	40
福井県	17	9,944	42	71
山梨県	108	5,673	75	227
長野県	321	6,273	131	387
岐阜県	124	6,261	83	269
静岡県	137	6,001	99	228
愛知県	146	4,677	69	273
三重県	304	6,981	56	331
滋賀県	185	23,650	387	308
京都府	152	6,390	55	386
大阪府	453	4,578	90	615
兵庫県	245	4,411	137	502
奈良県	117	1,431	44	224
和歌山県	233	2,541	97	515
鳥取県	11	12,260	25	25
島根県	222	22,354	72	324
岡山県	15	6,898	43	44
広島県	313	6,502	54	506
山口県	232	4,755	56	276
徳島県	73	10,209	57	110
香川県	178	4,365	30	350
愛媛県	133	9,299	39	183
高知県	90	5,008	83	112
福岡県	275	3,866	68	325
佐賀県	132	4,236	32	182
長崎県	44	35,931	24	68
熊本県	196	2,303	60	220
大分県	437	5,161	60	513
宮崎県	103	5,020	43	186
鹿児島県	299	4,399	95	301
沖縄県	176	4,081	54	176
合 計	8,732	371,277	3,633	12,735

※注：小数以下を四捨五入して表示しているため内訳と合計にずれがある

表 1-5 都道府県別調査員の内訳

都道府県	調査員人数(人)									
	都道府県 職員	鳥獣保護管理員				鳥獣保護管理員以外				計
		保護団体 関係者	狩猟団体 関係者	両団体 関係者	その他	保護団体 関係者	狩猟団体 関係者	両団体 関係者	その他	
北海道	30	0	11	0	2	22	1	0	14	80
青森県	15	0	26	0	16	0	0	0	0	57
岩手県	0	3	8	24	0	15	21	9	5	85
宮城県	38	0	0	0	61	5	0	0	0	104
秋田県	16	0	28	0	20	0	0	0	0	64
山形県	0	0	48	1	0	0	0	0	8	57
福島県	3	0	68	0	0	74	0	0	6	151
茨城県	0	8	0	0	0	95	0	0	0	103
栃木県	13	7	0	0	2	10	0	0	0	32
群馬県	0	0	0	0	0	47	0	0	0	47
埼玉県	0	0	0	0	0	194	0	0	5	199
千葉県	20	5	90	0	4	0	6	0	6	131
東京都	1	0	0	0	56	0	0	0	0	57
神奈川県	21	3	52	0	6	0	0	0	0	82
新潟県	0	5	0	0	0	57	0	0	3	65
富山県	0	0	0	0	0	6	6	0	9	21
石川県	0	0	0	0	0	38	0	0	0	38
福井県	0	0	0	0	0	42	0	0	0	42
山梨県	17	1	41	0	3	13	0	0	0	75
長野県	22	3	79	0	17	3	0	0	7	131
岐阜県	0	0	0	0	0	83	0	0	0	83
静岡県	0	0	0	0	0	68	1	0	30	99
愛知県	21	4	31	0	3	1	5	0	4	69
三重県	12	0	1	0	7	36	0	0	0	56
滋賀県	0	0	0	0	0	387	0	0	0	387
京都府	0	1	0	0	0	54	0	0	0	55
大阪府	1	0	0	0	0	89	0	0	0	90
兵庫県	1	5	0	0	0	94	0	0	37	137
奈良県	0	0	0	0	1	42	0	1	0	44
和歌山県	2	5	19	5	0	54	1	0	11	97
鳥取県	0	0	0	0	0	25	0	0	0	25
島根県	12	0	38	0	0	0	0	0	22	72
岡山県	0	0	0	0	0	43	0	0	0	43
広島県	5	2	4	0	0	43	0	0	0	54
山口県	1	1	39	0	5	0	8	0	2	56
徳島県	0	0	0	0	0	57	0	0	0	57
香川県	0	5	0	0	0	22	0	0	3	30
愛媛県	0	0	0	0	0	39	0	0	0	39
高知県	2	0	0	38	0	42	0	0	1	83
福岡県	0	8	59	0	1	0	0	0	0	68
佐賀県	0	2	11	11	2	0	3	0	3	32
長崎県	0	0	0	0	0	1	3	0	20	24
熊本県	7	3	33	8	7	0	1	0	1	60
大分県	0	0	0	0	0	2	58	0	0	60
宮崎県	19	0	23	0	1	0	0	0	0	43
鹿児島県	2	0	87	0	6	0	0	0	0	95
沖縄県	27	7	8	0	12	0	0	0	0	54
合 計	308	78	804	87	232	1,803	114	10	197	3,633

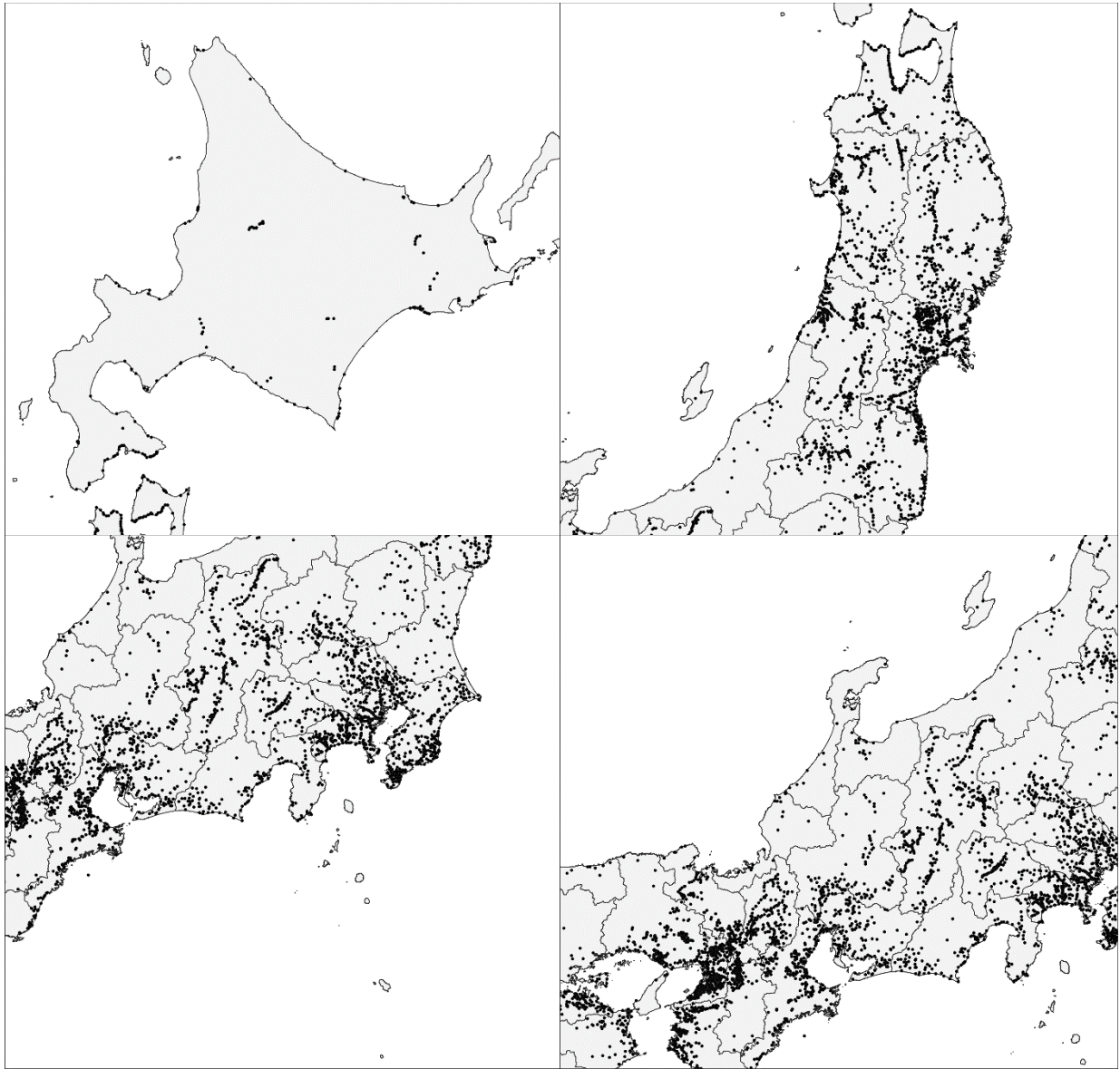


図 1-1(1) 調査実施地点

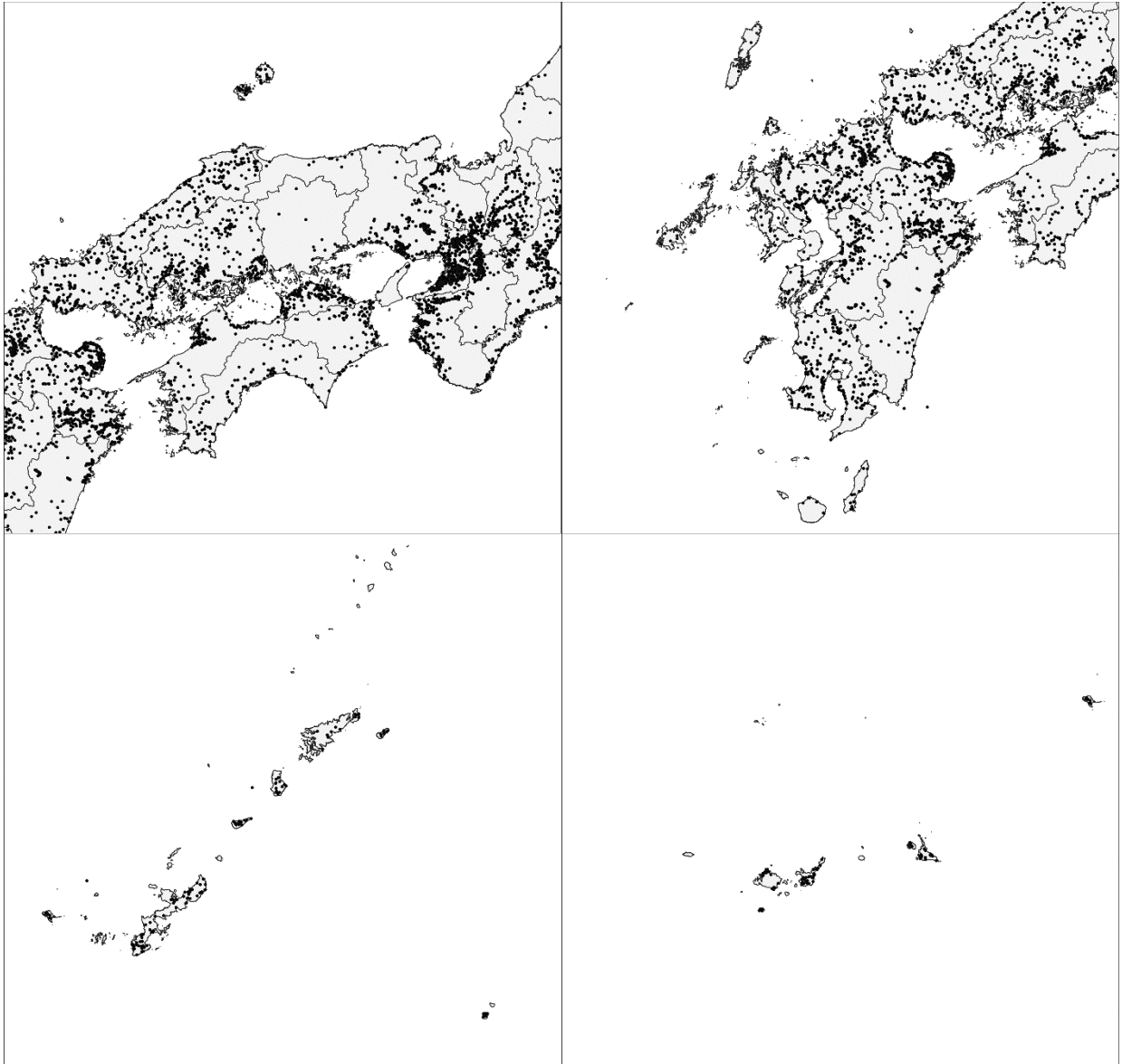


图 1-1(2) 調査実施地点

5. 調査結果の整理

各都道府県からの報告を受けた調査結果について、沿岸性の種の内陸部での記録や、希少種の大きな群れなどの生態学的に疑義が生じる観察記録（以下「生物学的チェック」という。）及び内訳と合計が一致しない箇所の確認（以下「論理的チェック」という。）を行い、これらの疑義について各都道府県に問い合わせを行った。本調査結果はこれらのチェックを経て得られたデータである。

なお、以下のとりまとめでは、調査地点のうち、実際にガン、カモ、ハクチョウ類が1羽でも観察された地点の数を「観察地点数」として示し、ガン、カモ、ハクチョウ類が観察されない地点を含む「調査地点数」と区別している。

6. 亜種の扱い

本報告書で用いているデータは、基本的に亜種を含む種を対象として整理を行っている。

ただし、コハクチョウは、単独で記載している場合は亜種を含む種コハクチョウを意味し、コハクチョウとアメリカコハクチョウを併記している場合は、コハクチョウは亜種コハクチョウを、アメリカコハクチョウは亜種アメリカコハクチョウを意味する。また、シジュウカラガンは、シジュウカラガンと記載している場合は亜種を含む種シジュウカラガン（カナダガンを除く。）を意味する。

7. 調査成果の活用

本調査の結果は、環境省生物多様性センターのウェブサイト (https://www.biodic.go.jp/gankamo/gankamo_top.html) で公開されており、年次報告書及び確定値（都道府県別、調査地点別）が公開されている。

調査成果は、下記のような施策や国際的枠組み等で活用されている。

- 施策への活用：二国間渡り鳥条約会議への情報提供
- 保護地域の見直し：鳥獣保護区更新にあたっての基礎資料として活用
- 国際協力：Asian Waterbird Census への情報提供
- 環境アセスメントへの活用：「鳥類等に関する風力発電施設立地適正化のための手引き」で参照すべきデータとして引用

また、調査成果を利用した研究の報告や発表について生物多様性センターに報告があったものについても、上記ウェブサイトで公表している。

第2章 令和6年度（第56回）調査結果

1. 結果概要

令和6年度の調査では、調査を行った8,732地点のうち6,495地点で、総計1,883,409羽のガン、カモ、ハクチョウ類が観察された。分類群別では、ハクチョウ類72,985羽、ガン類282,761羽、カモ類1,527,663羽であった（図2-1-1）。

都道府県別の観察個体数を表2-1-1に示した。ハクチョウ類が最も多く観察された都道府県は新潟県で、ハクチョウ類全体の28.3%にあたる20,671羽が観察され、次いで宮城県、岩手県でそれぞれ15,642羽（21.4%）、6,789羽（9.3%）が観察された。ガン類が最も多く観察された都道府県は宮城県で、ガン類全体の86.9%にあたる245,795羽が観察され、次いで新潟県、山形県でそれぞれ15,106羽（5.3%）、6,148羽（2.2%）が観察された。また、カモ類が最も多く観察された都道府県は千葉県で、カモ類全体の8.9%にあたる136,334羽が観察され、次いで茨城県、島根県でそれぞれ133,434羽（8.7%）、98,058羽（6.4%）が観察された。

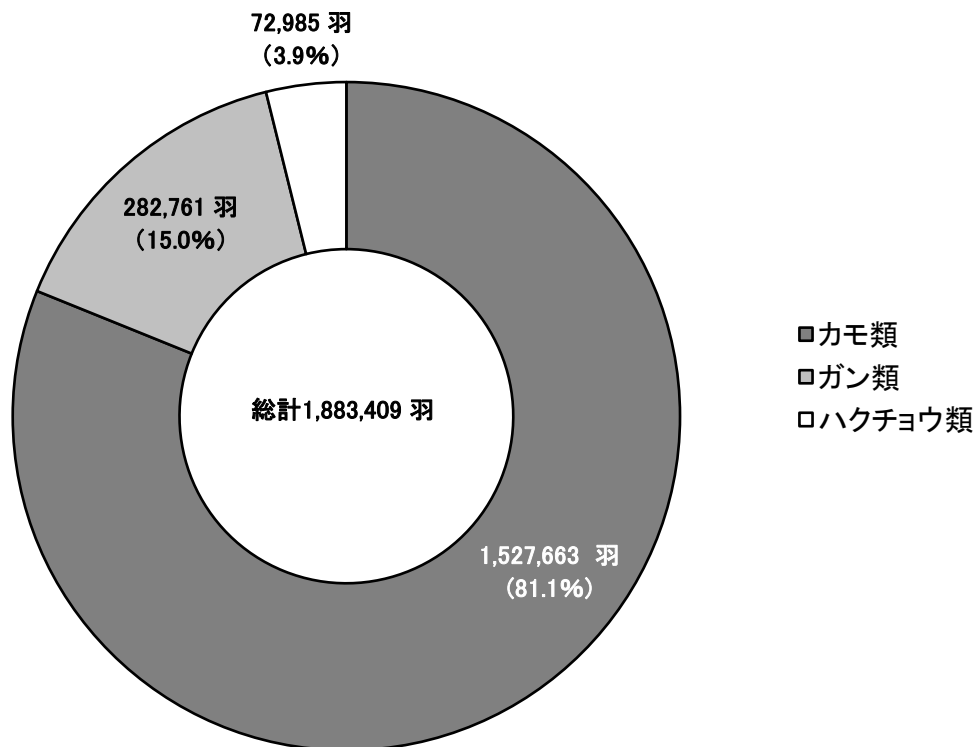


図 2-1-1 ガン、カモ、ハクチョウ類の観察個体数の内訳

表 2-1-1 都道府県別のガン、カモ、ハクチョウ類の観察個体数

都道府県	観察地点数	ハクチョウ類		ガン類		カモ類		合計	
		観察個体数 (羽)	国内割合 (%)	観察個体数 (羽)	国内割合 (%)	観察個体数 (羽)	国内割合 (%)	観察個体数 (羽)	国内割合 (%)
北海道	138	2,732	3.7	262	0.1	7,958	0.5	10,952	0.6
青森県	163	1,825	2.5	364	0.1	6,758	0.4	8,947	0.5
岩手県	246	6,789	9.3	3,542	1.3	22,399	1.5	32,730	1.7
宮城県	337	15,642	21.4	245,795	86.9	44,053	2.9	305,490	16.2
秋田県	171	1,246	1.7	4,132	1.5	12,673	0.8	18,051	1.0
山形県	194	6,570	9.0	6,148	2.2	31,633	2.1	44,351	2.4
福島県	267	5,209	7.1	64	<0.05	36,742	2.4	42,015	2.2
茨城県	43	1,807	2.5	50	<0.05	133,434	8.7	135,291	7.2
栃木県	32	335	0.5	0	—	15,171	1.0	15,506	0.8
群馬県	77	191	0.3	0	—	10,986	0.7	11,177	0.6
埼玉県	157	101	0.1	0	—	24,174	1.6	24,275	1.3
千葉県	255	1,388	1.9	30	<0.05	136,334	8.9	137,752	7.3
東京都	58	0	—	0	—	12,887	0.8	12,887	0.7
神奈川県	177	0	—	4	<0.05	7,838	0.5	7,842	0.4
新潟県	23	20,671	28.3	15,106	5.3	78,055	5.1	113,832	6.0
富山県	18	1,290	1.8	1	<0.05	16,385	1.1	17,676	0.9
石川県	10	3,428	4.7	2,231	0.8	74,730	4.9	80,389	4.3
福井県	17	248	0.3	239	0.1	21,843	1.4	22,330	1.2
山梨県	50	82	0.1	0	—	2,584	0.2	2,666	0.1
長野県	199	182	0.2	0	—	15,007	1.0	15,189	0.8
岐阜県	117	1	<0.05	1	<0.05	26,530	1.7	26,532	1.4
静岡県	128	7	<0.05	0	—	25,432	1.7	25,439	1.4
愛知県	125	0	—	0	—	41,307	2.7	41,307	2.2
三重県	249	0	—	16	<0.05	49,773	3.3	49,789	2.6
滋賀県	177	647	0.9	242	0.1	85,862	5.6	86,751	4.6
京都府	137	22	<0.05	45	<0.05	22,803	1.5	22,870	1.2
大阪府	377	0	—	0	—	34,809	2.3	34,809	1.8
兵庫県	213	28	<0.05	0	—	36,381	2.4	36,409	1.9
奈良県	107	0	—	0	—	14,552	1.0	14,552	0.8
和歌山県	152	0	—	2	<0.05	12,771	0.8	12,773	0.7
鳥取県	10	269	0.4	661	0.2	16,106	1.1	17,036	0.9
島根県	146	2,192	3.0	3,746	1.3	98,058	6.4	103,996	5.5
岡山県	14	0	—	0	—	17,217	1.1	17,217	0.9
広島県	262	1	<0.05	0	—	30,984	2.0	30,985	1.6
山口県	186	0	—	0	—	19,320	1.3	19,320	1.0
徳島県	70	2	<0.05	0	—	23,689	1.6	23,691	1.3
香川県	150	5	<0.05	0	—	14,628	1.0	14,633	0.8
愛媛県	116	0	—	0	—	27,933	1.8	27,933	1.5
高知県	57	0	—	0	—	28,813	1.9	28,813	1.5
福岡県	199	20	<0.05	13	<0.05	24,537	1.6	24,570	1.3
佐賀県	101	0	—	50	<0.05	48,392	3.2	48,442	2.6
長崎県	42	31	<0.05	7	<0.05	33,923	2.2	33,961	1.8
熊本県	139	0	—	0	—	18,990	1.2	18,990	1.0
大分県	247	20	<0.05	0	—	19,564	1.3	19,584	1.0
宮崎県	64	0	—	0	—	13,695	0.9	13,695	0.7
鹿児島県	203	2	<0.05	0	—	26,723	1.7	26,725	1.4
沖縄県	75	2	<0.05	10	<0.05	3,227	0.2	3,239	0.2
合計	6,495	72,985	100.0	282,761	100.0	1,527,663	100.0	1,883,409	100.0

【備考】 国内割合は、各都道府県の観察個体数の、全国合計に対する構成比を示す。
観察地点数は調査地点のうち、実際にガンカモ類が確認された地点の数を示す。

昭和44年度からの観察個体数の推移と調査地点数をそれぞれ図2-1-2、図2-1-3に示した。令和6年度は、ガン、カモ、ハクチョウ類全体の観察個体数は令和5年度と比べて3.8%減少した。分類群別に見ると、ハクチョウ類では0.7%減少、ガン類では7.7%増加、カモ類では5.8%の減少であった。

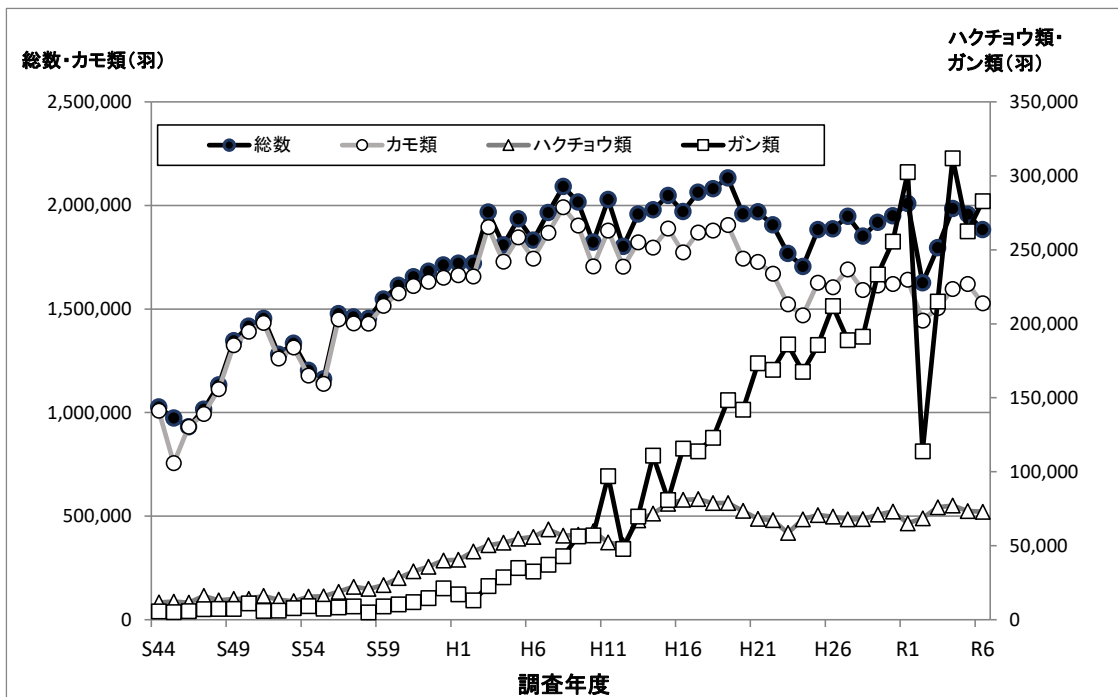


図 2-1-2 昭和 44 年度からのガン、カモ、ハクチョウ類観察個体数の推移

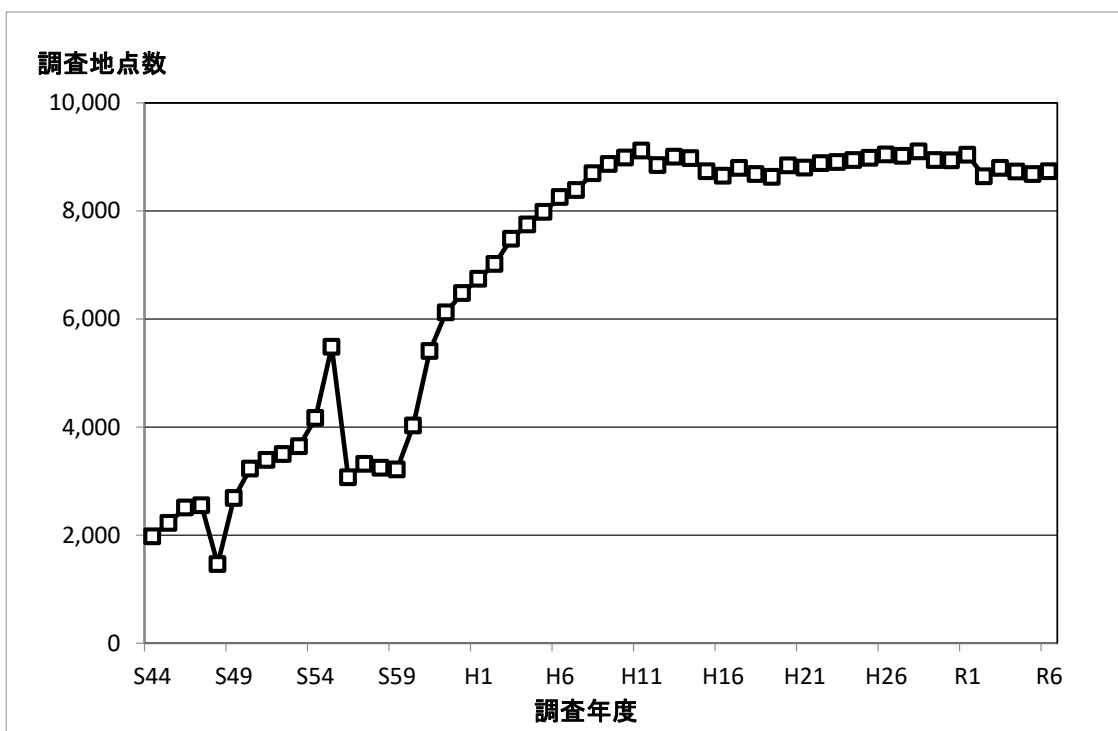


図 2-1-3 昭和 44 年度からの調査地点数の推移

令和6年度にガン、カモ、ハクチョウ類が観察されている調査地域のうち上位10地域を過去2か年度（令和5年度と令和4年度）の観察個体数とともに表2-1-2に示した（調査地域とは、都道府県担当者の視点で一体として扱うべき調査地点群であり、複数の調査地点から構成される場合がある。以降同様とする。）。

ラムサール条約湿地の水鳥類に関する登録基準の一つに「定期的に20,000羽以上の水鳥を支える」ことがあるが、令和6年度も含め3年連続で20,000羽以上のガン、カモ、ハクチョウ類が観察されている調査地域は、蕪栗沼、伊豆沼内沼、宍道湖、霞ヶ浦、琵琶湖、印旛沼、北浦、諫早湾の8地域であった。このうち蕪栗沼、伊豆沼内沼、宍道湖、琵琶湖の4地域は既にラムサール条約湿地である。

表 2-1-2 ガン、カモ、ハクチョウ類観察個体数上位 10 地域

順位	地域名	所在地	観察個体数 (羽)	国内割 合(%)	過去の観察個体数(羽)	
					R5	R4
1	蕪栗沼*	宮城県大崎市田尻	122,289 *	6.5	151,580 *	176,588 *
2	伊豆沼内沼*	宮城県登米市他	98,385 *	5.2	66,490 *	85,621 *
3	宍道湖*	島根県松江市	79,708 *	4.2	103,424 *	34,010 *
4	霞ヶ浦*	茨城県行方市他	77,767 *	4.1	76,557 *	65,679 *
5	琵琶湖*	滋賀県野洲市他	59,996 *	3.2	90,140 *	58,060 *
6	印旛沼*	千葉県成田市他	51,388 *	2.7	40,731 *	37,264 *
7	河北潟	石川県金沢市	35,215 *	1.9	—	27,049 *
8	北浦*	茨城県鉾田市他	28,341 *	1.5	32,775 *	32,889 *
9	諫早湾*	長崎県諫早市	25,944 *	1.4	28,274 *	61,927 *
10	化女沼	宮城県大崎市	22,274 *	1.2	6,271	19,280
—	その他	—	1,282,102	68.1	1,360,905	1,386,700
	全国計		1,883,409	100.0	1,957,147	1,985,067

【備考】 20,000羽以上の記録とそれが最近3年間継続している地域名は*を付けて太字で示した。
国内割合は、各地域の観察個体数の、全国合計に対する構成比を示す。
R5の「河北潟」は調査休止のため観察個体数の情報なし。

2. ハクチョウ類

2.1 観察個体数

ハクチョウ類の令和6年度の観察個体数の種別割合を図2-2-1に示した。

令和6年度の調査では、33道府県の633地点において72,985羽のハクチョウ類が観察された。主な種を見ると、オオハクチョウが28,025羽、コハクチョウ(アメリカコハクチョウを含む、以降同様)が44,357羽(うち、アメリカコハクチョウ32羽)観察された。また、その他として、移入種であるコブハクチョウ(詳細は、6. 移入種の観察状況を参照)が215羽、種不明が388羽観察された(計603羽)。令和6年度のハクチョウ類の観察個体数は、令和5年度と比較してオオハクチョウは1.5%増加し、コハクチョウは1.2%減少した。

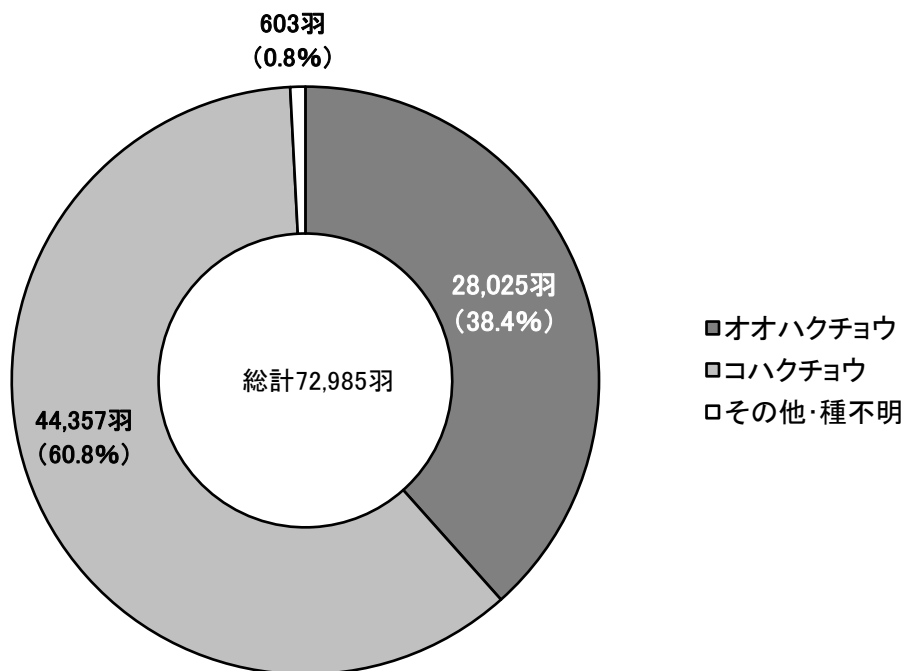
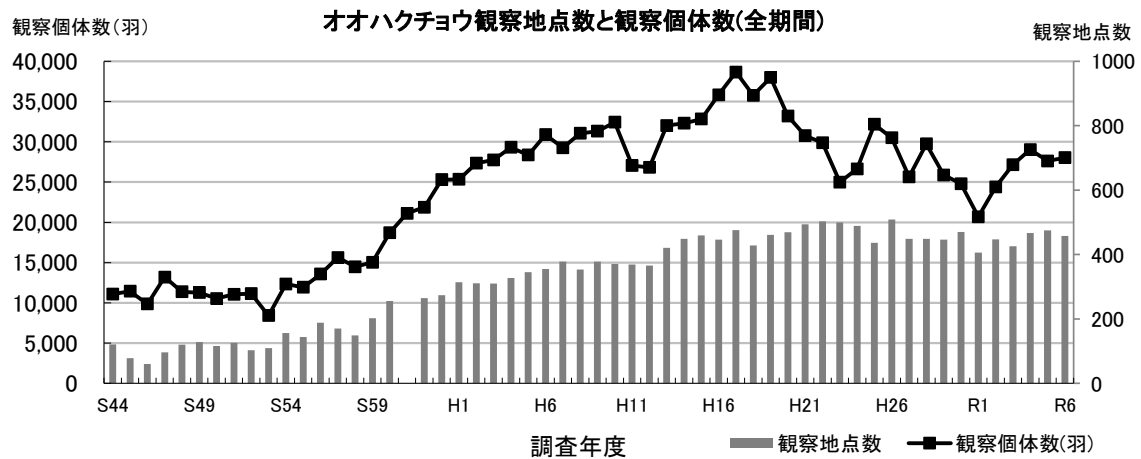


図 2-2-1 ハクチョウ類の観察個体数の内訳

(1) オオハクチョウ

観察状況の最近20年間における経年的な変化を見ると、観察地点数については、概ね400～500地点で推移している。観察個体数については、平成17年度に38,000羽程度まで増加した後、増減しつつもやや減少傾向が見られ、近年は概ね20,000～30,000羽で推移している。

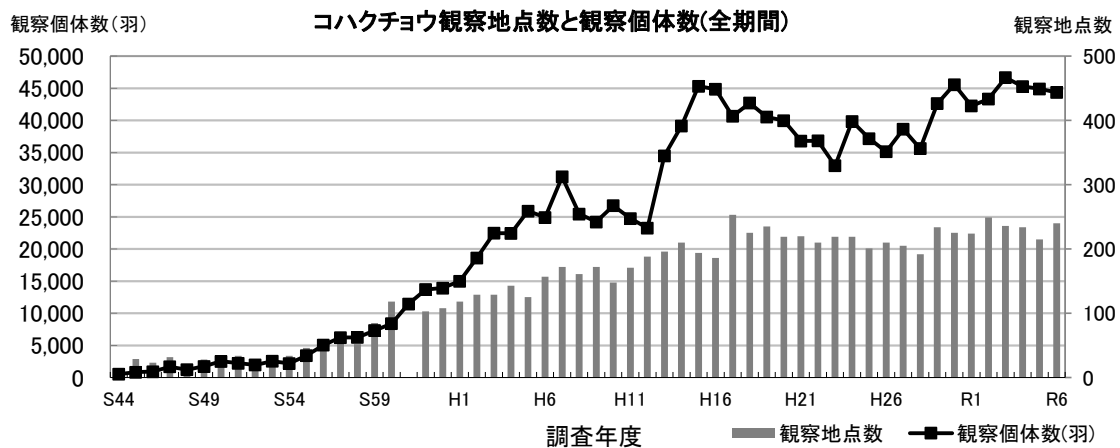


*昭和61年度は観測地点数を集計していない

図 2-2-2(1) オオハクチョウの観察状況の推移

(2) コハクチョウ

観察状況の最近20年間における経年的な変化を見ると、観察地点数については、概ね150～250地点で推移している。観察個体数については、平成15年度の45,000羽程度から平成23年度にかけて減少傾向が見られたものの、平成24年度以降は増加傾向に転じ、近年は40,000羽以上で推移している。



*昭和61年度は観測地点数を集計していない。

図 2-2-2(2) コハクチョウの観察状況の推移

2.2 分布状況

ハクチョウ類について、令和6年度の都道府県別調査結果を表2-2-1に示した。

ハクチョウ類全体では、東北地方（37,281羽）、北陸（25,637羽）で観察個体数が多く、これら2つの地域で全国の86.2%にあたる62,918羽が観察された。都道府県別の観察個体数を見ると、特に新潟県、宮城県では観察個体数が10,000羽を越えており、2県のみで全体の49.8%にあたる36,313羽が観察された。ハクチョウ類における種毎の観察状況は以下のとおり。

(1) オオハクチョウ

北海道、東北地方（青森県、岩手県、宮城県、秋田県、山形県、福島県）、茨城県及び新潟県で観察個体数が多く、コハクチョウよりも高緯度寄りに分布している。都道府県別に観察個体数を見ると、宮城県が唯一10,000羽を超え、11,285羽観察された。

(2) コハクチョウ

全体的にオオハクチョウより低緯度まで分布しており、朝鮮半島方面から渡ってくるものが知られている島根県では2,176羽が観察された。都道府県別に観察個体数を見ると、新潟県が唯一10,000羽を超え19,500羽観察された。

表 2-2-1 都道府県別のハクチョウ類観察地点数及び観察個体数

都道府県	観察地点数	観察個体数（羽）			
		オオハクチョウ	コハクチョウ	その他・種不明	合計
北海道	37	2,551	168	13	2,732
青森県	92	1,429	269	127	1,825
岩手県	74	4,279	2,454	56	6,789
宮城県	146	11,285	4,326	31	15,642
秋田県	50	873	330	43	1,246
山形県	56	823	5,699	48	6,570
福島県	68	3,143	1,936	130	5,209
茨城県	18	1,257	534	16	1,807
栃木県	4	318	17	0	335
群馬県	1	115	76	0	191
埼玉県	5	3	97	1	101
千葉県	6	80	1,300	8	1,388
東京都	0	0	0	0	0
神奈川県	0	0	0	0	0
新潟県	19	1,169	19,500	2	20,671
富山県	4	617	673	0	1,290
石川県	6	0	3,428	0	3,428
福井県	3	0	248	0	248
山梨県	3	0	0	82	82
長野県	7	0	181	1	182
岐阜県	1	0	1	0	1
静岡県	2	5	0	2	7
愛知県	0	0	0	0	0
三重県	0	0	0	0	0
滋賀県	2	1	646	0	647
京都府	1	21	0	1	22
大阪府	0	0	0	0	0
兵庫県	3	2	26	0	28
奈良県	0	0	0	0	0
和歌山県	0	0	0	0	0
鳥取県	5	0	264	5	269
島根県	6	8	2,176	8	2,192
岡山県	0	0	0	0	0
広島県	1	0	1	0	1
山口県	0	0	0	0	0
徳島県	1	0	2	0	2
香川県	3	0	0	5	5
愛媛県	0	0	0	0	0
高知県	0	0	0	0	0
福岡県	5	5	3	12	20
佐賀県	0	0	0	0	0
長崎県	1	31	0	0	31
熊本県	0	0	0	0	0
大分県	1	10	0	10	20
宮崎県	0	0	0	0	0
鹿児島県	1	0	0	2	2
沖縄県	1	0	2	0	2
観察 都道府県数		22	26	21	33
合計	633	28,025	44,357	603	72,985

2.3 法指定区域別の観察状況

「鳥獣の保護及び管理並びに狩猟の適正化に関する法律（平成14年法律第88号）」（以下「鳥獣保護管理法」）によって、鳥獣保護区や休猟区などに指定されている区域別のハクチョウ類観察状況を、表2-2-2～表2-2-5及び図2-2-3に示した。

ハクチョウ類の観察地点のうち、鳥獣保護区に該当する地点は全体の27.0%にあたる171地点であり、これらの地点では全観察個体数の44.2%にあたる32,275羽が観察された。また、鳥獣保護区に、休猟区、鳥獣保護管理法施行規則第7条第1項第7号ハからチに該当する区域（公道、墓地など）、特定猟具使用禁止区域及び特定猟具使用制限区域を加えた、狩猟または銃猟が禁止・制限された区域に該当する地点については、349地点（55.1%）で47,232羽（64.7%）が観察された。狩猟または銃猟の制限されていない猟区とその他の区域については、284地点（44.9%）で、25,753羽（35.3%）が観察された。

表2-2-2 法指定区域別のハクチョウ類観察状況

項目	鳥獣保護区		休猟区		施行規則第7条第1項第7号ハからチの区域		特定猟具使用禁止区域		特定猟具使用制限区域		猟区		その他の区域		合計		
	調査地点数(箇所)	項目内割合(%)	調査地点数(箇所)	項目内割合(%)	調査地点数(箇所)	項目内割合(%)	調査地点数(箇所)	項目内割合(%)	調査地点数(箇所)	項目内割合(%)	調査地点数(箇所)	項目内割合(%)	調査地点数(箇所)	項目内割合(%)	調査地点数(箇所)	項目内割合(%)	
調査地点数(箇所)	1,713	19.6	59	0.7	148	1.7	2,827	32.4	47	0.5	164	1.9	3,774	43.2	8,732	100.0	
調査地点面積 (ha)	189,514	51.0	839	0.2	3,106	0.8	68,440	18.4	1,841	0.5	5,167	1.4	102,370	27.6	371,277	100.0	
観察地点数(箇所)	オオハクチョウ	128	27.9	1	0.2	5	1.1	101	22.1	15	3.3	15	3.3	193	42.1	458	100.0
	コハクチョウ	58	24.2	2	0.8	8	3.3	59	24.6	3	1.3	7	2.9	103	42.9	240	100.0
	コブハクチョウ	23	59.0	0	—	1	2.6	9	23.1	0	—	0	—	6	15.4	39	100.0
	その他・種不明	7	33.3	0	—	0	—	4	19.0	0	—	2	9.5	8	38.1	21	100.0
	合計	171	27.0	3	0.5	11	1.7	148	23.4	16	2.5	20	3.2	264	41.7	633	100.0
観察個体数(羽)	オオハクチョウ	9,620	34.3	146	0.5	189	0.7	6,640	23.7	1,645	5.9	863	3.1	8,922	31.8	28,025	100.0
	コハクチョウ	22,337	50.4	5	0.0	315	0.7	5,835	13.2	121	0.3	1,265	2.9	14,479	32.6	44,357	100.0
	コブハクチョウ	178	82.8	0	—	1	0.5	16	7.4	0	—	0	—	20	9.3	215	100.0
	その他・種不明	140	36.1	0	—	0	—	44	11.3	0	—	25	6.4	179	46.1	388	100.0
	合計	32,275	44.2	151	0.2	505	0.7	12,535	17.2	1,766	2.4	2,153	2.9	23,600	32.3	72,985	100.0

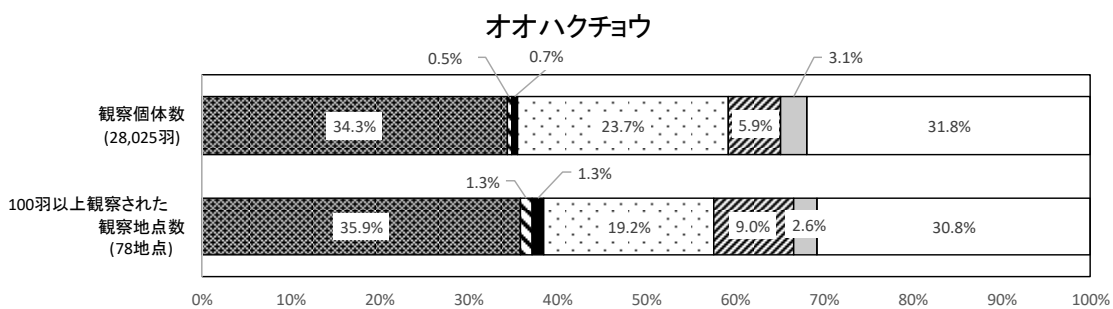
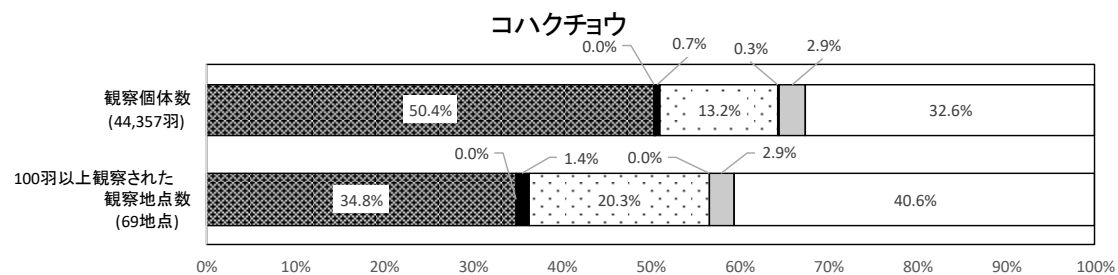
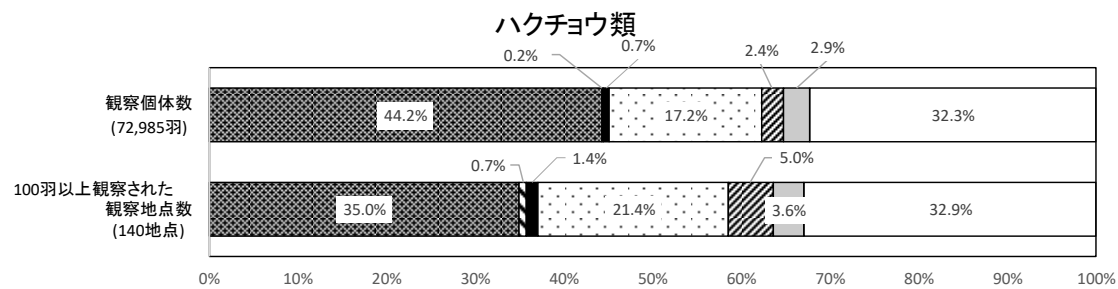
【備考】項目内割合は、各行の項目の合計に対する法指定区域別の構成比を示す。
観察地点数の合計は、種別の観察地点数の単純合計ではない(重複地点を除いている)。

表 2-2-3 法指定区域別のハクチョウ類観察状況（個体数の下限有）

項目	観察個体数(羽) *注	鳥獣保護区		休猟区		施行規則第7条第1項第7号ハからチの区域		特定猟具使用禁止区域		特定猟具使用制限区域		猟区		その他の区域		合計		
		調査地点数(箇所)	項目内割合(%)	調査地点数(箇所)	項目内割合(%)	調査地点数(箇所)	項目内割合(%)	調査地点数(箇所)	項目内割合(%)	調査地点数(箇所)	項目内割合(%)	調査地点数(箇所)	項目内割合(%)	調査地点数(箇所)	項目内割合(%)	調査地点数(箇所)	項目内割合(%)	
調査地点数(箇所)		1,713	19.6	59	0.7	148	1.7	2,827	32.4	47	0.5	164	1.9	3,774	43.2	8,732	100.0	
調査地点面積 (ha)		189,514	51.0	839	0.2	3,106	0.8	68,440	18.4	1,841	0.5	5,167	1.4	102,370	27.6	371,277	100.0	
観察地点数	オオハクチョウ	100	28	35.9	1	1.3	1	1.3	15	19.2	7	9.0	2	2.6	24	30.8	78	100.0
	コハクチョウ	100	24	34.8	0	—	1	1.4	14	20.3	0	—	2	2.9	28	40.6	69	100.0
	ハクチョウ類合計	100	49	35.0	1	0.7	2	1.4	30	21.4	7	5.0	5	3.6	46	32.9	140	100.0

*注：各項目別の観察個体数に下限を設定した観察地点数を表す。

【備考】項目内割合は、各行の項目の合計に対する法指定区域別の構成比を示す。



- 鳥獣保護区
- 施行規則第7条第1項第7号ハからチの区域
- ▨ 特定猟具使用制限区域
- その他
- 休猟区
- 特定猟具使用禁止区域
- 猟区

図 2-2-3 法指定区域別のハクチョウ類観察状況

表2-2-4 法指定区域別のハクチョウ類観察地点数（都道府県別）

都道府県	法指定区域等														合計
	鳥獣保護区		休猟区		施行規則第7条 第1項第7号ハ からチの区域		特定猟具使用 禁止区域		特定猟具使用 制限区域		猟区		その他の区域		
	観察地点 数	都道府 県内割 合(%)	観察地点 数	都道府 県内割 合(%)	観察地点 数	都道府 県内割 合(%)	観察地点 数	都道府 県内割 合(%)	観察地点 数	都道府 県内割 合(%)	観察地点 数	都道府 県内割 合(%)	観察地点 数	都道府 県内割 合(%)	
北海道	12	32.4	0	—	2	5.4	6	16.2	0	—	0	—	17	45.9	37
青森県	25	27.2	0	—	1	1.1	6	6.5	0	—	1	1.1	59	64.1	92
岩手県	7	9.5	0	—	0	—	39	52.7	1	1.4	0	—	27	36.5	74
宮城県	38	26.0	1	0.7	0	—	21	14.4	13	8.9	9	6.2	64	43.8	146
秋田県	12	24.0	0	—	0	—	4	8.0	0	—	0	—	34	68.0	50
山形県	6	10.7	0	—	0	—	22	39.3	0	—	1	1.8	27	48.2	56
福島県	16	23.5	0	—	6	8.8	20	29.4	1	1.5	6	8.8	19	27.9	68
茨城県	13	72.2	0	—	0	—	4	22.2	0	—	1	5.6	0	—	18
栃木県	2	50.0	0	—	0	—	0	—	0	—	0	—	2	50.0	4
群馬県	1	100.0	0	—	0	—	0	—	0	—	0	—	0	—	1
埼玉県	1	20.0	0	—	0	—	3	60.0	1	20.0	0	—	0	—	5
千葉県	3	50.0	0	—	0	—	3	50.0	0	—	0	—	0	—	6
東京都	0	—	0	—	0	—	0	—	0	—	0	—	0	—	0
神奈川県	0	—	0	—	0	—	0	—	0	—	0	—	0	—	0
新潟県	11	57.9	0	—	0	—	2	10.5	0	—	1	5.3	5	26.3	19
富山県	1	25.0	0	—	0	—	0	—	0	—	0	—	3	75.0	4
石川県	5	83.3	0	—	0	—	1	16.7	0	—	0	—	0	—	6
福井県	0	—	0	—	0	—	2	66.7	0	—	0	—	1	33.3	3
山梨県	3	100.0	0	—	0	—	0	—	0	—	0	—	0	—	3
長野県	0	—	0	—	2	28.6	2	28.6	0	—	0	—	3	42.9	7
岐阜県	1	100.0	0	—	0	—	0	—	0	—	0	—	0	—	1
静岡県	1	50.0	0	—	0	—	0	—	0	—	0	—	1	50.0	2
愛知県	0	—	0	—	0	—	0	—	0	—	0	—	0	—	0
三重県	0	—	0	—	0	—	0	—	0	—	0	—	0	—	0
滋賀県	1	50.0	0	—	0	—	1	50.0	0	—	0	—	0	—	2
京都府	1	100.0	0	—	0	—	0	—	0	—	0	—	0	—	1
大阪府	0	—	0	—	0	—	0	—	0	—	0	—	0	—	0
兵庫県	1	33.3	0	—	0	—	2	66.7	0	—	0	—	0	—	3
奈良県	0	—	0	—	0	—	0	—	0	—	0	—	0	—	0
和歌山県	0	—	0	—	0	—	0	—	0	—	0	—	0	—	0
鳥取県	2	40.0	0	—	0	—	3	60.0	0	—	0	—	0	—	5
島根県	4	66.7	0	—	0	—	2	33.3	0	—	0	—	0	—	6
岡山県	0	—	0	—	0	—	0	—	0	—	0	—	0	—	0
広島県	0	—	0	—	0	—	0	—	0	—	0	—	1	100.0	1
山口県	0	—	0	—	0	—	0	—	0	—	0	—	0	—	0
徳島県	0	—	0	—	0	—	0	—	0	—	1	100.0	0	—	1
香川県	1	33.3	0	—	0	—	2	66.7	0	—	0	—	0	—	3
愛媛県	0	—	0	—	0	—	0	—	0	—	0	—	0	—	0
高知県	0	—	0	—	0	—	0	—	0	—	0	—	0	—	0
福岡県	1	20.0	1	20.0	0	—	2	40.0	0	—	0	—	1	20.0	5
佐賀県	0	—	0	—	0	—	0	—	0	—	0	—	0	—	0
長崎県	1	100.0	0	—	0	—	0	—	0	—	0	—	0	—	1
熊本県	0	—	0	—	0	—	0	—	0	—	0	—	0	—	0
大分県	1	100.0	0	—	0	—	0	—	0	—	0	—	0	—	1
宮崎県	0	—	0	—	0	—	0	—	0	—	0	—	0	—	0
鹿児島県	0	—	0	—	0	—	1	100.0	0	—	0	—	0	—	1
沖縄県	0	—	1	100.0	0	—	0	—	0	—	0	—	0	—	1
合計	171	27.0	3	0.5	11	1.7	148	23.4	16	2.5	20	3.2	264	41.7	633

【備考】都道府県内割合は、各都道府県内での観察地点数の、法指定区域別の構成比を示す。
観察地点数の合計は、種別の観察地点数の単純合計ではない(重複地点を除いている)。

表 2-2-5 法指定区域別のハクチョウ類観察個体数（都道府県別）

都道府県	法指定区域等														
	鳥獣保護区		休猟区		施行規則第7条 第1項第7号ハ からチの区域		特定猟具使用 禁止区域		特定猟具使用 制限区域		猟区		その他の区域		合計
	観察個体 数(羽)	都道府 県内割 合(%)	観察個体 数(羽)	都道府 県内割 合(%)	観察個体 数(羽)	都道府 県内割 合(%)	観察個体 数(羽)	都道府 県内割 合(%)	観察個体 数(羽)	都道府 県内割 合(%)	観察個体 数(羽)	都道府 県内割 合(%)	観察個体 数(羽)	都道府 県内割 合(%)	観察個体 数(羽)
北海道	2,117	77.5	0	—	45	1.6	132	4.8	0	—	0	—	438	16.0	2,732
青森県	753	41.3	0	—	16	0.9	116	6.4	0	—	16	0.9	924	50.6	1,825
岩手県	678	10.0	0	—	0	—	2,083	30.7	17	0.3	0	—	4,011	59.1	6,789
宮城県	2,797	17.9	146	0.9	0	—	3,981	25.5	1,548	9.9	685	4.4	6,485	41.5	15,642
秋田県	832	66.8	0	—	0	—	25	2.0	0	—	0	—	389	31.2	1,246
山形県	3,259	49.6	0	—	0	—	971	14.8	0	—	100	1.5	2,240	34.1	6,570
福島県	1,217	23.4	0	—	442	8.5	1,323	25.4	155	3.0	250	4.8	1,822	35.0	5,209
茨城県	1,529	84.6	0	—	0	—	231	12.8	0	—	47	2.6	0	—	1,807
栃木県	17	5.1	0	—	0	—	0	—	0	—	0	—	318	94.9	335
群馬県	191	100.0	0	—	0	—	0	—	0	—	0	—	0	—	191
埼玉県	4	4.0	0	—	0	—	51	50.5	46	45.5	0	—	0	—	101
千葉県	1,103	79.5	0	—	0	—	285	20.5	0	—	0	—	0	—	1,388
東京都	0	—	0	—	0	—	0	—	0	—	0	—	0	—	0
神奈川県	0	—	0	—	0	—	0	—	0	—	0	—	0	—	0
新潟県	13,597	65.8	0	—	0	—	622	3.0	0	—	1,053	5.1	5,399	26.1	20,671
富山県	129	10.0	0	—	0	—	0	—	0	—	0	—	1,161	90.0	1,290
石川県	2,913	85.0	0	—	0	—	515	15.0	0	—	0	—	0	—	3,428
福井県	0	—	0	—	0	—	16	6.5	0	—	0	—	232	93.5	248
山梨県	82	100.0	0	—	0	—	0	—	0	—	0	—	0	—	82
長野県	0	—	0	—	2	1.1	3	1.6	0	—	0	—	177	97.3	182
岐阜県	1	100.0	0	—	0	—	0	—	0	—	0	—	0	—	1
静岡県	5	71.4	0	—	0	—	0	—	0	—	0	—	2	28.6	7
愛知県	0	—	0	—	0	—	0	—	0	—	0	—	0	—	0
三重県	0	—	0	—	0	—	0	—	0	—	0	—	0	—	0
滋賀県	467	72.2	0	—	0	—	180	27.8	0	—	0	—	0	—	647
京都府	22	100.0	0	—	0	—	0	—	0	—	0	—	0	—	22
大阪府	0	—	0	—	0	—	0	—	0	—	0	—	0	—	0
兵庫県	24	85.7	0	—	0	—	4	14.3	0	—	0	—	0	—	28
奈良県	0	—	0	—	0	—	0	—	0	—	0	—	0	—	0
和歌山県	0	—	0	—	0	—	0	—	0	—	0	—	0	—	0
鳥取県	25	9.3	0	—	0	—	244	90.7	0	—	0	—	0	—	269
島根県	450	20.5	0	—	0	—	1,742	79.5	0	—	0	—	0	—	2,192
岡山県	0	—	0	—	0	—	0	—	0	—	0	—	0	—	0
広島県	0	—	0	—	0	—	0	—	0	—	0	—	1	100.0	1
山口県	0	—	0	—	0	—	0	—	0	—	0	—	0	—	0
徳島県	0	—	0	—	0	—	0	—	0	—	2	100.0	0	—	2
香川県	2	40.0	0	—	0	—	3	60.0	0	—	0	—	0	—	5
愛媛県	0	—	0	—	0	—	0	—	0	—	0	—	0	—	0
高知県	0	—	0	—	0	—	0	—	0	—	0	—	0	—	0
福岡県	10	50.0	3	15.0	0	—	6	30.0	0	—	0	—	1	5.0	20
佐賀県	0	—	0	—	0	—	0	—	0	—	0	—	0	—	0
長崎県	31	100.0	0	—	0	—	0	—	0	—	0	—	0	—	31
熊本県	0	—	0	—	0	—	0	—	0	—	0	—	0	—	0
大分県	20	100.0	0	—	0	—	0	—	0	—	0	—	0	—	20
宮崎県	0	—	0	—	0	—	0	—	0	—	0	—	0	—	0
鹿児島県	0	—	0	—	0	—	2	100.0	0	—	0	—	0	—	2
沖縄県	0	—	2	100.0	0	—	0	—	0	—	0	—	0	—	2
合計	32,275	44.2	151	0.2	505	0.7	12,535	17.2	1,766	2.4	2,153	2.9	23,600	32.3	72,985

【備考】都道府県内割合は、各都道府県内での観察個体数の、法指定区域別の構成比を示す。

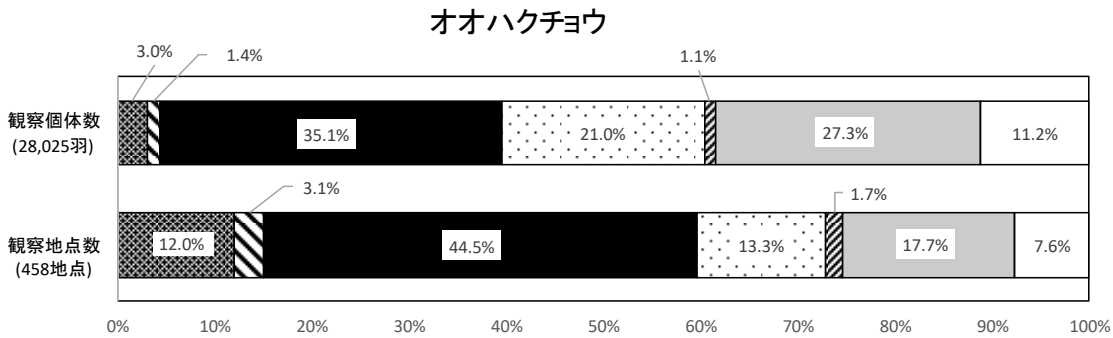
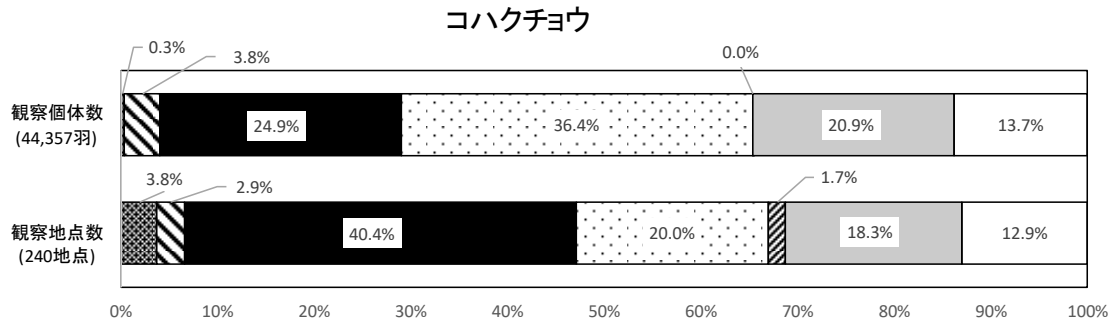
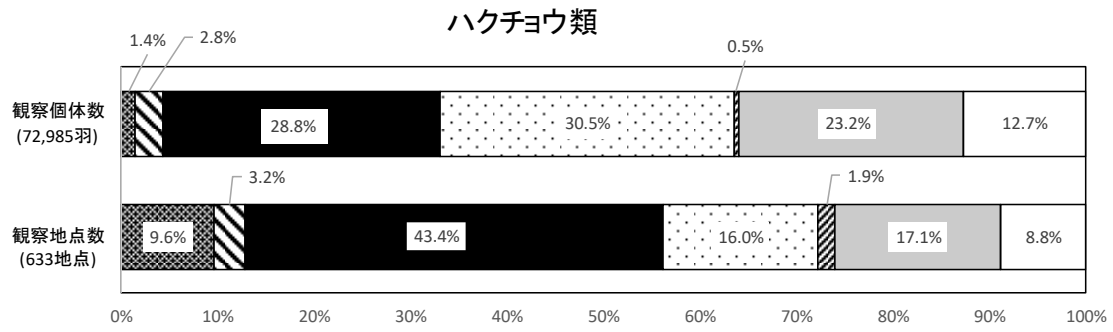
2.4 地況別の観察状況

河川や湖沼等の地況別の観察状況を表2-2-6～表2-2-8及び図2-2-4に示した。ハクチョウ類は海岸、河口やダム湖での観察個体数は少なく、河川、自然湖沼、その他の人造湖で多かった。また、オオハクチョウは河川で最も多く（9,841羽）観察され、コハクチョウは自然湖沼で最も多く（16,132羽）観察された。

表 2-2-6 地況別のハクチョウ類観察状況

項目	区域区分		海岸		河口		河川		自然湖沼		ダム湖		其他人造湖		その他		合計		
		項目内割合 (%)		項目内割合 (%)		項目内割合 (%)		項目内割合 (%)		項目内割合 (%)		項目内割合 (%)		項目内割合 (%)		項目内割合 (%)		項目内割合 (%)	
調査地点数(箇所)	797	9.1	383	4.4	3,058	35.0	533	6.1	691	7.9	2,982	34.2	288	3.3	8,732	100.0			
調査地点面積 (ha)	109,649	29.5	22,049	5.9	70,310	18.9	105,519	28.4	32,829	8.8	16,070	4.3	14,852	4.0	371,277	100.0			
観察地点数 (箇所)	オオハクチョウ	55	12.0	14	3.1	204	44.5	61	13.3	8	1.7	81	17.7	35	7.6	458	100.0		
	コハクチョウ	9	3.8	7	2.9	97	40.4	48	20.0	4	1.7	44	18.3	31	12.9	240	100.0		
	コブハクチョウ	4	10.3	2	5.1	6	15.4	16	41.0	1	2.6	9	23.1	1	2.6	39	100.0		
	その他・種不明	3	14.3	0	—	6	28.6	5	23.8	1	4.8	3	14.3	3	14.3	21	100.0		
	合計	61	9.6	20	3.2	275	43.4	101	16.0	12	1.9	108	17.1	56	8.8	633	100.0		
観察個体数 (羽)	オオハクチョウ	845	3.0	379	1.4	9,841	35.1	5,876	21.0	295	1.1	7,662	27.3	3,127	11.2	28,025	100.0		
	コハクチョウ	132	0.3	1,680	3.8	11,060	24.9	16,132	36.4	19	0.0	9,252	20.9	6,082	13.7	44,357	100.0		
	コブハクチョウ	44	20.5	4	1.9	12	5.6	119	55.3	10	4.7	21	9.8	5	2.3	215	100.0		
	その他・種不明	37	9.5	0	—	120	30.9	105	27.1	30	7.7	15	3.9	81	20.9	388	100.0		
	合計	1,058	1.4	2,063	2.8	21,033	28.8	22,232	30.5	354	0.5	16,950	23.2	9,295	12.7	72,985	100.0		

【備考】項目内割合は、各行の項目の合計に対する地況別の構成比を示す。
観察地点数の合計は、種別の観察地点数の単純合計ではない(重複地点を除いている)。



- 海岸
- 河口
- 河川
- 自然湖沼
- ダム湖
- その他人造湖
- その他

図 2-2-4 地況別のハクチョウ類観察状況

表 2-2-7 地況別のハクチョウ類観察地点数（都道府県別）

都道府県	地況														
	海岸		河口		河川		自然湖沼		ダム湖		その他人造湖		その他		合計
	観察地点数	都道府県内割合(%)	観察地点数	都道府県内割合(%)	観察地点数	都道府県内割合(%)	観察地点数	都道府県内割合(%)	観察地点数	都道府県内割合(%)	観察地点数	都道府県内割合(%)	観察地点数	都道府県内割合(%)	
北海道	5	13.5	3	8.1	13	35.1	15	40.5	0	—	0	—	1	2.7	37
青森県	46	50.0	2	2.2	29	31.5	12	13.0	0	—	3	3.3	0	—	92
岩手県	1	1.4	3	4.1	48	64.9	2	2.7	0	—	14	18.9	6	8.1	74
宮城県	2	1.4	1	0.7	60	41.1	17	11.6	5	3.4	28	19.2	33	22.6	146
秋田県	0	—	2	4.0	34	68.0	5	10.0	0	—	8	16.0	1	2.0	50
山形県	0	—	1	1.8	40	71.4	3	5.4	5	8.9	5	8.9	2	3.6	56
福島県	1	1.5	4	5.9	29	42.6	13	19.1	1	1.5	16	23.5	4	5.9	68
茨城県	1	5.6	1	5.6	0	—	8	44.4	0	—	8	44.4	0	—	18
栃木県	0	—	0	—	1	25.0	0	—	0	—	2	50.0	1	25.0	4
群馬県	0	—	0	—	0	—	1	100.0	0	—	0	—	0	—	1
埼玉県	0	—	0	—	4	80.0	0	—	0	—	1	20.0	0	—	5
千葉県	0	—	0	—	1	16.7	1	16.7	0	—	2	33.3	2	33.3	6
東京都	0	—	0	—	0	—	0	—	0	—	0	—	0	—	0
神奈川県	0	—	0	—	0	—	0	—	0	—	0	—	0	—	0
新潟県	0	—	0	—	5	26.3	6	31.6	0	—	7	36.8	1	5.3	19
富山県	0	—	0	—	1	25.0	0	—	0	—	1	25.0	2	50.0	4
石川県	1	16.7	0	—	0	—	5	83.3	0	—	0	—	0	—	6
福井県	0	—	0	—	2	66.7	0	—	0	—	0	—	1	33.3	3
山梨県	0	—	0	—	0	—	2	66.7	0	—	1	33.3	0	—	3
長野県	0	—	0	—	3	42.9	1	14.3	0	—	3	42.9	0	—	7
岐阜県	0	—	0	—	1	100.0	0	—	0	—	0	—	0	—	1
静岡県	1	50.0	0	—	0	—	0	—	0	—	1	50.0	0	—	2
愛知県	0	—	0	—	0	—	0	—	0	—	0	—	0	—	0
三重県	0	—	0	—	0	—	0	—	0	—	0	—	0	—	0
滋賀県	0	—	0	—	0	—	2	100.0	0	—	0	—	0	—	2
京都府	0	—	0	—	0	—	1	100.0	0	—	0	—	0	—	1
大阪府	0	—	0	—	0	—	0	—	0	—	0	—	0	—	0
兵庫県	0	—	0	—	1	33.3	0	—	0	—	2	66.7	0	—	3
奈良県	0	—	0	—	0	—	0	—	0	—	0	—	0	—	0
和歌山県	0	—	0	—	0	—	0	—	0	—	0	—	0	—	0
鳥取県	1	20.0	0	—	3	60.0	1	20.0	0	—	0	—	0	—	5
島根県	0	—	1	16.7	0	—	4	66.7	0	—	0	—	1	16.7	6
岡山県	0	—	0	—	0	—	0	—	0	—	0	—	0	—	0
広島県	0	—	0	—	0	—	1	100.0	0	—	0	—	0	—	1
山口県	0	—	0	—	0	—	0	—	0	—	0	—	0	—	0
徳島県	0	—	1	100.0	0	—	0	—	0	—	0	—	0	—	1
香川県	0	—	0	—	0	—	0	—	0	—	3	100.0	0	—	3
愛媛県	0	—	0	—	0	—	0	—	0	—	0	—	0	—	0
高知県	0	—	0	—	0	—	0	—	0	—	0	—	0	—	0
福岡県	1	20.0	1	20.0	0	—	0	—	1	20.0	2	40.0	0	—	5
佐賀県	0	—	0	—	0	—	0	—	0	—	0	—	0	—	0
長崎県	1	100.0	0	—	0	—	0	—	0	—	0	—	0	—	1
熊本県	0	—	0	—	0	—	0	—	0	—	0	—	0	—	0
大分県	0	—	0	—	0	—	0	—	0	—	1	100.0	0	—	1
宮崎県	0	—	0	—	0	—	0	—	0	—	0	—	0	—	0
鹿児島県	0	—	0	—	0	—	1	100.0	0	—	0	—	0	—	1
沖縄県	0	—	0	—	0	—	0	—	0	—	0	—	1	100.0	1
合計	61	9.6	20	3.2	275	43.4	101	16.0	12	1.9	108	17.1	56	8.8	633

【備考】都道府県内割合は、各都道府県内での観察地点数の、地況別の構成比を示す。
観察地点数の合計は、種別の観察地点数の単純合計ではない(重複地点を除いている)。

表 2-2-8 地況別のハクチョウ類観察個体数（都道府県別）

都道府県	地況														合計
	海岸		河口		河川		自然湖沼		ダム湖		その他人造湖		その他		
	観察 個体数 (羽)	都道府 県内割 合(%)	観察 個体数 (羽)	都道府 県内割 合(%)	観察 個体数 (羽)	都道府 県内割 合(%)	観察 個体数 (羽)	都道府 県内割 合(%)	観察 個体数 (羽)	都道府 県内割 合(%)	観察 個体数 (羽)	都道府 県内割 合(%)	観察 個体数 (羽)	都道府 県内割 合(%)	
北海道	77	2.8	190	7.0	130	4.8	2,313	84.7	0	—	0	—	22	0.8	2,732
青森県	802	43.9	43	2.4	353	19.3	267	14.6	0	—	360	19.7	0	—	1,825
岩手県	4	0.1	69	1.0	1,974	29.1	255	3.8	0	—	3,374	49.7	1,113	16.4	6,789
宮城県	8	0.1	2	0.0	6,151	39.3	1,812	11.6	209	1.3	3,461	22.1	3,999	25.6	15,642
秋田県	0	—	8	0.6	203	16.3	316	25.4	0	—	695	55.8	24	1.9	1,246
山形県	0	—	1,589	24.2	3,016	45.9	1,548	23.6	99	1.5	158	2.4	160	2.4	6,570
福島県	36	0.7	151	2.9	2,638	50.6	801	15.4	36	0.7	1,125	21.6	422	8.1	5,209
茨城県	58	3.2	4	0.2	0	—	1,133	62.7	0	—	612	33.9	0	—	1,807
栃木県	0	—	0	—	23	6.9	0	—	0	—	17	5.1	295	88.1	335
群馬県	0	—	0	—	0	—	191	100.0	0	—	0	—	0	—	191
埼玉県	0	—	0	—	98	97.0	0	—	0	—	3	3.0	0	—	101
千葉県	0	—	0	—	1	0.1	2	0.1	0	—	1,160	83.6	225	16.2	1,388
東京都	0	—	0	—	0	—	0	—	0	—	0	—	0	—	0
神奈川県	0	—	0	—	0	—	0	—	0	—	0	—	0	—	0
新潟県	0	—	0	—	5,950	28.8	8,856	42.8	0	—	5,816	28.1	49	0.2	20,671
富山県	0	—	0	—	90	7.0	0	—	0	—	129	10.0	1,071	83.0	1,290
石川県	21	0.6	0	—	0	—	3,407	99.4	0	—	0	—	0	—	3,428
福井県	0	—	0	—	16	6.5	0	—	0	—	0	—	232	93.5	248
山梨県	0	—	0	—	0	—	81	98.8	0	—	1	1.2	0	—	82
長野県	0	—	0	—	177	97.3	2	1.1	0	—	3	1.6	0	—	182
岐阜県	0	—	0	—	1	100.0	0	—	0	—	0	—	0	—	1
静岡県	2	28.6	0	—	0	—	0	—	0	—	5	71.4	0	—	7
愛知県	0	—	0	—	0	—	0	—	0	—	0	—	0	—	0
三重県	0	—	0	—	0	—	0	—	0	—	0	—	0	—	0
滋賀県	0	—	0	—	0	—	647	100.0	0	—	0	—	0	—	647
京都府	0	—	0	—	0	—	22	100.0	0	—	0	—	0	—	22
大阪府	0	—	0	—	0	—	0	—	0	—	0	—	0	—	0
兵庫県	0	—	0	—	24	85.7	0	—	0	—	4	14.3	0	—	28
奈良県	0	—	0	—	0	—	0	—	0	—	0	—	0	—	0
和歌山県	0	—	0	—	0	—	0	—	0	—	0	—	0	—	0
鳥取県	14	5.2	0	—	188	69.9	67	24.9	0	—	0	—	0	—	269
島根県	0	—	2	0.1	0	—	509	23.2	0	—	0	—	1,681	76.7	2,192
岡山県	0	—	0	—	0	—	0	—	0	—	0	—	0	—	0
広島県	0	—	0	—	0	—	1	100.0	0	—	0	—	0	—	1
山口県	0	—	0	—	0	—	0	—	0	—	0	—	0	—	0
徳島県	0	—	2	100.0	0	—	0	—	0	—	0	—	0	—	2
香川県	0	—	0	—	0	—	0	—	0	—	5	100.0	0	—	5
愛媛県	0	—	0	—	0	—	0	—	0	—	0	—	0	—	0
高知県	0	—	0	—	0	—	0	—	0	—	0	—	0	—	0
福岡県	5	25.0	3	15.0	0	—	0	—	10	50.0	2	10.0	0	—	20
佐賀県	0	—	0	—	0	—	0	—	0	—	0	—	0	—	0
長崎県	31	100.0	0	—	0	—	0	—	0	—	0	—	0	—	31
熊本県	0	—	0	—	0	—	0	—	0	—	0	—	0	—	0
大分県	0	—	0	—	0	—	0	—	0	—	20	100.0	0	—	20
宮崎県	0	—	0	—	0	—	0	—	0	—	0	—	0	—	0
鹿児島県	0	—	0	—	0	—	2	100.0	0	—	0	—	0	—	2
沖縄県	0	—	0	—	0	—	0	—	0	—	0	—	2	100.0	2
合計	1,058	1.4	2,063	2.8	21,033	28.8	22,232	30.5	354	0.5	16,950	23.2	9,295	12.7	72,985

【備考】 都道府県内割合は、各都道府県内での観察地点数の、地況別の構成比を示す。

3. ガン類

3.1 観察個体数

ガン類の令和6年度の観察個体数の種別割合を図2-3-1に示した。

令和6年度の調査では、25道府県の157地点において282,761羽のガン類が観察された。主な種を見ると、マガンが255,689羽、ヒシクイが13,072羽、コクガンが1,752羽、その他・種不明が12,248羽観察された。その他・種不明の内訳は、シジュウカラガン8,323羽、ハクガン579羽、サカツラガン2羽、種不明3,344羽である。なお、シジュウカラガンは、近年増加傾向にあるが、ごく限られた地域でのみの確認であるため、その他に含めて整理している。

令和6年度のガン類の観察個体数は、令和5年度と比較してコクガンは4.5%増加、マガンは4.4%増加、ヒシクイは0.6%増加した。

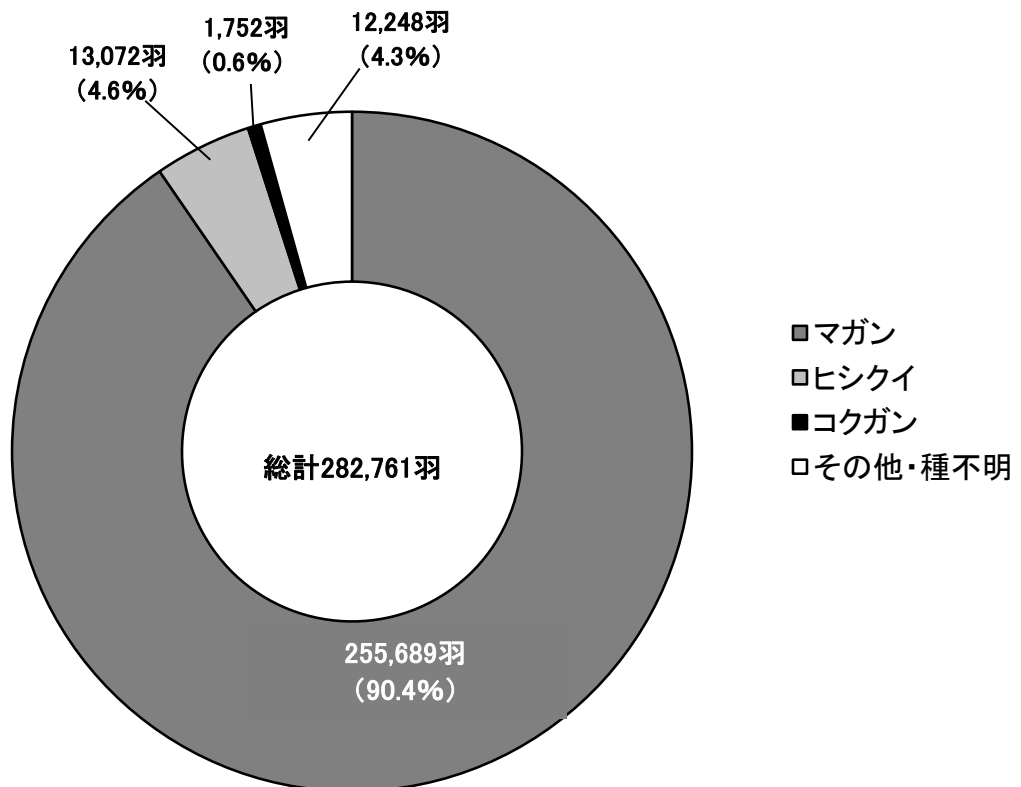
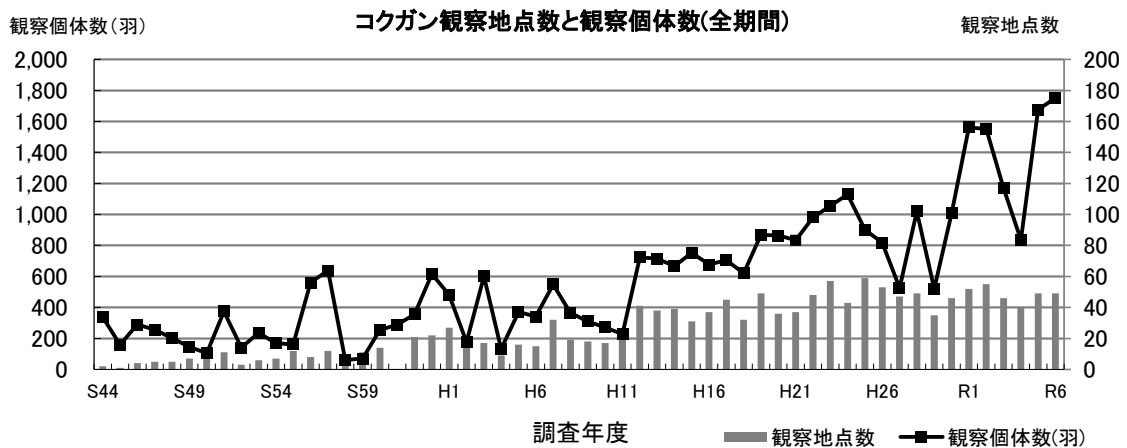


図 2-3-1 ガン類観察個体数の内訳

(1) コクガン

観察状況の最近20年間に於ける経年的な変化を見ると、観察地点数については、概ね30～60地点で推移している。観察個体数については、増減しつつも増加傾向が見られ、令和元年度、令和2年度に1,500羽を超えていたが、令和3年度は1,171羽、令和4年度は836羽まで減少するも、令和6年度は過去最大の1,752羽となった。

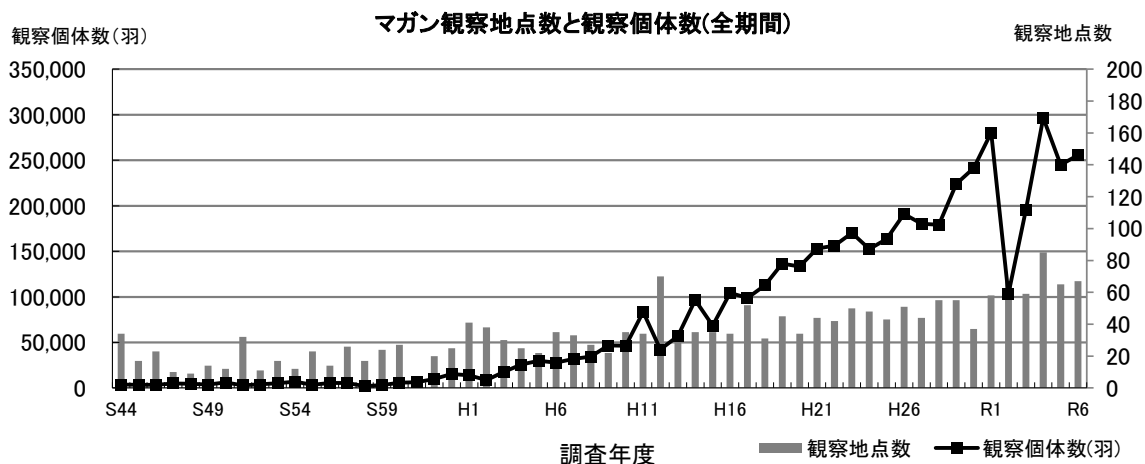


*昭和61年度は観察地点数を集計していない。

図 2-3-2(1) コクガンの観察状況の推移

(2) マガン

観察状況の最近20年間に於ける経年的な変化を見ると、観察地点数については、平成30年度までは概ね30～55地点で推移していたが、令和元年度以降は概ね60～85地点で推移している。観察個体数については増加傾向が見られ、平成29年度から令和元年度は200,000羽を超えており、令和2年度に103,056羽に減少するも、令和4年度は過去最大の296,518羽、令和6年度も255,689羽となった。



*昭和61年度は観察地点数を集計していない。

図 2-3-2(2) マガンの観察状況の推移

(3) ヒシクイ

観察状況の最近20年間に於ける経年的な変化を見ると、観察地点数については、平成30年度までは概ね20～40地点で推移していたが、令和元年度以降は50地点前後で推移している。観察個体数については、平成21年度、平成25年度、平成26年度、令和元年度、令和3年度は15,000羽以上見られるものの、その他の年度は、15,000羽以下で推移しており、令和6年度も13,072羽となった。



*昭和61年度は観察地点数を集計していない。

図 2-3-2(3) ヒシクイ観察状況の推移

3.2 分布状況

令和6年度の都道府県別調査結果を表2-3-1に示した。

ガン類は分布が限定的であり、主に観察されたのは東北地方（260,045羽）、北陸（17,577羽）、島根県（3,746羽）であった。種毎の観察状況は以下のとおり。

(1) コクガン

北海道及び東北地方での観察数が多い。都道府県別に見ると、北海道、青森県、岩手県、宮城県で全体の99.1%にあたる1,736羽が観察された。

(2) マガン

宮城県で全体の92.0%にあたる235,298羽が観察された。それ以外の地域では岩手県で3,432羽、日本海側でも秋田県で1,233羽、山形県で2,302羽、新潟県で7,895羽、石川県で1,336羽、島根県で3,323羽が観察された。

(3) ヒシクイ

宮城県、秋田県、山形県、新潟県及び石川県で全体の93.2%にあたる12,184羽が観察された。その他、100羽以上観察されたのは、滋賀県、鳥取県、島根県であった。

(4) その他

シジュウカラガンは宮城県で8,253羽（全体の99.2%）が観察された。

ハクガンは新潟県で318羽（全体の54.9%）、宮城県で159羽（全体の27.5%）、山形県で100羽（全体の17.3%）が観察された。

表 2-3-1 都道府県別のガン類観察地点数及び観察個体数

都道府県	観察 地点数	観察個体数(羽)				合計
		コクガン	マガン	ヒシクイ	その他・種不明	
北海道	14	262	0	0	0	262
青森県	15	360	0	0	4	364
岩手県	14	1	3,432	12	97	3,542
宮城県	42	1,113	235,298	930	8,454	245,795
秋田県	17	0	1,233	2,877	22	4,132
山形県	5	0	2,302	593	3,253	6,148
福島県	7	0	62	0	2	64
茨城県	1	0	0	50	0	50
栃木県	0	0	0	0	0	0
群馬県	0	0	0	0	0	0
埼玉県	0	0	0	0	0	0
千葉県	2	0	0	0	30	30
東京都	0	0	0	0	0	0
神奈川県	1	0	0	0	4	4
新潟県	8	0	7,895	6,892	319	15,106
富山県	1	0	0	1	0	1
石川県	5	0	1,336	892	3	2,231
福井県	1	0	239	0	0	239
山梨県	0	0	0	0	0	0
長野県	0	0	0	0	0	0
岐阜県	1	0	1	0	0	1
静岡県	0	0	0	0	0	0
愛知県	0	0	0	0	0	0
三重県	1	16	0	0	0	16
滋賀県	3	0	9	233	0	242
京都府	2	0	3	42	0	45
大阪府	0	0	0	0	0	0
兵庫県	0	0	0	0	0	0
奈良県	0	0	0	0	0	0
和歌山県	2	0	1	1	0	2
鳥取県	3	0	542	117	2	661
島根県	1	0	3,323	423	0	3,746
岡山県	0	0	0	0	0	0
広島県	0	0	0	0	0	0
山口県	0	0	0	0	0	0
徳島県	0	0	0	0	0	0
香川県	0	0	0	0	0	0
愛媛県	0	0	0	0	0	0
高知県	0	0	0	0	0	0
福岡県	2	0	0	0	13	13
佐賀県	5	0	7	0	43	50
長崎県	2	0	5	0	2	7
熊本県	0	0	0	0	0	0
大分県	0	0	0	0	0	0
宮崎県	0	0	0	0	0	0
鹿児島県	0	0	0	0	0	0
沖縄県	2	0	1	9	0	10
観察 都道府県数		5	17	14	14	25
合計	157	1,752	255,689	13,072	12,248	282,761

3.3 法指定区域別の観察状況

鳥獣保護管理法によって、鳥獣保護区や休猟区などに指定されている区域別の観察状況を、表2-3-2～表2-3-5及び図2-3-3に示した。

(1) コクガン

観察地点のうち、鳥獣保護区に該当する地点は全体の16.3%にあたる8地点であり、これらの地点ではコクガンの全観察個体数の22.5%にあたる394羽が観察された。また、鳥獣保護区に、休猟区、鳥獣保護法施行規則第7条第1項第7号ハからチに該当する区域、特定猟具使用禁止区域、及び特定猟具使用制限区域を加えた、狩猟または銃猟が禁止・制限された区域に該当する地点については、12地点（24.4%）で455羽（26.0%）が観察された。一方、銃猟の制限されていない猟区とその他の区域については、37地点（75.5%）で1,297羽（74.0%）が観察された。

(2) マガン

観察地点のうち、鳥獣保護区に該当する地点は全体の37.3%にあたる25地点であり、これらの地点ではマガンの全観察個体数の93.9%にあたる240,206羽が観察された。また、鳥獣保護区に、休猟区、鳥獣保護法施行規則第7条第1項第7号ハからチに該当する区域、特定猟具使用禁止区域、及び特定猟具使用制限区域を加えた、狩猟または銃猟が禁止・制限された区域に該当する地点については、35地点（52.2%）で243,217羽（95.1%）が観察された。一方、銃猟の制限されていない猟区とその他の区域については、32地点（47.8%）で12,472羽（4.9%）が観察された。

(3) ヒシクイ

観察地点のうち、鳥獣保護区に該当する地点は全体の52.9%にあたる27地点であり、これらの地点ではヒシクイの全観察個体数の75.8%にあたる9,911羽が観察された。また、鳥獣保護区に、休猟区、鳥獣保護管理法施行規則第7条第1項第7号ハからチに該当する区域、特定猟具使用禁止区域、及び特定猟具使用制限区域を加えた、狩猟または銃猟が禁止・制限された区域に該当する地点については、32地点（62.7%）で10,181羽（77.9%）が観察された。一方、銃猟の制限されていない猟区とその他の区域については、19地点（37.3%）で2,891羽（22.1%）が観察された。

表2-3-2 法指定区域別のガン類観察状況

項目	区域区分	鳥獣保護区		休猟区		施行規則第7条 第1項第7号 ハからチの区域		特定猟具使用 禁止区域		特定猟具使用 制限区域		猟区		その他の区域		合計	
		項目内 割合(%)	項目内 割合(%)	項目内 割合(%)	項目内 割合(%)	項目内 割合(%)	項目内 割合(%)	項目内 割合(%)	項目内 割合(%)	項目内 割合(%)	項目内 割合(%)	項目内 割合(%)	項目内 割合(%)	項目内 割合(%)	項目内 割合(%)	項目内 割合(%)	
調査地点数(箇所)		1,713	19.6	59	0.7	148	1.7	2,827	32.4	47	0.5	164	1.9	3,774	43.2	8,732	100.0
調査地点面積(ha)		189,514	51.0	839	0.2	3,106	0.8	68,440	18.4	1,841	0.5	5,167	1.4	102,370	27.6	371,277	100.0
観察地点数 (箇所)	コクガン	8	16.3	0	—	1	2.0	3	6.1	0	—	0	—	37	75.5	49	100.0
	マガン	25	37.3	1	1.5	1	1.5	6	9.0	2	3.0	2	3.0	30	44.8	67	100.0
	ヒシクイ	27	52.9	0	—	0	—	5	9.8	0	—	0	—	19	37.3	51	100.0
	その他・種不明	12	37.5	0	—	0	—	6	18.8	0	—	1	3.1	13	40.6	32	100.0
	合計	44	28.0	1	0.6	2	1.3	16	10.2	2	1.3	3	1.9	89	56.7	157	100.0
観察個体数 (羽)	コクガン	394	22.5	0	—	35	2.0	26	1.5	0	—	0	—	1,297	74.0	1,752	100.0
	マガン	240,206	93.9	118	0.0	25	0.0	2,839	1.1	29	0.0	135	0.1	12,337	4.8	255,689	100.0
	ヒシクイ	9,911	75.8	0	—	0	—	270	2.1	0	—	0	—	2,891	22.1	13,072	100.0
	その他・種不明	11,906	97.2	0	—	0	—	81	0.7	0	—	1	0.0	260	2.1	12,248	100.0
	合計	262,417	92.8	118	0.0	60	0.0	3,216	1.1	29	0.0	136	0.0	16,785	5.9	282,761	100.0

【備考】項目内割合は、各行の項目の合計に対する法指定区域別の構成比を示す。
観察地点数の合計は、種別の観察地点数の単純合計ではない(重複地点を除いている)。

表 2-3-3 法指定区域別のガン類観察状況 (個体数の下限有)

項目	区域区分	観察 個体数 下限値 (羽) *注	鳥獣保護区		休猟区		施行規則第7条 第1項第7号ハ からチの区域		特定猟具使用 禁止区域		特定猟具使用 制限区域		猟区		その他の区域		合計	
			項目内 割合(%)	項目内 割合(%)	項目内 割合(%)	項目内 割合(%)	項目内 割合(%)	項目内 割合(%)	項目内 割合(%)	項目内 割合(%)	項目内 割合(%)	項目内 割合(%)	項目内 割合(%)	項目内 割合(%)	項目内 割合(%)	項目内 割合(%)		
調査地点数(箇所)			1,713	19.6	59	0.7	148	1.7	2,827	32.4	47	0.5	164	1.9	3,774	43.2	8,732	100.0
調査地点面積(ha)			189,514	51.0	839	0.2	3,106	0.8	68,440	18.4	1,841	0.5	5,167	1.4	102,370	27.6	371,277	100.0
観察地点数 (箇所)	コクガン	10	7	20.0	0	—	1	2.9	1	2.9	0	—	0	—	26	74.3	35	100.0
	マガン	100	14	48.3	1	3.4	0	—	2	6.9	0	—	0	—	12	41.4	29	100.0
	ヒシクイ	100	11	61.1	0	—	0	—	1	5.6	0	—	0	—	6	33.3	18	100.0
	ガン類合計	100	20	46.5	1	2.3	0	—	2	4.7	0	—	0	—	20	46.5	43	100.0

*注：各項目別の観察個体数に下限を設定した観察地点数を表す。
【備考】項目内割合は、各行の項目の合計に対する法指定区域別の構成比を示す。

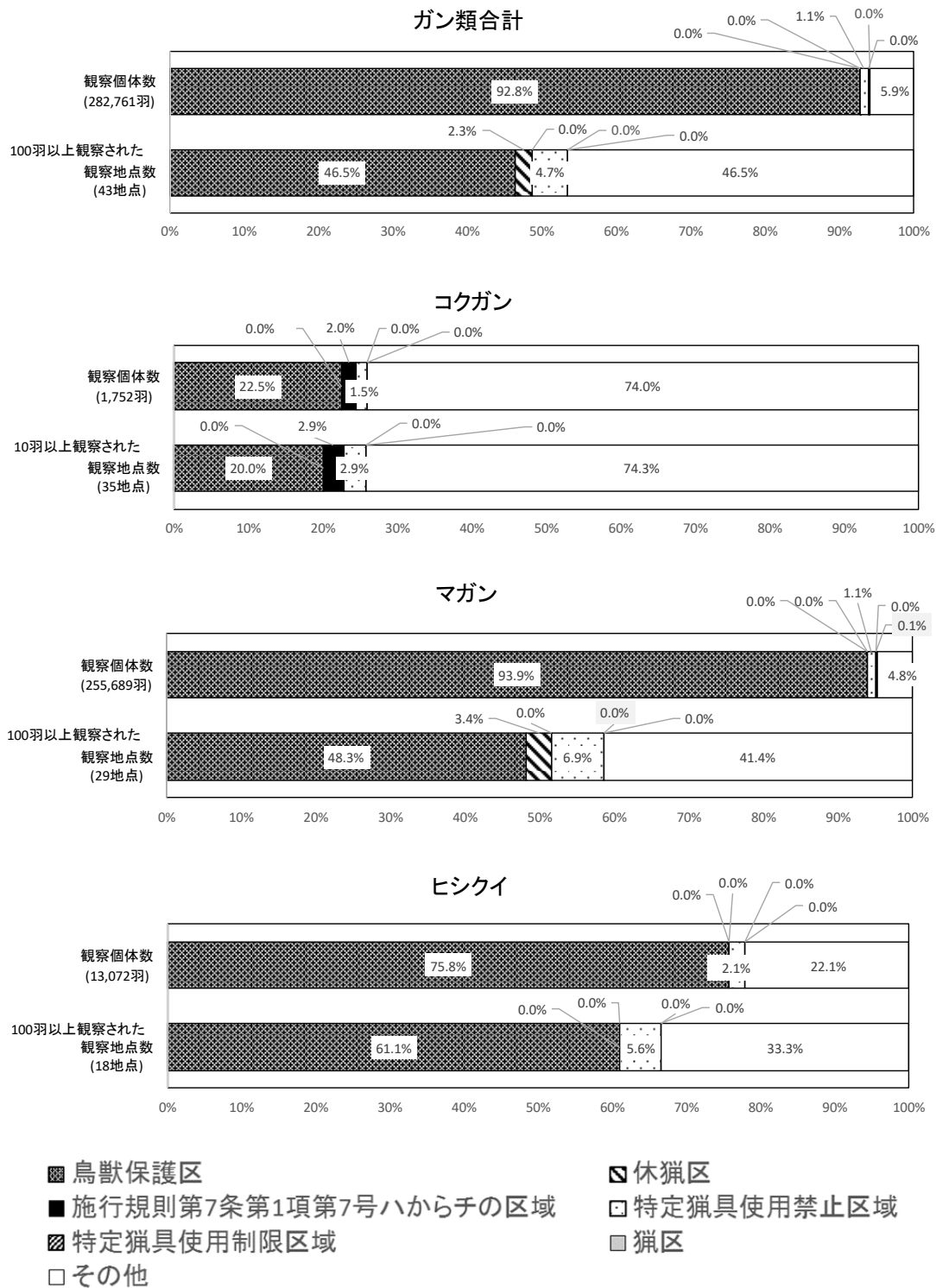


図 2-3-3 法指定区域別のガン類観察状況

表 2-3-4 法指定区域別のガン類観察地点数（都道府県別）

都道府県	法指定区域等															観察地点数
	鳥獣保護区		休猟区		施行規則第7条第1項第7号ハからチの区域		特定猟具使用禁止区域		特定猟具使用制限区域		猟区		その他の区域		観察地点数	
	観察地点数	都道府県内割合(%)	観察地点数	都道府県内割合(%)	観察地点数	都道府県内割合(%)	観察地点数	都道府県内割合(%)	観察地点数	都道府県内割合(%)	観察地点数	都道府県内割合(%)	観察地点数	都道府県内割合(%)		
北海道	0	—	0	—	1	7.1	2	14.3	0	—	0	—	11	78.6	14	
青森県	3	20.0	0	—	0	—	1	6.7	0	—	0	—	11	73.3	15	
岩手県	1	7.1	0	—	0	—	3	21.4	0	—	0	—	10	71.4	14	
宮城県	13	31.0	1	2.4	0	—	2	4.8	2	4.8	2	4.8	22	52.4	42	
秋田県	2	11.8	0	—	0	—	0	—	0	—	0	—	15	88.2	17	
山形県	2	40.0	0	—	0	—	0	—	0	—	0	—	3	60.0	5	
福島県	0	—	0	—	1	14.3	0	—	0	—	1	14.3	5	71.4	7	
茨城県	1	100.0	0	—	0	—	0	—	0	—	0	—	0	—	1	
栃木県	0	—	0	—	0	—	0	—	0	—	0	—	0	—	0	
群馬県	0	—	0	—	0	—	0	—	0	—	0	—	0	—	0	
埼玉県	0	—	0	—	0	—	0	—	0	—	0	—	0	—	0	
千葉県	1	50.0	0	—	0	—	0	—	0	—	0	—	1	50.0	2	
東京都	0	—	0	—	0	—	0	—	0	—	0	—	0	—	0	
神奈川県	1	100.0	0	—	0	—	0	—	0	—	0	—	0	—	1	
新潟県	5	62.5	0	—	0	—	2	25.0	0	—	0	—	1	12.5	8	
富山県	0	—	0	—	0	—	0	—	0	—	0	—	1	100.0	1	
石川県	4	80.0	0	—	0	—	1	20.0	0	—	0	—	0	—	5	
福井県	0	—	0	—	0	—	0	—	0	—	0	—	1	100.0	1	
山梨県	0	—	0	—	0	—	0	—	0	—	0	—	0	—	0	
長野県	0	—	0	—	0	—	0	—	0	—	0	—	0	—	0	
岐阜県	1	100.0	0	—	0	—	0	—	0	—	0	—	0	—	1	
静岡県	0	—	0	—	0	—	0	—	0	—	0	—	0	—	0	
愛知県	0	—	0	—	0	—	0	—	0	—	0	—	0	—	0	
三重県	0	—	0	—	0	—	0	—	0	—	0	—	1	100.0	1	
滋賀県	3	100.0	0	—	0	—	0	—	0	—	0	—	0	—	3	
京都府	2	100.0	0	—	0	—	0	—	0	—	0	—	0	—	2	
大阪府	0	—	0	—	0	—	0	—	0	—	0	—	0	—	0	
兵庫県	0	—	0	—	0	—	0	—	0	—	0	—	0	—	0	
奈良県	0	—	0	—	0	—	0	—	0	—	0	—	0	—	0	
和歌山県	1	50.0	0	—	0	—	0	—	0	—	0	—	1	50.0	2	
鳥取県	1	33.3	0	—	0	—	2	66.7	0	—	0	—	0	—	3	
島根県	1	100.0	0	—	0	—	0	—	0	—	0	—	0	—	1	
岡山県	0	—	0	—	0	—	0	—	0	—	0	—	0	—	0	
広島県	0	—	0	—	0	—	0	—	0	—	0	—	0	—	0	
山口県	0	—	0	—	0	—	0	—	0	—	0	—	0	—	0	
徳島県	0	—	0	—	0	—	0	—	0	—	0	—	0	—	0	
香川県	0	—	0	—	0	—	0	—	0	—	0	—	0	—	0	
愛媛県	0	—	0	—	0	—	0	—	0	—	0	—	0	—	0	
高知県	0	—	0	—	0	—	0	—	0	—	0	—	0	—	0	
福岡県	0	—	0	—	0	—	2	100.0	0	—	0	—	0	—	2	
佐賀県	1	20.0	0	—	0	—	1	20.0	0	—	0	—	3	60.0	5	
長崎県	1	50.0	0	—	0	—	0	—	0	—	0	—	1	50.0	2	
熊本県	0	—	0	—	0	—	0	—	0	—	0	—	0	—	0	
大分県	0	—	0	—	0	—	0	—	0	—	0	—	0	—	0	
宮崎県	0	—	0	—	0	—	0	—	0	—	0	—	0	—	0	
鹿児島県	0	—	0	—	0	—	0	—	0	—	0	—	0	—	0	
沖縄県	0	—	0	—	0	—	0	—	0	—	0	—	2	100.0	2	
合計	44	28.0	1	0.6	2	1.3	16	10.2	2	1.3	3	1.9	89	56.7	157	

【備考】 都道府県内割合は、各都道府県内での観察地点数の、法指定区域別の構成比を示す。
観察地点数の合計は、種別の観察地点数の単純合計ではない(重複地点を除いている)。

表 2-3-5 法指定区域別のガン類観察個体数（都道府県別）

都道府県	法指定区域等														合計
	鳥獣保護区		休猟区		施行規則第7条 第1項第7号ハ からチの区域		特定猟具使用 禁止区域		特定猟具使用 制限区域		猟区		その他の区域		
	観察個体 数(羽)	都道府 県内割 合(%)	観察個体 数(羽)	都道府 県内割 合(%)	観察個体 数(羽)	都道府 県内割 合(%)	観察個体 数(羽)	都道府 県内割 合(%)	観察個体 数(羽)	都道府 県内割 合(%)	観察個体 数(羽)	都道府 県内割 合(%)	観察個体 数(羽)	都道府 県内割 合(%)	
北海道	0	—	0	—	35	13.4	10	3.8	0	—	0	—	217	82.8	262
青森県	54	14.8	0	—	0	—	16	4.4	0	—	0	—	294	80.8	364
岩手県	1	0.0	0	—	0	—	52	1.5	0	—	0	—	3,489	98.5	3,542
宮城県	237,070	96.5	118	0.0	0	—	1,828	0.7	29	0.0	135	0.1	6,615	2.7	245,795
秋田県	71	1.7	0	—	0	—	0	—	0	—	0	—	4,061	98.3	4,132
山形県	4,445	72.3	0	—	0	—	0	—	0	—	0	—	1,703	27.7	6,148
福島県	0	—	0	—	25	39.1	0	—	0	—	1	1.6	38	59.4	64
茨城県	50	100.0	0	—	0	—	0	—	0	—	0	—	0	—	50
栃木県	0	—	0	—	0	—	0	—	0	—	0	—	0	—	0
群馬県	0	—	0	—	0	—	0	—	0	—	0	—	0	—	0
埼玉県	0	—	0	—	0	—	0	—	0	—	0	—	0	—	0
千葉県	20	66.7	0	—	0	—	0	—	0	—	0	—	10	33.3	30
東京都	0	—	0	—	0	—	0	—	0	—	0	—	0	—	0
神奈川県	4	100.0	0	—	0	—	0	—	0	—	0	—	0	—	4
新潟県	13,876	91.9	0	—	0	—	1,160	7.7	0	—	0	—	70	0.46	15,106
富山県	0	—	0	—	0	—	0	—	0	—	0	—	1	100.0	1
石川県	2,162	96.9	0	—	0	—	69	3.1	0	—	0	—	0	—	2,231
福井県	0	—	0	—	0	—	0	—	0	—	0	—	239	100.0	239
山梨県	0	—	0	—	0	—	0	—	0	—	0	—	0	—	0
長野県	0	—	0	—	0	—	0	—	0	—	0	—	0	—	0
岐阜県	1	100.0	0	—	0	—	0	—	0	—	0	—	0	—	1
静岡県	0	—	0	—	0	—	0	—	0	—	0	—	0	—	0
愛知県	0	—	0	—	0	—	0	—	0	—	0	—	0	—	0
三重県	0	—	0	—	0	—	0	—	0	—	0	—	16	100.0	16
滋賀県	242	100.0	0	—	0	—	0	—	0	—	0	—	0	—	242
京都府	45	100.0	0	—	0	—	0	—	0	—	0	—	0	—	45
大阪府	0	—	0	—	0	—	0	—	0	—	0	—	0	—	0
兵庫県	0	—	0	—	0	—	0	—	0	—	0	—	0	—	0
奈良県	0	—	0	—	0	—	0	—	0	—	0	—	0	—	0
和歌山県	1	50.0	0	—	0	—	0	—	0	—	0	—	1	50.0	2
鳥取県	622	94.1	0	—	0	—	39	5.9	0	—	0	—	0	—	661
島根県	3,746	100.0	0	—	0	—	0	—	0	—	0	—	0	—	3,746
岡山県	0	—	0	—	0	—	0	—	0	—	0	—	0	—	0
広島県	0	—	0	—	0	—	0	—	0	—	0	—	0	—	0
山口県	0	—	0	—	0	—	0	—	0	—	0	—	0	—	0
徳島県	0	—	0	—	0	—	0	—	0	—	0	—	0	—	0
香川県	0	—	0	—	0	—	0	—	0	—	0	—	0	—	0
愛媛県	0	—	0	—	0	—	0	—	0	—	0	—	0	—	0
高知県	0	—	0	—	0	—	0	—	0	—	0	—	0	—	0
福岡県	0	—	0	—	0	—	13	100.0	0	—	0	—	0	—	13
佐賀県	2	4.0	0	—	0	—	29	58.0	0	—	0	—	19	38.0	50
長崎県	5	71.4	0	—	0	—	0	—	0	—	0	—	2	28.6	7
熊本県	0	—	0	—	0	—	0	—	0	—	0	—	0	—	0
大分県	0	—	0	—	0	—	0	—	0	—	0	—	0	—	0
宮崎県	0	—	0	—	0	—	0	—	0	—	0	—	0	—	0
鹿児島県	0	—	0	—	0	—	0	—	0	—	0	—	0	—	0
沖縄県	0	—	0	—	0	—	0	—	0	—	0	—	10	100.0	10
合計	262,417	92.8	118	0.0	60	0.021	3,216	1.1	29	0.0	136	0.048	16,785	5.9	282,761

【備考】都道府県内割合は、各都道府県内での観察個体数の、法指定区域別の構成比を示す。

3.4 地況別の観察状況

河川や湖沼等の地況別の観察状況を表2-3-6～表2-3-8及び図2-3-4に示した。

(1) コクガン

主に海岸及び河口で観察され、観察地点数は計49地点（100.0%）であった。
また、観察個体数は、それぞれ1,729羽（98.7%）及び23羽（1.3%）であった。

(2) マガン

主に河川及び自然湖沼で観察され、観察地点数は計36地点（53.7%）、観察個体数は、それぞれ4,753羽（1.9%）及び226,468羽（88.6%）であった。

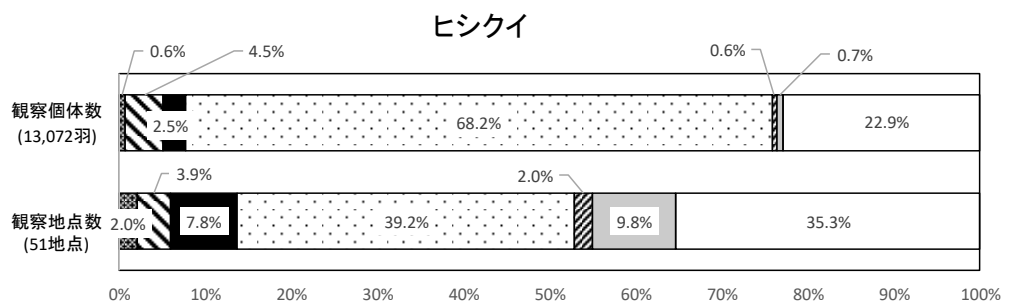
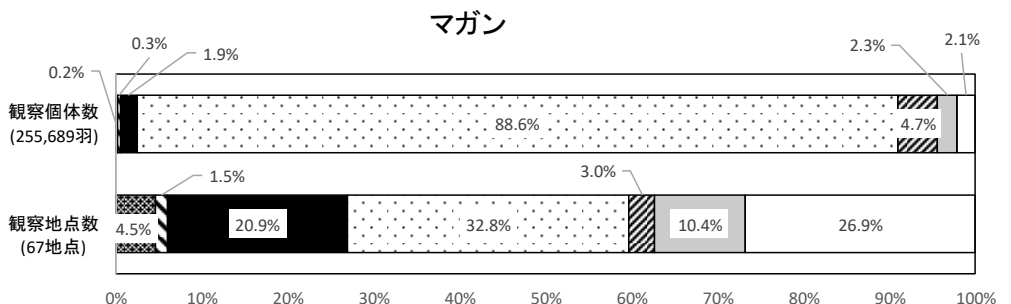
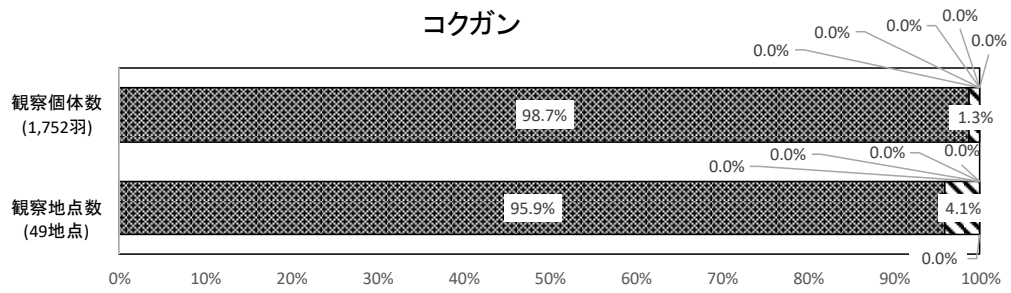
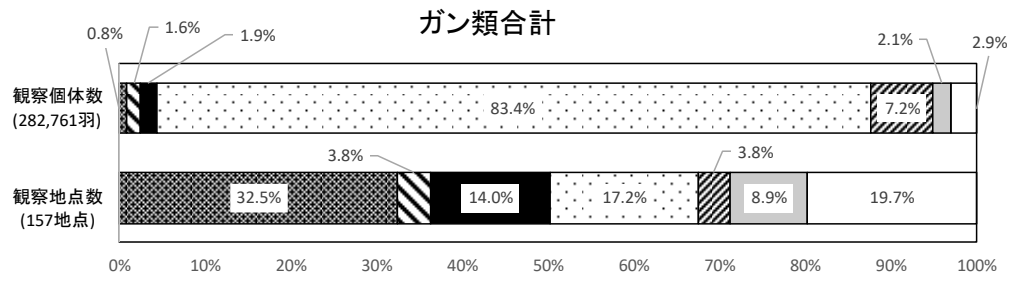
(3) ヒシクイ

自然湖沼で最も多く観察され、観察地点数は20地点（39.2%）、観察個体数は8,920羽（68.2%）であった。

表 2-3-6 地況別のガン類観察状況

項目	区域		海岸		河口		河川		自然湖沼		ダム湖		その他人造湖		その他		合計		
	項目内割合(%)	項目内割合(%)	項目内割合(%)	項目内割合(%)	項目内割合(%)	項目内割合(%)	項目内割合(%)	項目内割合(%)	項目内割合(%)	項目内割合(%)	項目内割合(%)	項目内割合(%)	項目内割合(%)	項目内割合(%)	項目内割合(%)	項目内割合(%)	項目内割合(%)	項目内割合(%)	
調査地点数(箇所)	797	9.1	383	4.4	3,058	35.0	533	6.1	691	7.9	2,982	34.2	288	3.3	8,732	100.0			
調査地点面積(ha)	109,649	29.5	22,049	5.9	70,310	18.9	105,519	28.4	32,829	8.8	16,070	4.3	14,852	4.0	371,277	100.0			
観察地点数(箇所)	コクガン	47	95.9	2	4.1	0	—	0	—	0	—	0	—	0	—	49	100.0		
	マガン	3	4.5	1	1.5	14	20.9	22	32.8	2	3.0	7	10.4	18	26.9	67	100.0		
	ヒシクイ	1	2.0	2	3.9	4	7.8	20	39.2	1	2.0	5	9.8	18	35.3	51	100.0		
	その他・種不明	2	6.3	3	9.4	9	28.1	7	21.9	5	15.6	3	9.4	3	9.4	32	100.0		
	合計	51	32.5	6	3.8	22	14.0	27	17.2	6	3.8	14	8.9	31	19.7	157	100.0		
観察個体数(羽)	コクガン	1,729	98.7	23	1.3	0	—	0	—	0	—	0	—	0	—	1,752	100.0		
	マガン	547	0.2	724	0.3	4,753	1.9	226,468	88.6	12,105	4.7	5,786	2.3	5,306	2.1	255,689	100.0		
	ヒシクイ	81	0.6	587	4.5	324	2.5	8,920	68.2	75	0.6	90	0.7	2,995	22.9	13,072	100.0		
	その他・種不明	6	0.0	3,112	25.4	286	2.3	537	4.4	8,274	67.6	19	0.2	14	0.1	12,248	100.0		
	合計	2,363	0.8	4,446	1.6	5,363	1.9	235,925	83.4	20,454	7.2	5,895	2.1	8,315	2.9	282,761	100.0		

【備考】項目内割合は、各行の項目の合計に対する地況別の構成比を示す。



- 海岸
- 河口
- 河川
- 自然湖沼
- ダム湖
- その他人造湖
- その他

図 2-3-4 地況別のガン類観察状況

表 2-3-7 地況別のガン類観察地点数（都道府県別）

都道府県	地況														合計
	海岸		河口		河川		自然湖沼		ダム湖		その他人造湖		その他		
	観察地点数	都道府県内割合(%)	観察地点数	都道府県内割合(%)	観察地点数	都道府県内割合(%)	観察地点数	都道府県内割合(%)	観察地点数	都道府県内割合(%)	観察地点数	都道府県内割合(%)	観察地点数	都道府県内割合(%)	
北海道	13	92.9	1	7.1	0	—	0	—	0	—	0	—	0	—	14
青森県	15	100.0	0	—	0	—	0	—	0	—	0	—	0	—	15
岩手県	1	7.1	0	—	3	21.4	0	—	0	—	1	7.1	9	64.3	14
宮城県	18	42.9	0	—	7	16.7	8	19.0	1	2.4	3	7.1	5	11.9	42
秋田県	0	—	0	—	1	5.9	1	5.9	0	—	2	11.8	13	76.5	17
山形県	0	—	1	20.0	3	60.0	1	20.0	0	—	0	—	0	—	5
福島県	0	—	0	—	2	28.6	2	28.6	1	14.3	2	28.6	0	—	7
茨城県	0	—	0	—	1	100.0	0	—	0	—	0	—	0	—	1
栃木県	0	—	0	—	0	—	0	—	0	—	0	—	0	—	0
群馬県	0	—	0	—	0	—	0	—	0	—	0	—	0	—	0
埼玉県	0	—	0	—	0	—	0	—	0	—	0	—	0	—	0
千葉県	0	—	0	—	0	—	0	—	2	100.0	0	—	0	—	2
東京都	0	—	0	—	0	—	0	—	0	—	0	—	0	—	0
神奈川県	0	—	0	—	0	—	0	—	1	100.0	0	—	0	—	1
新潟県	0	—	0	—	2	25.0	4	50.0	0	—	2	25.0	0	—	8
富山県	0	—	0	—	0	—	0	—	0	—	0	—	1	100.0	1
石川県	0	—	0	—	0	—	5	100.0	0	—	0	—	0	—	5
福井県	0	—	0	—	0	—	0	—	0	—	0	—	1	100.0	1
山梨県	0	—	0	—	0	—	0	—	0	—	0	—	0	—	0
長野県	0	—	0	—	0	—	0	—	0	—	0	—	0	—	0
岐阜県	0	—	0	—	1	100.0	0	—	0	—	0	—	0	—	1
静岡県	0	—	0	—	0	—	0	—	0	—	0	—	0	—	0
愛知県	0	—	0	—	0	—	0	—	0	—	0	—	0	—	0
三重県	0	—	1	100.0	0	—	0	—	0	—	0	—	0	—	1
滋賀県	0	—	0	—	0	—	3	100.0	0	—	0	—	0	—	3
京都府	1	50.0	0	—	0	—	1	50.0	0	—	0	—	0	—	2
大阪府	0	—	0	—	0	—	0	—	0	—	0	—	0	—	0
兵庫県	0	—	0	—	0	—	0	—	0	—	0	—	0	—	0
奈良県	0	—	0	—	0	—	0	—	0	—	0	—	0	—	0
和歌山県	0	—	1	50.0	0	—	0	—	0	—	0	—	1	50.0	2
鳥取県	1	33.3	0	—	1	33.3	1	33.3	0	—	0	—	0	—	3
島根県	0	—	0	—	0	—	1	100.0	0	—	0	—	0	—	1
岡山県	0	—	0	—	0	—	0	—	0	—	0	—	0	—	0
広島県	0	—	0	—	0	—	0	—	0	—	0	—	0	—	0
山口県	0	—	0	—	0	—	0	—	0	—	0	—	0	—	0
徳島県	0	—	0	—	0	—	0	—	0	—	0	—	0	—	0
香川県	0	—	0	—	0	—	0	—	0	—	0	—	0	—	0
愛媛県	0	—	0	—	0	—	0	—	0	—	0	—	0	—	0
高知県	0	—	0	—	0	—	0	—	0	—	0	—	0	—	0
福岡県	0	—	0	—	0	—	0	—	0	—	2	100.0	0	—	2
佐賀県	0	—	2	40.0	1	20.0	0	—	1	20.0	1	20.0	0	—	5
長崎県	2	100.0	0	—	0	—	0	—	0	—	0	—	0	—	2
熊本県	0	—	0	—	0	—	0	—	0	—	0	—	0	—	0
大分県	0	—	0	—	0	—	0	—	0	—	0	—	0	—	0
宮崎県	0	—	0	—	0	—	0	—	0	—	0	—	0	—	0
鹿児島県	0	—	0	—	0	—	0	—	0	—	0	—	0	—	0
沖縄県	0	—	0	—	0	—	0	—	0	—	1	50.0	1	50.0	2
合計	51	32.5	6	3.8	22	14.0	27	17.2	6	3.8	14	8.9	31	19.7	157

【備考】 都道府県内割合は、各都道府県内での観察地点数の、地況別の構成比を示す。
観察地点数の合計は、種別の観察地点数の単純合計ではない(重複地点を除いている)。

表 2-3-8 地況別のガン類観察個体数（都道府県別）

都道府県	地況														合計
	海岸		河口		河川		自然湖沼		ダム湖		その他人造湖		その他		
	観察個体数(羽)	都道府県内割合(%)	観察個体数(羽)	都道府県内割合(%)	観察個体数(羽)	都道府県内割合(%)	観察個体数(羽)	都道府県内割合(%)	観察個体数(羽)	都道府県内割合(%)	観察個体数(羽)	都道府県内割合(%)	観察個体数(羽)	都道府県内割合(%)	
北海道	255	97.3	7	2.7	0	—	0	—	0	—	0	—	0	—	262
青森県	364	100.0	0	—	0	—	0	—	0	—	0	—	0	—	364
岩手県	1	0.0	0	—	357	10.1	0	—	0	—	6	0.2	3,178	89.7	3,542
宮城県	1,113	0.5	0	—	2,002	0.8	215,692	87.8	20,414	8.3	5,596	2.3	978	0.4	245,795
秋田県	0	—	0	—	2	0.0	5	0.1	0	—	216	5.2	3,909	94.6	4,132
山形県	0	—	4,410	71.7	1,703	27.7	35	0.6	0	—	0	—	0	—	6,148
福島県	0	—	0	—	3	4.7	26	40.6	4	6.3	31	48.4	0	—	64
茨城県	0	—	0	—	50	100.0	0	—	0	—	0	—	0	—	50
栃木県	0	—	0	—	0	—	0	—	0	—	0	—	0	—	0
群馬県	0	—	0	—	0	—	0	—	0	—	0	—	0	—	0
埼玉県	0	—	0	—	0	—	0	—	0	—	0	—	0	—	0
千葉県	0	—	0	—	0	—	0	—	30	100.0	0	—	0	—	30
東京都	0	—	0	—	0	—	0	—	0	—	0	—	0	—	0
神奈川県	0	—	0	—	0	—	0	—	4	100.0	0	—	0	—	4
新潟県	0	—	0	—	1,207	8.0	13,874	91.8	0	—	25	0.2	0	—	15,106
富山県	0	—	0	—	0	—	0	—	0	—	0	—	1	100.0	1
石川県	0	—	0	—	0	—	2,231	100.0	0	—	0	—	0	—	2,231
福井県	0	—	0	—	0	—	0	—	0	—	0	—	239	100.0	239
山梨県	0	—	0	—	0	—	0	—	0	—	0	—	0	—	0
長野県	0	—	0	—	0	—	0	—	0	—	0	—	0	—	0
岐阜県	0	—	0	—	1	100.0	0	—	0	—	0	—	0	—	1
静岡県	0	—	0	—	0	—	0	—	0	—	0	—	0	—	0
愛知県	0	—	0	—	0	—	0	—	0	—	0	—	0	—	0
三重県	0	—	16	100.0	0	—	0	—	0	—	0	—	0	—	16
滋賀県	0	—	0	—	0	—	242	100.0	0	—	0	—	0	—	242
京都府	1	2.2	0	—	0	—	44	97.8	0	—	0	—	0	—	45
大阪府	0	—	0	—	0	—	0	—	0	—	0	—	0	—	0
兵庫県	0	—	0	—	0	—	0	—	0	—	0	—	0	—	0
奈良県	0	—	0	—	0	—	0	—	0	—	0	—	0	—	0
和歌山県	0	—	1	50.0	0	—	0	—	0	—	0	—	1	50.0	2
鳥取県	622	94.1	0	—	9	1.4	30	4.5	0	—	0	—	0	—	661
島根県	0	—	0	—	0	—	3,746	100.0	0	—	0	—	0	—	3,746
岡山県	0	—	0	—	0	—	0	—	0	—	0	—	0	—	0
広島県	0	—	0	—	0	—	0	—	0	—	0	—	0	—	0
山口県	0	—	0	—	0	—	0	—	0	—	0	—	0	—	0
徳島県	0	—	0	—	0	—	0	—	0	—	0	—	0	—	0
香川県	0	—	0	—	0	—	0	—	0	—	0	—	0	—	0
愛媛県	0	—	0	—	0	—	0	—	0	—	0	—	0	—	0
高知県	0	—	0	—	0	—	0	—	0	—	0	—	0	—	0
福岡県	0	—	0	—	0	—	0	—	0	—	13	100.0	0	—	13
佐賀県	0	—	12	24.0	29	58.0	0	—	2	4.0	7	14.0	0	—	50
長崎県	7	100.0	0	—	0	—	0	—	0	—	0	—	0	—	7
熊本県	0	—	0	—	0	—	0	—	0	—	0	—	0	—	0
大分県	0	—	0	—	0	—	0	—	0	—	0	—	0	—	0
宮崎県	0	—	0	—	0	—	0	—	0	—	0	—	0	—	0
鹿児島県	0	—	0	—	0	—	0	—	0	—	0	—	0	—	0
沖縄県	0	—	0	—	0	—	0	—	0	—	1	10.0	9	90.0	10
合計	2,363	0.8	4,446	1.6	5,363	1.9	235,925	83.4	20,454	7.2	5,895	2.1	8,315	2.9	282,761

【備考】 都道府県内割合は、各都道府県内での観察個体数の、地況別の構成比を示す。

4. カモ類

4.1 観察個体数

カモ類の令和6年度の観察個体数の種別割合を図2-4-1に示した。

令和6年度は、47都道府県において、6,359地点で1,527,663羽のカモ類が観察された。令和6年度は前年度から93,537羽の減少であった。一方、観察地点数はここ数年6,000地点前後で推移している。種類別の観察個体数の内訳で見ると、最も多いのはマガモ361,716羽（23.7%）であり、次いでカルガモ197,165羽（12.9%）、オナガガモ158,685羽（10.4%）、コガモ134,232羽（8.8%）、ヒドリガモ133,305羽（8.7%）、スズガモ98,341羽（6.4%）、ホシハジロ96,228羽（6.3%）、キンクロハジロ55,958羽（3.7%）、その他247,721羽（16.2%）、種不明44,312羽（2.9%）であった。

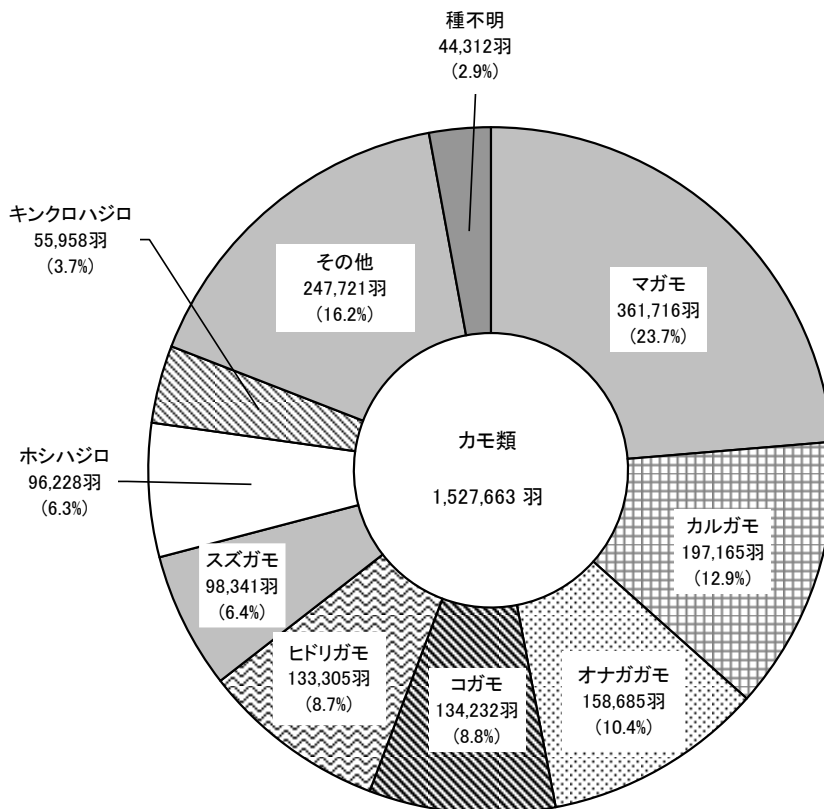


図 2-4-1 カモ類観察個体数の内訳

注) 淡水ガモ：本調査の対象種は、オシドリ、マガモ、カルガモ、コガモ、トモエガモ、ヨシガモ、オカヨシガモ、ヒドリガモ、オナガガモ、ハシビロガモ、アメリカヒドリ、シマアジである。
海ガモ：本調査の対象種は、ホシハジロ、キンクロハジロ、スズガモ、クロガモ、ビロードキンクロ、シノリガモ、コオリガモ、ホオジロガモ、ミコアイサ、ウミアイサ、カワアイサ、アカハシハジロ、オオホシハジロ、メジロガモ、アカハジロ、ケワタガモ、コケワタガモ、アラナミキンクロ、ヒメハジロ、クビワキンクロ、コウライアイサである。
ツクシガモ等：本調査の対象種は、ツクシガモ、アカツクシガモ、リュウキュウガモである。

カモ類における種毎の観察状況は以下のとおり。

(1) オシドリ

観察地点数は概ね 500～700 地点を推移している。観察個体数は、昭和 50 年代後半から増減しつつも全体としては増加傾向にある。平成 26 年度 32,000 羽程度まで増加した後、増減しつつも減少傾向にあり、令和 6 年度は 22,000 羽程度まで減少した。

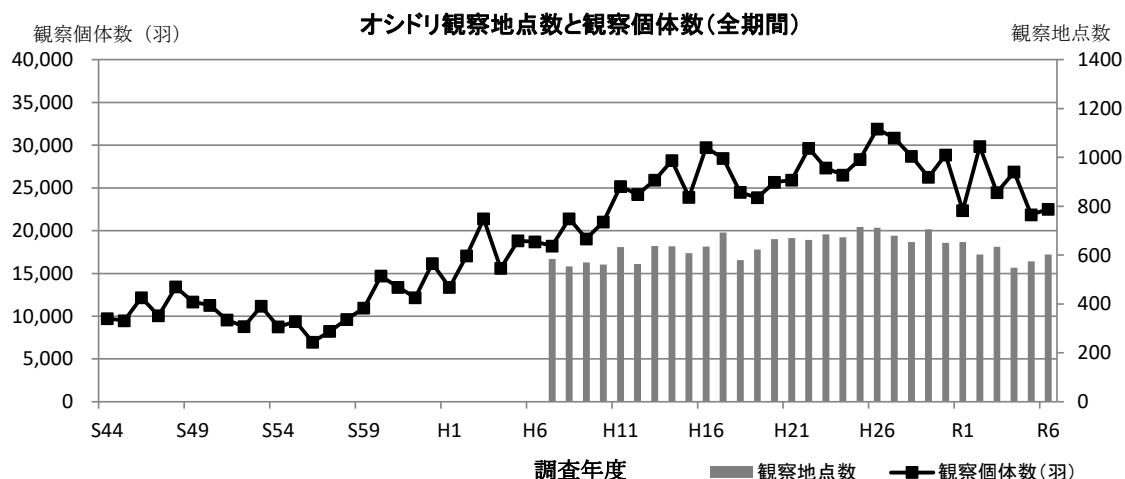


図2-4-2 (1) オシドリの観察状況の推移

(2) マガモ

観察地点数は概ね 3,000～3,700 地点を推移している。観察個体数は、調査開始当初は 200,000 羽程度であったものが、昭和 56 年頃から増加に転じ、平成 8～11 年度に 500,000 羽前後でピークに達した。その後平成 24 年度まで減少傾向にあり、近年は 400,000 羽程度で推移している。

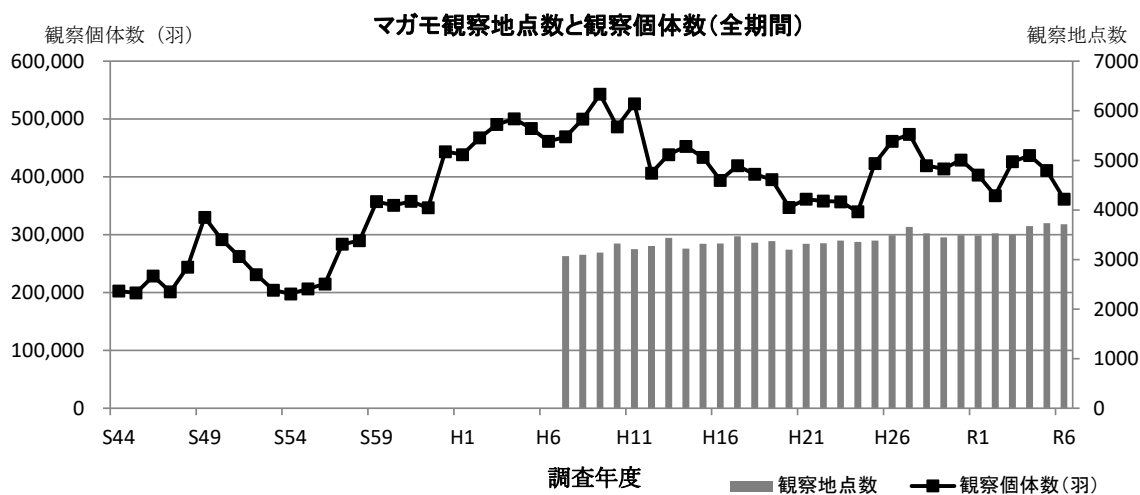
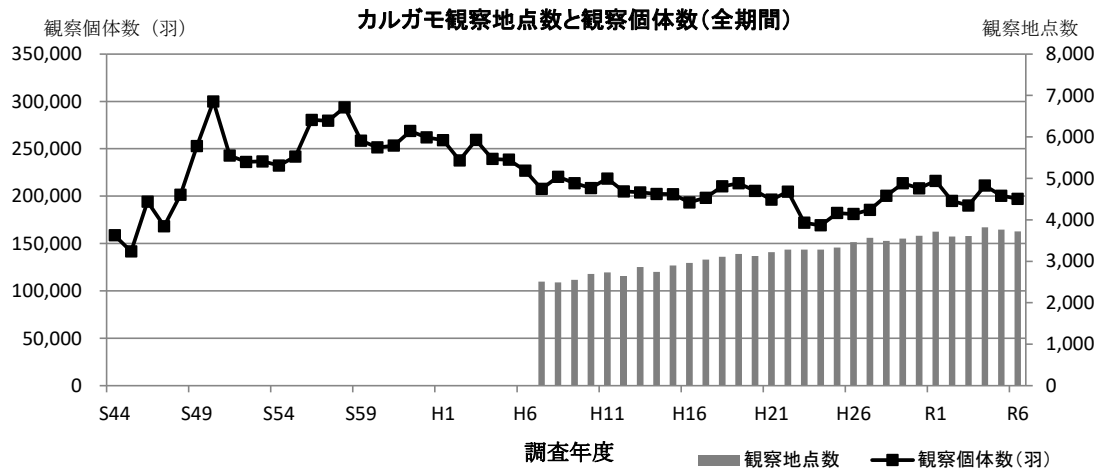


図 2-4-2 (2) マガモの観察状況の推移

(3) カルガモ

観察地点数はやや増加傾向にある。観察個体数は、調査開始当初から昭和50年代後半まで増加し、その後平成24年度まで減少傾向となった。以降はやや増加傾向にあり、近年は200,000羽程度で推移している。



(5) トモエガモ

観察地点数は増減しているが、令和6年度は250地点を上回り、過去最大となった。近年の観察個体数について、平成27年度、平成28年度は2,000羽程度だったが、以降は増加傾向にあり、令和6年度は140,000羽を超えた。

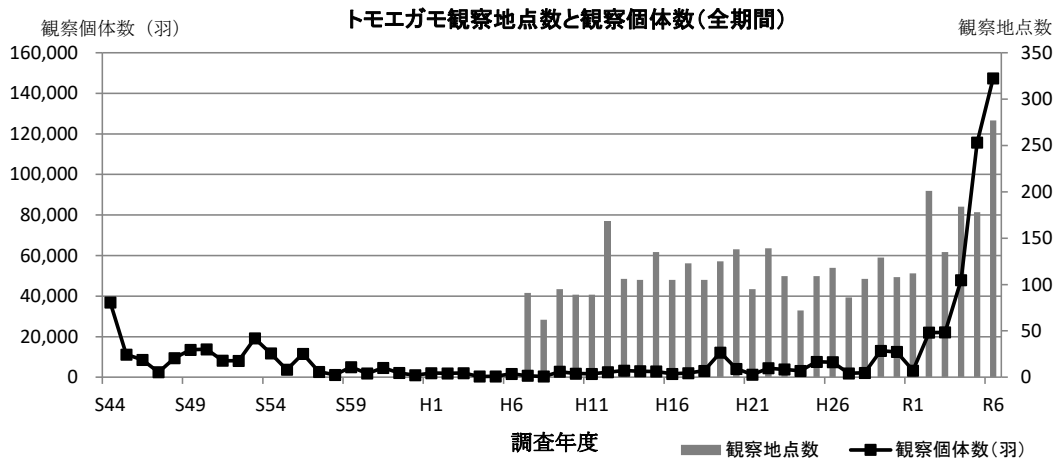


図2-4-2 (5) トモエガモの観察状況の推移

(6) ヨシガモ

観察地点数はやや増加傾向であったが、最近10年間は400地点以上で推移している。観察個体数は、平成21年度に17,000羽程度まで増加した後、概ね11,000～15,000羽で推移しており、令和6年度は13,000羽程度であった。

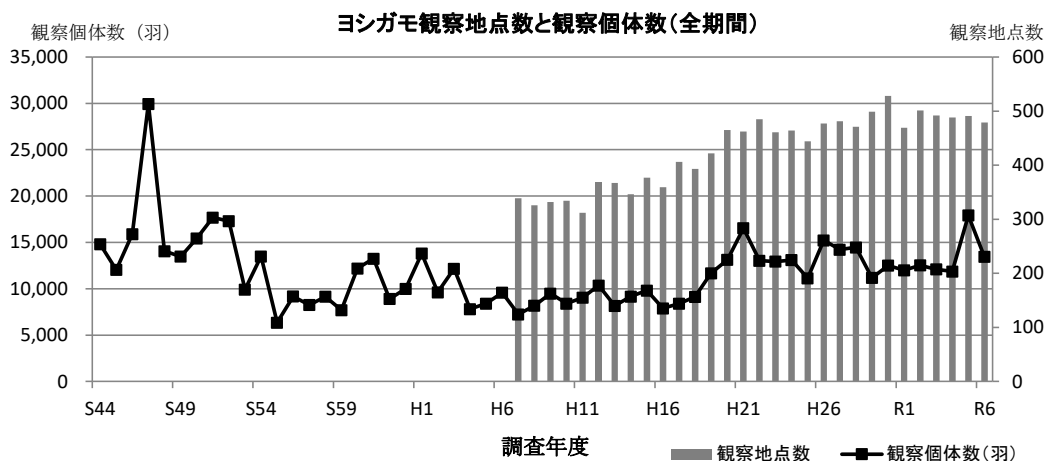


図 2-4-2 (6) ヨシガモの観察状況の推移

(7) オカヨシガモ

観察地点数は増加傾向にあり、平成28年度より700地点を越えている。観察個体数は、昭和55年度頃から増加傾向にあり、近年は20,000～25,000羽程度で推移しており、令和6年度は20,000羽程度と減少している。

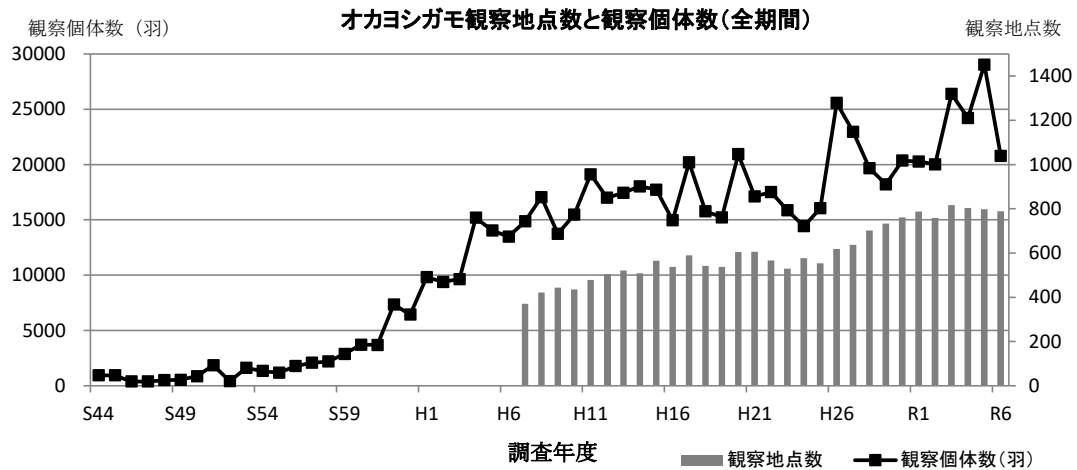


図2-4-2 (7) オカヨシガモの観察状況の推移

(8) ヒドリガモ

観察地点数は増加傾向であったが平成22年度以降は1,700～2,000地点で推移している。観察個体数は昭和44年度の40,000羽以下からほぼ直線的に増加し、平成19年度には200,000羽以上が観察されたが、以降は減少傾向にある。

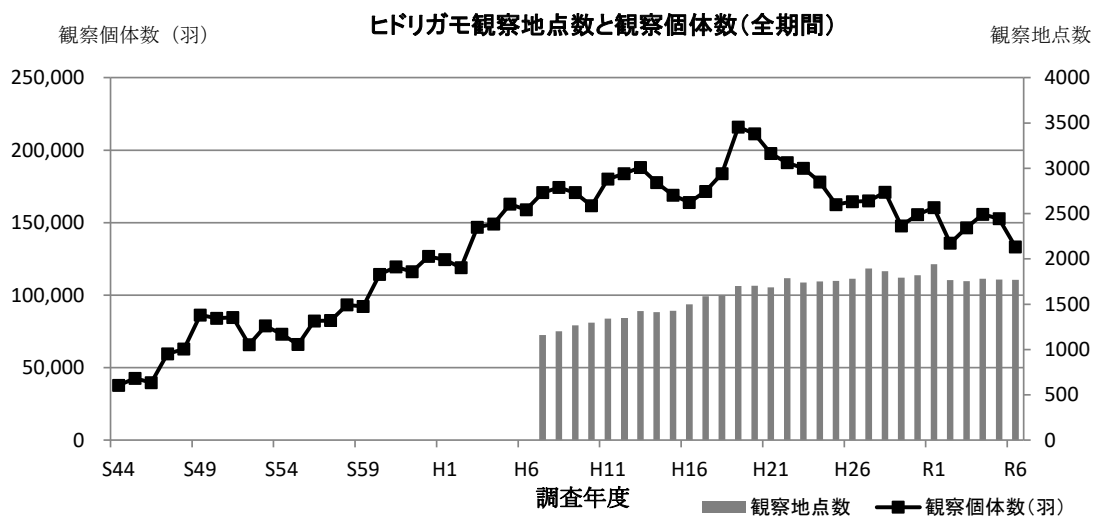


図 2-4-2 (8) ヒドリガモの観察状況の推移

(9) オナガガモ

観察地点数は1,000地点前後で推移していたが、令和2年以降は減少傾向である。観察個体数は平成19年度に220,000羽程度となって以降減少傾向に転じたが、平成24年以降は150,000～200,000羽で推移している。

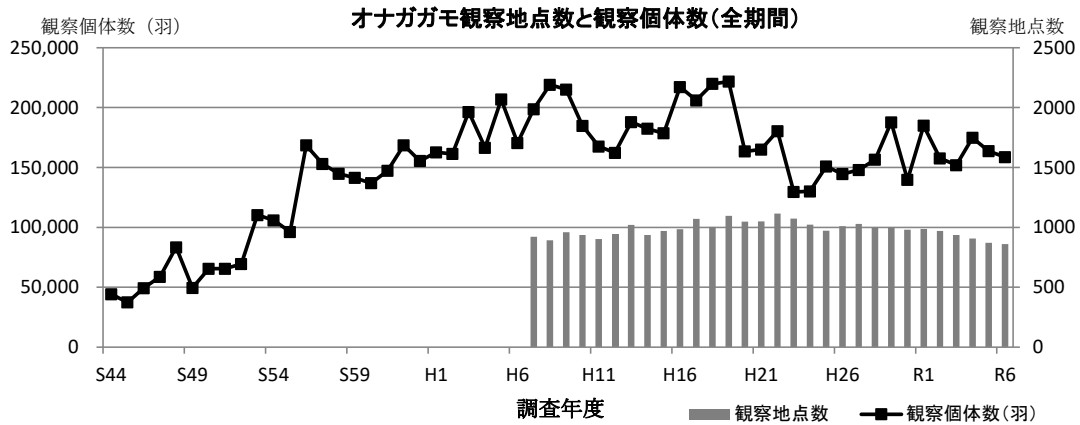


図 2-4-2 (9) オナガガモの観察状況の推移

(10) ハシビロガモ

観察地点数は、やや増加傾向にある。観察個体数は、平成4年度から減少傾向にあったが、最近20年間は概ね15,000～20,000羽で推移している。

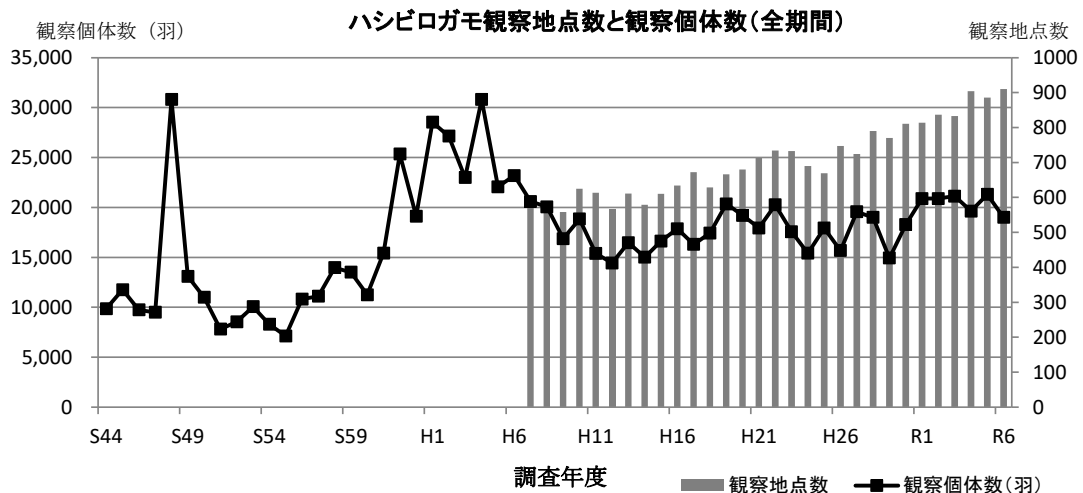


図 2-4-2 (10) ハシビロガモの観察状況の推移

(11) ホシハジロ

観察地点数は増加傾向にあり、平成26年度以降1,400～1,700地点で推移している。一方で、観察個体数は平成11年度に200,000羽程度となって以降減少傾向にあり、平成28年度以降概ね80,000～100,000羽で推移している。

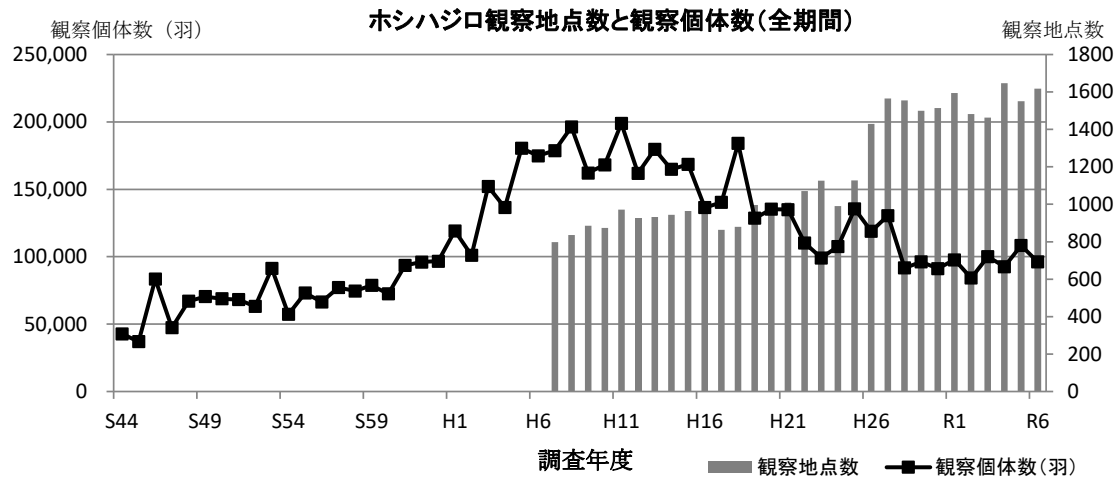


図 2-4-2 (11) ホシハジロの観察状況の推移

(12) キンクロハジロ

観察地点数は増加傾向にあったが、平成23年度以降は増減しつつも1,300～1,500地点で推移している。観察個体数は平成15年度から平成21年度まで100,000羽以上を推移していたが、平成22年度からは減少傾向にあり、令和3年度以降は約60,000羽を下回っている。

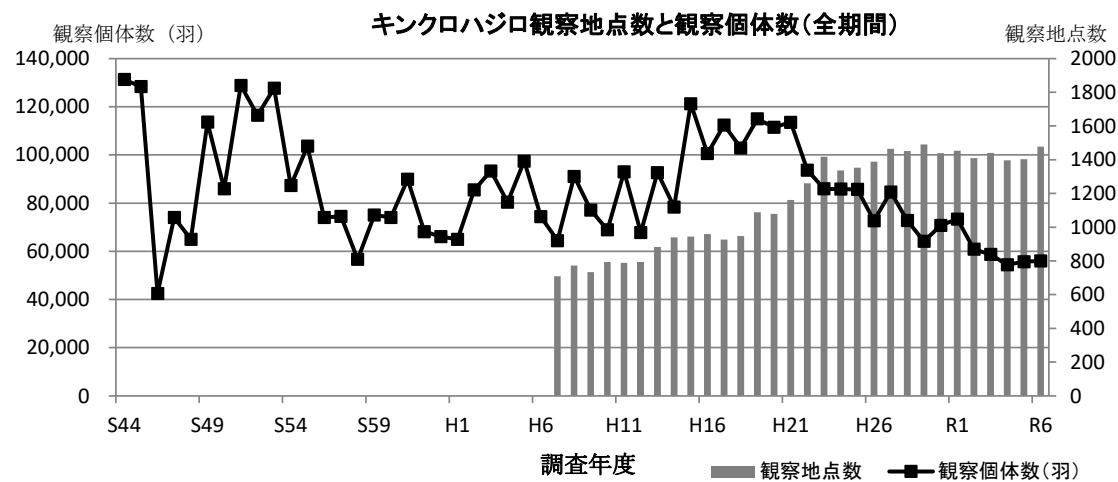


図 2-4-2 (12) キンクロハジロの観察状況の推移

(13) スズガモ

観察地点数は増加傾向であったが、平成28年度以降は増減しつつも減少傾向にある。観察個体数は昭和51年度に200,000羽を越えて以降、100,000～270,000羽程度の間で増減を繰り返していたが、平成17年度をピークに増減しつつも減少傾向となり、令和元年度以降は150,000羽を下回っている。

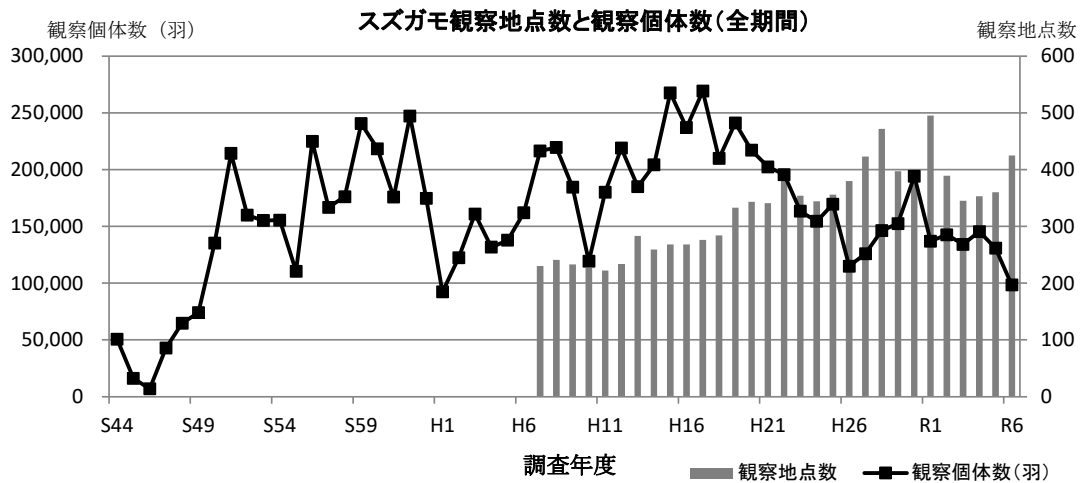


図 2-4-2 (13) スズガモの観察状況の推移

(14) クロガモ

観察地点数は平成19年度まで減少傾向にあり、以降は70～110地点程度の間を推移しているが、令和元年度は131地点と多かった。観察個体数は減少傾向にあり、平成13年度に16,000羽を観察して以降は10,000羽を下回り、平成27年度以降は5,000羽を下回り、令和6年度は1,000羽を下回っている。

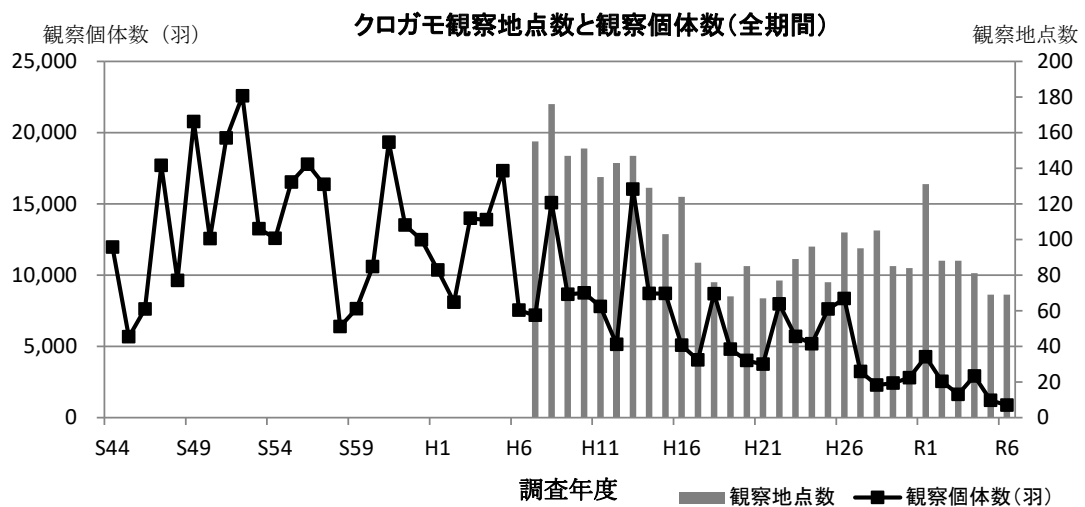
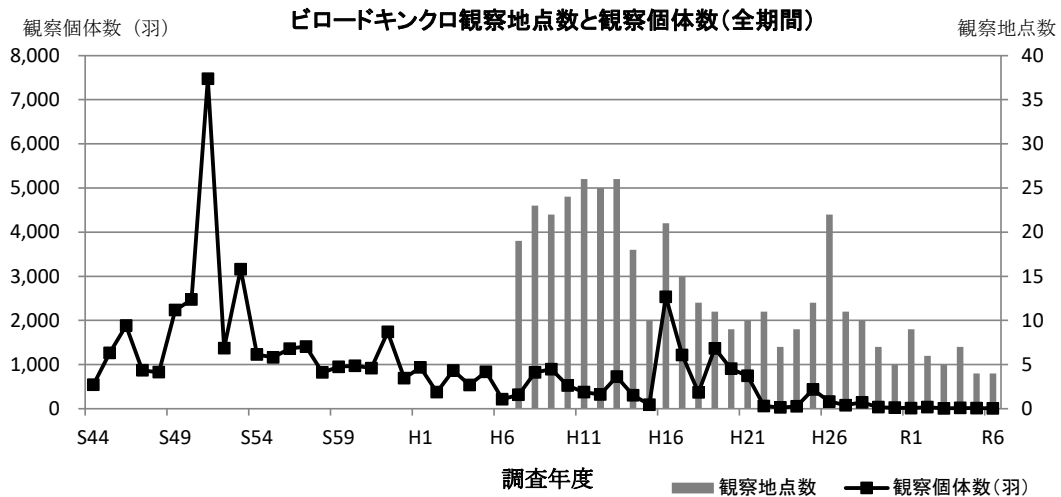


図 2-4-2 (14) クロガモの観察状況の推移

(15) ビロードキンクロ

観察地点数は全国的に少なく、平成28年度以降、10地点以下で推移している。観察個体数については、平成22年度以降10年間は100羽を下回っている年度が多かったが、平成29年度以降は50羽を下回り、令和6年度は6羽であった。



(17) コオリガモ

調査開始初期においては、観察個体数が 12,000 羽を超えた年度もあるが、継続的に減少傾向にあり、近年は 50 羽以下にまで減少し、令和 6 年度は 7 羽であった。観察地点数も減少傾向にあり、本種が主に観察される北海道沿岸の調査地点数が平成 18 年以降減少したことが観察個体数減少につながった可能性がある。令和元年度は、北海道及び青森県の観察地点が増加した。

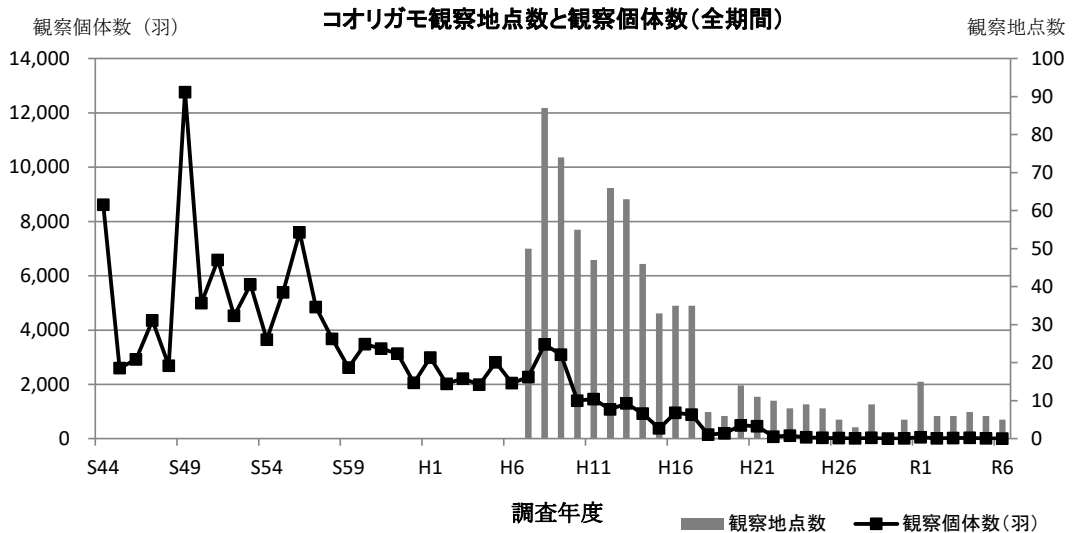


図2-4-2 (17) コオリガモの観察状況の推移

(18) ホオジロガモ

観察地点数は平成19年度からやや増加し、近年は200～250地点で推移している。観察個体数は年による増減があるものの、最近10年間は2,000～4,000羽で推移している。

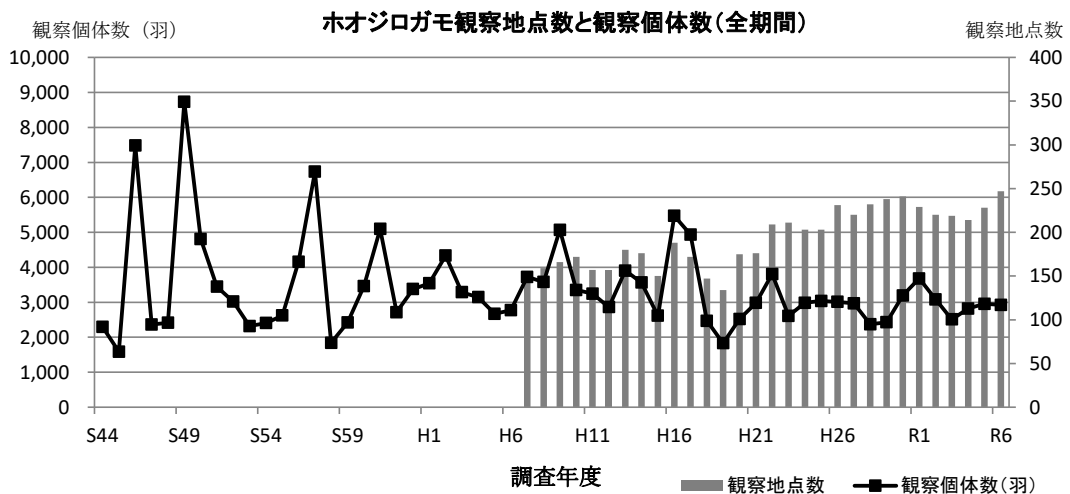


図 2-4-2 (18) ホオジロガモの観察状況の推移

(19) ミコアイサ

観察地点数は増加傾向にあり、平成30年度、令和元年度及び令和3年度以降で400地点を越えている。観察個体数は昭和46年度以降増加傾向であったが、平成20年度以降は3,000羽～6,000羽程度の間で増減しながら推移している。

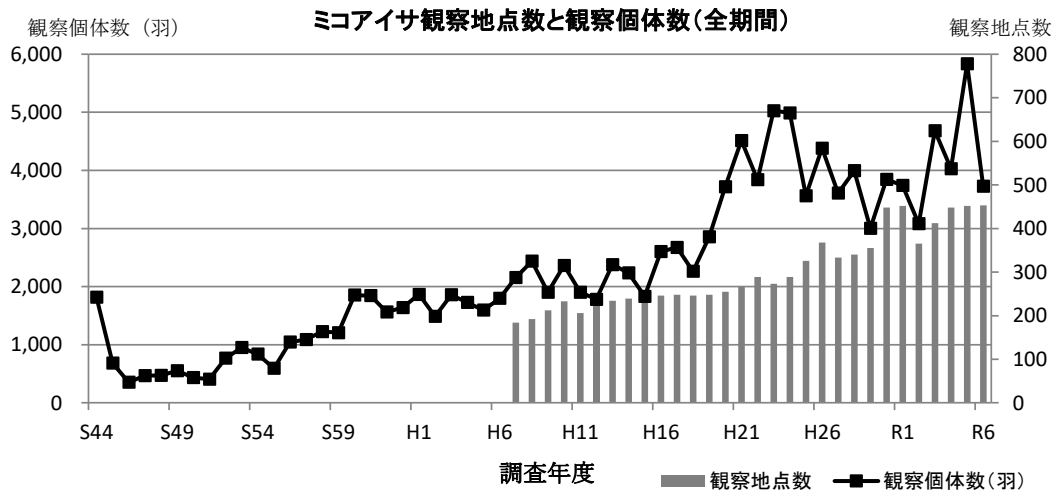


図 2-4-2 (19) ミコアイサの観察状況の推移

(20) ウミアイサ

観察地点数は平成15年度以降、概ね200～250地点で推移している。観察個体数は調査開始当初は大きく増減しており、最近20年間は減少傾向にあったが、令和6年度は4,000羽を超えた。

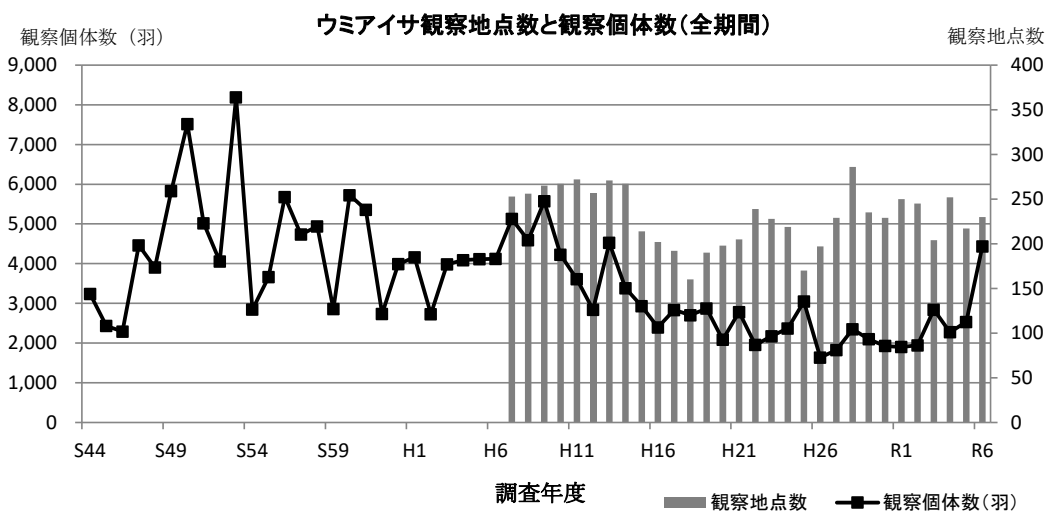


図 2-4-2 (20) ウミアイサの観察状況の推移

(21) カワアイサ

観察地点数は増加傾向であったが、平成21年度以降400～500地点で推移している。観察個体数も同様に増加傾向であったが、平成18年度以降5,000～7,000羽で推移していたものの、令和2年度、令和5年度以降は5,000羽を下回っている。

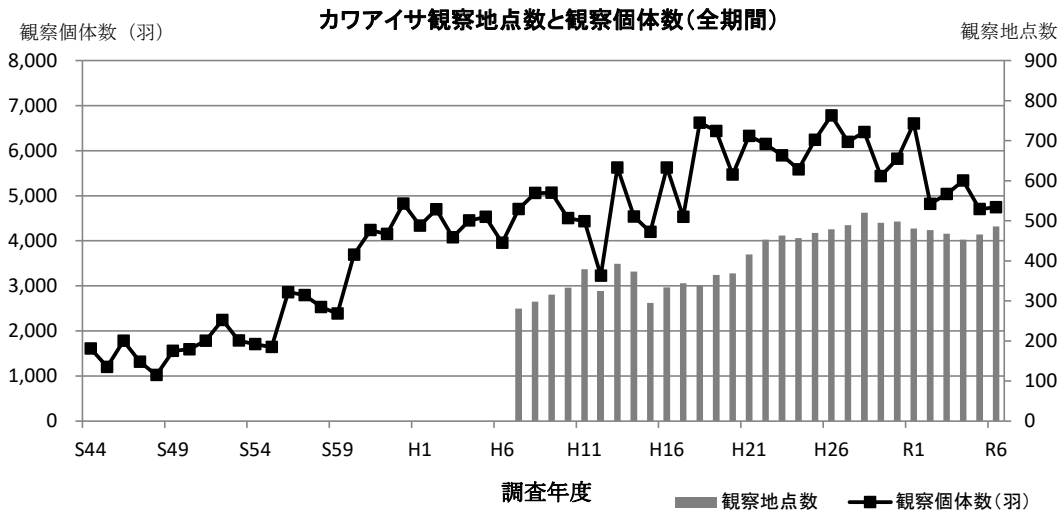


図 2-4-2 (21) カワアイサの観察状況の推移

(22) ツクシガモ

観察地点数は 20～70 地点程度で推移している。観察個体数は増減があるものの、平成 21 年度から増加傾向にあり、令和 3 年度、6 年度に 6,000 羽を超えた。

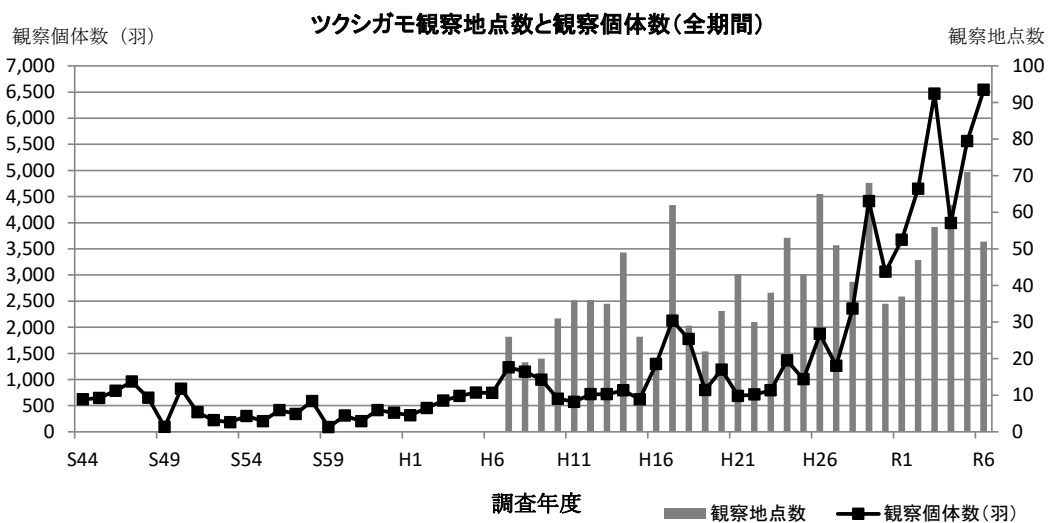


図 2-4-2 (22) ツクシガモの観察状況の推移

4.2 分布状況

令和6年度の都道府県別調査結果を表2-4-1(1)～(3)に示した。

表2-4-1(1) 都道府県別のカモ類観察地点数及び観察個体数

都道府県	観察地点数	観察個体数(羽)								
		淡水ガモ類								
		オンドリ	マガモ	カルガモ	コガモ	トモエガモ	ヨシガモ	オカヨシガモ	ヒドリガモ	オナガガモ
北海道	134	0	939	248	160	0	511	3	303	378
青森県	139	35	1,118	1,715	205	27	35	421	113	306
岩手県	234	39	7,815	6,581	1,645	4	9	20	649	2,562
宮城県	294	4	11,935	4,757	2,580	4	12	34	1,709	15,066
秋田県	142	0	3,717	4,439	885	0	0	0	86	360
山形県	182	20	11,990	6,531	4,039	74	47	120	165	6,790
福島県	260	72	10,605	7,412	3,745	35	34	570	946	9,287
茨城県	43	108	49,609	8,372	7,595	169	2,460	3,536	11,375	34,276
栃木県	32	339	7,918	2,076	803	3	135	231	1,285	1,625
群馬県	77	77	2,041	1,605	2,146	4	110	167	1,594	1,395
埼玉県	157	79	5,349	5,544	4,529	26	264	361	2,576	1,227
千葉県	254	326	26,771	17,733	7,680	40,030	87	147	7,180	19,031
東京都	58	1	810	1,187	949	49	128	376	1,725	145
神奈川県	177	394	907	1,195	1,056	31	198	235	904	364
新潟県	21	1	33,421	3,322	17,257	2,333	335	22	2,026	17,492
富山県	17	0	6,108	1,075	3,908	66	37	188	1,600	2,439
石川県	10	0	16,730	3,288	10,413	25,260	269	86	6,146	11,185
福井県	16	99	11,899	2,718	3,353	395	481	73	1,391	159
山梨県	50	407	521	219	413	0	8	4	199	12
長野県	199	64	3,122	3,020	1,855	14	52	75	1,588	1,784
岐阜県	117	865	4,850	4,828	5,242	274	469	1,139	5,489	102
静岡県	128	242	4,939	3,451	3,422	394	350	680	3,302	1,217
愛知県	125	216	3,694	2,686	2,401	2	50	619	2,898	3,875
三重県	249	941	7,054	4,950	2,222	282	204	529	6,449	2,721
滋賀県	177	128	13,903	8,502	8,289	3,237	2,806	3,012	10,615	2,247
京都府	137	1,541	5,127	3,791	4,029	409	320	686	2,168	533
大阪府	377	556	1,897	2,328	2,252	149	257	1,458	5,331	284
兵庫県	213	1,277	3,246	2,774	2,886	450	256	1,738	4,873	1,391
奈良県	107	2,468	2,678	2,593	3,470	39	336	75	1,123	22
和歌山県	152	1,301	2,745	2,831	860	18	182	323	2,690	21
鳥取県	10	955	5,179	2,540	883	515	62	140	1,249	468
島根県	146	413	10,823	5,125	2,052	45,138	36	236	1,882	1,332
岡山県	14	43	2,909	1,219	293	1,439	493	89	1,529	1,187
広島県	262	2,195	4,326	4,481	1,808	260	234	865	4,274	690
山口県	186	545	5,798	4,014	1,840	4	71	21	2,656	1,147
徳島県	70	176	6,588	5,521	1,034	201	125	1,030	5,843	267
香川県	150	129	2,749	2,191	1,288	114	231	277	2,976	631
愛媛県	116	479	8,363	4,591	1,270	2,695	81	266	3,377	4,223
高知県	57	821	10,501	8,041	1,251	405	139	53	5,489	587
福岡県	199	327	5,022	5,370	880	87	46	33	2,225	1,325
佐賀県	101	557	8,239	3,877	2,684	11,127	1,018	620	2,283	4,445
長崎県	42	1,447	2,853	2,346	282	11,303	178	26	1,991	356
熊本県	139	152	7,065	3,141	907	322	47	34	3,677	2,138
大分県	247	835	6,509	5,321	4,044	30	218	113	1,257	182
宮崎県	64	1,230	3,492	3,584	792	0	13	0	2,781	1,057
鹿児島県	203	614	7,802	13,627	2,152	0	1	3	979	167
沖縄県	75	0	40	405	483	0	13	47	339	187
観察都道府県数		42	47	47	47	41	46	45	47	47
合計	6,359	22,518	361,716	197,165	134,232	147,418	13,448	20,781	133,305	158,685

表 2-4-1 (2) 都道府県別のカモ類観察地点数及び観察個体数

都道府県	観察個体数(羽)									
	淡水ガモ類			海ガモ類						
	ハシビロガモ	その他	合計	ホシハジロ	キンクロハジロ	スズガモ	クロガモ	ビロードキンクロ	シノリガモ	コオリガモ
北海道	0	0	2,542	7	179	646	128	0	564	4
青森県	43	0	4,018	123	127	1,111	74	0	17	0
岩手県	19	1	19,344	1,019	774	620	118	0	56	0
宮城県	431	0	36,532	425	413	1,326	187	2	1	0
秋田県	5	1	9,493	60	59	234	2	0	21	0
山形県	4	0	29,780	190	141	30	0	0	0	0
福島県	254	1	32,961	1,082	815	114	175	0	13	0
茨城県	547	0	118,047	2,894	781	4,529	3	0	103	0
栃木県	46	2	14,463	245	306	0	0	0	0	0
群馬県	151	4	9,294	906	722	5	0	0	0	0
埼玉県	449	4	20,408	2,634	992	7	0	0	0	1
千葉県	885	0	119,870	3,057	1,638	10,796	7	1	0	2
東京都	145	2	5,517	1,040	5,435	882	0	0	0	0
神奈川県	70	0	5,354	1,164	627	502	0	0	0	0
新潟県	50	2	76,261	1,001	595	39	0	0	0	0
富山県	289	0	15,710	417	251	0	0	0	0	0
石川県	98	3	73,478	1,055	53	15	0	0	0	0
福井県	41	0	20,609	293	499	338	0	0	0	0
山梨県	20	0	1,803	103	265	7	0	0	0	0
長野県	12	0	11,586	1,355	835	30	19	0	0	0
岐阜県	236	7	23,501	435	1,574	156	0	2	0	0
静岡県	116	4	18,117	2,530	807	3,732	0	0	2	0
愛知県	584	1	17,026	7,920	1,641	10,908	10	0	0	0
三重県	822	1	26,175	3,652	1,518	17,031	1	0	0	0
滋賀県	552	9	53,300	6,537	15,983	2,894	0	0	0	0
京都府	315	2	18,921	2,116	1,335	72	0	1	6	0
大阪府	2,680	1	17,193	11,198	2,865	2,891	0	0	0	0
兵庫県	2,066	20	20,977	9,626	1,418	3,314	0	0	0	0
奈良県	844	0	13,648	425	250	6	0	0	0	0
和歌山県	314	1	11,286	917	343	0	0	0	0	0
鳥取県	59	2	12,052	258	789	2,588	0	0	0	0
島根県	565	0	67,602	642	6,702	19,204	10	0	10	0
岡山県	304	1	9,506	3,847	1,110	2,313	0	0	0	0
広島県	1,590	0	20,723	8,064	569	839	0	0	0	0
山口県	17	0	16,113	609	404	42	0	0	0	0
徳島県	114	0	20,899	1,923	386	241	0	0	0	0
香川県	1,649	1	12,236	1,318	323	227	0	0	0	0
愛媛県	383	1	25,729	1,832	123	26	0	0	0	0
高知県	93	1	27,381	293	8	10	7	0	2	0
福岡県	227	1	15,543	4,248	439	16	0	0	0	0
佐賀県	903	400	36,153	5,092	55	218	120	0	0	0
長崎県	45	0	20,827	1,990	376	10,307	0	0	0	0
熊本県	162	0	17,645	1,199	15	0	0	0	0	0
大分県	40	0	18,549	160	149	17	6	0	0	0
宮崎県	200	0	13,149	7	0	4	0	0	0	0
鹿児島県	28	0	25,373	301	126	45	6	0	0	0
沖縄県	531	0	2,045	19	1,143	9	0	0	0	0
観察都道府県数	46	25	47	47	46	43	16	4	11	3
合計	18,998	473	1,208,739	96,228	55,958	98,341	873	6	795	7

※ 淡水ガモ類のその他はアメリカヒドリ、シマアジの合計である。

表 2-4-1 (3) 都道府県別のカモ類観察地点数及び観察個体数

都道府県	観察個体数(羽)											
	海ガモ類						種不明 ・雑種	ツクシガモ類			リュウキュウガモ	合計
	ホオジロ ガモ	ミコアイサ	ウミアイサ	カワアイ サ	その他	合計		ツクシガモ	アカツクシ ガモ	合計		
北海道	922	1	1,893	558	3	4,905	510	1	0	1	0	7,958
青森県	27	5	268	19	0	1,771	969	0	0	0	0	6,758
岩手県	163	33	153	99	0	3,035	20	0	0	0	0	22,399
宮城県	52	321	153	118	0	2,998	4,523	0	0	0	0	44,053
秋田県	45	15	416	83	0	935	2,245	0	0	0	0	12,673
山形県	1	6	5	33	0	406	1,447	0	0	0	0	31,633
福島県	173	105	15	118	0	2,610	1,171	0	0	0	0	36,742
茨城県	135	43	34	4	0	8,526	6,861	0	0	0	0	133,434
栃木県	37	76	0	43	0	707	1	0	0	0	0	15,171
群馬県	22	26	0	10	0	1,691	1	0	0	0	0	10,986
埼玉県	41	56	0	28	0	3,759	7	0	0	0	0	24,174
千葉県	56	8	31	52	1	15,649	815	0	0	0	0	136,334
東京都	2	0	2	1	0	7,362	8	0	0	0	0	12,887
神奈川県	15	0	0	7	0	2,315	169	0	0	0	0	7,838
新潟県	29	91	10	29	0	1,794	0	0	0	0	0	78,055
富山県	1	1	0	5	0	675	0	0	0	0	0	16,385
石川県	30	42	24	33	0	1,252	0	0	0	0	0	74,730
福井県	55	33	1	15	0	1,234	0	0	0	0	0	21,843
山梨県	4	16	0	283	0	678	103	0	0	0	0	2,584
長野県	16	69	0	446	0	2,770	651	0	0	0	0	15,007
岐阜県	41	118	0	535	1	2,862	166	1	0	1	0	26,530
静岡県	82	13	48	100	1	7,315	0	0	0	0	0	25,432
愛知県	0	93	2	12	1	20,587	3,667	27	0	27	0	41,307
三重県	29	70	107	39	1	22,448	1,134	16	0	16	0	49,773
滋賀県	307	450	133	404	2	26,710	5,852	0	0	0	0	85,862
京都府	26	33	58	225	1	3,873	9	0	0	0	0	22,803
大阪府	9	524	44	31	2	17,564	22	30	0	30	0	34,809
兵庫県	10	549	167	308	1	15,393	2	9	0	9	0	36,381
奈良県	0	215	0	6	0	902	0	2	0	2	0	14,552
和歌山県	1	13	1	154	1	1,430	55	0	0	0	0	12,771
鳥取県	121	13	9	67	0	3,845	190	19	0	19	0	16,106
島根県	370	13	31	239	0	27,221	3,229	6	0	6	0	98,058
岡山県	7	109	132	0	0	7,518	97	96	0	96	0	17,217
広島県	9	141	104	485	4	10,215	32	14	0	14	0	30,984
山口県	1	3	9	63	0	1,131	2,076	0	0	0	0	19,320
徳島県	3	4	105	53	2	2,717	54	19	0	19	0	23,689
香川県	2	386	90	0	0	2,346	46	0	0	0	0	14,628
愛媛県	3	5	61	0	0	2,050	153	1	0	1	0	27,933
高知県	0	0	0	12	0	332	1,100	0	0	0	0	28,813
福岡県	14	10	14	6	0	4,747	3,036	1,211	0	1,211	0	24,537
佐賀県	0	0	0	0	0	5,485	1,671	5,079	4	5,083	0	48,392
長崎県	55	18	194	0	0	12,940	152	4	0	4	0	33,923
熊本県	0	0	0	10	0	1,224	121	0	0	0	0	18,990
大分県	10	0	122	14	0	478	534	3	0	3	0	19,564
宮崎県	0	0	0	0	0	11	535	0	0	0	0	13,695
鹿児島県	0	0	0	0	0	478	872	0	0	0	0	26,723
沖縄県	0	0	0	0	2	1,173	6	3	0	3	0	3,227
観察 都道府県数	39	38	32	39	14	47	41	18	1	18	0	47
合計	2,926	3,727	4,436	4,747	23	268,067	44,312	6,541	4	6,545	0	1,527,663

※ 海ガモ類のその他はアカハシハジロ、オオホシハジロ、メジロガモ、アカハジロ、ケワタガモ、コケワタガモ、アラナミキンクロ、ヒメハジロ、クビワキンクロ、コウライアイサの合計である（今年度はケワタガモ、コケワタガモ、アラナミキンクロ、ヒメハジロは観察されなかった）。

4.3 法指定区域別の観察状況

鳥獣の保護及び管理並びに狩猟の適正化に関する法律（以下、鳥獣保護管理法）によって鳥獣保護区や休猟区などに指定されている区域別の観察状況を、表2-4-2～表2-4-5及び図2-4-3(1)～(5)に示した。

カモ類の観察地点のうち、鳥獣保護区に該当する地点は、全体の21.0%にあたる1,337地点であり、これらの地点ではカモ類の全観察個体数の51.1%にあたる781,352羽が観察された。また、鳥獣保護区に、休猟区、鳥獣保護管理法施行規則第7条第1項第7号ハからチに該当する区域、特定猟具使用禁止区域及び特定猟具使用制限区域を加えた、狩猟または銃猟が禁止・制限された区域に該当する地点については、3,854地点（60.6%）で、1,280,886羽（83.8%）が観察された。一方、銃猟の制限されていない猟区及びその他の区域に該当する地点については、2,505地点（39.4%）で246,777羽（16.2%）が観察された。

カモ類は、ハクチョウ類及びガン類と比較して、狩猟または銃猟が禁止・制限された区域に該当する地点での観察割合が高かった。

表 2-4-2 法指定区域別のカモ類の観察状況

項目	鳥獣保護区		休猟区		施行規則第7条 第1項第7号ハ から子の区域		特定猟具使用 禁止区域		特定猟具使用 制限区域		猟区		その他の区域		合計			
	項目内 割合(%)	項目内 割合(%)	項目内 割合(%)	項目内 割合(%)	項目内 割合(%)	項目内 割合(%)	項目内 割合(%)	項目内 割合(%)	項目内 割合(%)	項目内 割合(%)	項目内 割合(%)	項目内 割合(%)	項目内 割合(%)	項目内 割合(%)	項目内 割合(%)	項目内 割合(%)		
調査地点数(箇所)	1,713	19.6	59	0.7	148	1.7	2,827	32.4	47	0.5	164	1.9	3,774	43.2	8,732	100.0		
調査地点面積(ha)	189,514	51.0	839	0.2	3,106	0.8	68,440	18.4	1,841	0.5	5,167	1.4	102,370	27.6	371,277	100.0		
観察地点数 (箇所)	マガモ	875	23.6	22	0.6	79	2.1	1,357	36.6	28	0.8	61	1.6	1,289	34.7	3,711	100.0	
	カルガモ	858	23.0	23	0.6	86	2.3	1,459	39.2	25	0.7	64	1.7	1,208	32.4	3,723	100.0	
	コガモ	561	23.0	8	0.3	39	1.6	1,038	42.6	9	0.4	30	1.2	752	30.9	2,437	100.0	
	ヨシガモ	171	35.7	0	—	12	2.5	186	38.8	0	—	5	1.0	105	21.9	479	100.0	
	ヒドリガモ	488	27.6	8	0.5	43	2.4	712	40.3	12	0.7	22	1.2	483	27.3	1,768	100.0	
	オナガガモ	284	33.0	3	0.3	18	2.1	322	37.4	9	1.0	9	1.0	215	25.0	860	100.0	
	ハンビロガモ	215	23.6	0	—	31	3.4	415	45.6	2	0.2	5	0.5	242	26.6	910	100.0	
	ホシハジロ	450	27.8	3	0.2	57	3.5	649	40.1	4	0.2	14	0.9	440	27.2	1,617	100.0	
	キンクロハジロ	407	27.5	2	0.1	44	3.0	603	40.8	11	0.7	10	0.7	401	27.1	1,478	100.0	
	スズガモ	145	34.1	1	0.2	7	1.6	132	31.1	5	1.2	2	0.5	133	31.3	425	100.0	
	クロガモ	11	15.9	0	—	1	1.4	20	29.0	0	—	0	—	37	53.6	69	100.0	
	狩猟対象種合計	1,290	21.3	37	0.6	129	2.1	2,242	37.0	40	0.7	106	1.7	2,220	36.6	6,064	100.0	
	観察対象外	オシドリ	151	25.0	7	1.2	9	1.5	160	26.5	2	0.3	11	1.8	263	43.6	603	100.0
		トモエガモ	115	41.5	0	—	5	1.8	101	36.5	1	0.4	6	2.2	49	17.7	277	100.0
		オカヨシガモ	249	31.6	2	0.3	22	2.8	327	41.4	3	0.4	6	0.8	180	22.8	789	100.0
ビロードキンクロ		1	25.0	0	—	0	—	3	75.0	0	—	0	—	0	—	4	100.0	
シノリガモ		15	22.1	0	—	0	—	10	14.7	0	—	0	—	43	63.2	68	100.0	
コオリガモ		0	—	0	—	0	—	3	60.0	0	—	0	—	2	40.0	5	100.0	
ホオジロガモ		120	48.6	1	0.4	2	0.8	64	25.9	1	0.4	1	0.4	58	23.5	247	100.0	
ミコアイサ		144	31.8	0	—	18	4.0	219	48.3	1	0.2	5	1.1	66	14.6	453	100.0	
ウミアイサ		95	41.3	3	1.3	1	0.4	55	23.9	1	0.4	3	1.3	72	31.3	230	100.0	
カワアイサ		137	28.2	2	0.4	1	0.2	155	31.9	1	0.2	6	1.2	184	37.9	486	100.0	
その他		35	30.4	0	—	2	1.7	42	36.5	1	0.9	1	0.9	34	29.6	115	100.0	
狩猟対象外合計	598	26.5	13	0.6	41	1.8	807	35.8	8	0.4	30	1.3	759	33.6	2,256	100.0		
種不明	125	24.2	2	0.4	11	2.1	175	33.8	8	1.5	7	1.4	189	36.6	517	100.0		
総計	1,337	21.0	38	0.6	130	2.0	2,306	36.3	43	0.7	111	1.7	2,394	37.6	6,359	100.0		
観察個体数 (羽)	マガモ	184,947	51.1	312	0.1	2,317	0.6	115,368	31.9	2,898	0.8	2,643	0.7	53,231	14.7	361,716	100.0	
	カルガモ	65,388	33.2	379	0.2	3,603	1.8	84,603	42.9	690	0.3	2,023	1.0	40,479	20.5	197,165	100.0	
	コガモ	51,077	38.1	145	0.1	802	0.6	58,661	43.7	118	0.1	1,500	1.1	21,929	16.3	134,232	100.0	
	ヨシガモ	7,038	52.3	0	—	192	1.4	4,100	30.5	0	—	20	0.2	2,098	15.6	13,448	100.0	
	ヒドリガモ	53,676	40.3	158	0.1	1,803	1.4	51,110	38.3	292	0.2	1,042	0.8	25,224	18.9	133,305	100.0	
	オナガガモ	89,179	56.2	83	0.1	1,974	1.2	43,876	27.6	4,297	2.7	652	0.4	18,624	11.7	158,685	100.0	
	ハンビロガモ	5,058	26.6	0	—	548	2.9	7,953	41.9	9	0.0	59	0.3	5,371	28.3	18,998	100.0	
	ホシハジロ	36,901	38.3	215	0.2	1,728	1.8	29,233	30.4	71	0.1	289	0.3	27,791	28.9	96,228	100.0	
	キンクロハジロ	38,309	68.5	14	0.0	654	1.2	9,930	17.7	271	0.5	57	0.1	6,723	12.0	55,958	100.0	
	スズガモ	57,269	58.2	1	0.0	64	0.1	29,157	29.6	132	0.1	29	0.0	11,689	11.9	98,341	100.0	
	クロガモ	82	9.4	0	—	4	0.5	117	13.4	0	—	0	—	670	76.7	873	100.0	
	狩猟対象種合計	588,924	46.4	1,307	0.1	13,689	1.1	434,108	34.2	8,778	0.7	8,314	0.7	213,829	16.9	1,268,949	100.0	
	観察対象外	オシドリ	6,522	29.0	94	0.4	201	0.9	9,088	40.4	362	1.6	265	1.2	5,986	26.6	22,518	100.0
		トモエガモ	142,115	96.4	0	—	79	0.1	3,225	2.2	45	0.0	220	0.1	1,734	1.2	147,418	100.0
		オカヨシガモ	9,117	43.9	3	0.0	265	1.3	8,335	40.1	82	0.4	245	1.2	2,734	13.2	20,781	100.0
ビロードキンクロ		2	33.3	0	—	0	—	4	66.7	0	—	0	—	0	—	6	100.0	
シノリガモ		73	9.2	0	—	0	—	100	12.6	0	—	0	—	622	78.2	795	100.0	
コオリガモ		0	—	0	—	0	—	3	42.9	0	—	0	—	4	57.1	7	100.0	
ホオジロガモ		1,839	62.9	4	0.1	9	0.3	687	23.5	7	0.2	3	0.1	377	12.9	2,926	100.0	
ミコアイサ		1,378	37.0	0	—	120	3.2	1,770	47.5	5	0.1	47	1.3	407	10.9	3,727	100.0	
ウミアイサ		1,537	34.6	12	0.3	2	0.0	1,449	32.7	2	0.0	52	1.2	1,382	31.2	4,436	100.0	
カワアイサ		1,900	40.0	6	0.1	2	0.0	1,506	31.7	7	0.1	21	0.4	1,305	27.5	4,747	100.0	
その他		4,781	67.9	0	—	27	0.4	953	13.5	3	0.0	2	0.0	1,275	18.1	7,041	100.0	
狩猟対象外合計	169,264	78.9	119	0.1	705	0.3	27,120	12.6	513	0.2	855	0.4	15,826	7.4	214,402	100.0		
種不明	23,164	52.3	26	0.1	143	0.3	12,420	28.0	606	1.4	378	0.9	7,575	17.1	44,312	100.0		
総計	781,352	51.1	1,452	0.1	14,537	1.0	473,648	31.0	9,897	0.6	9,547	0.6	237,230	15.5	1,527,663	100.0		

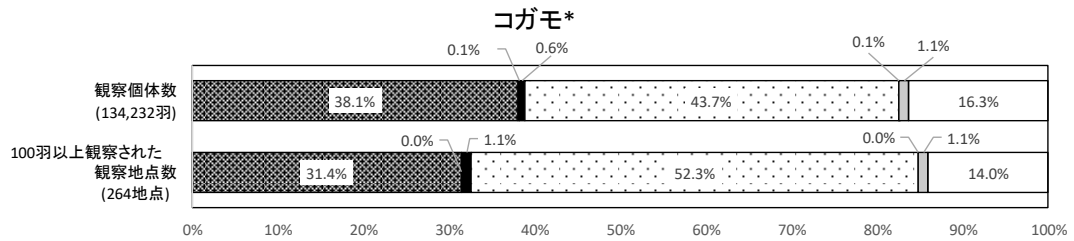
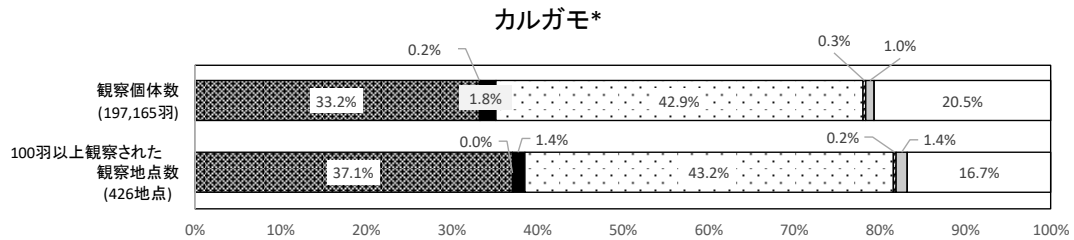
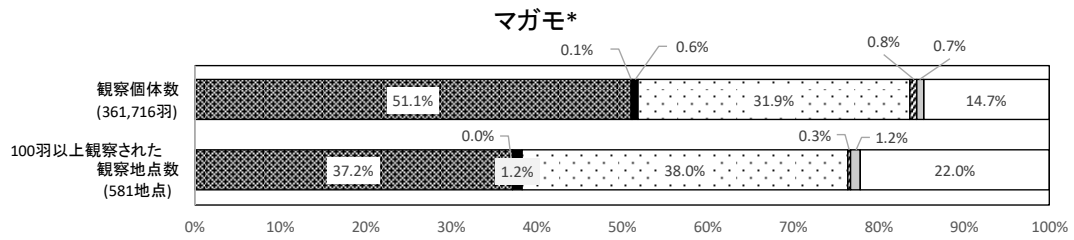
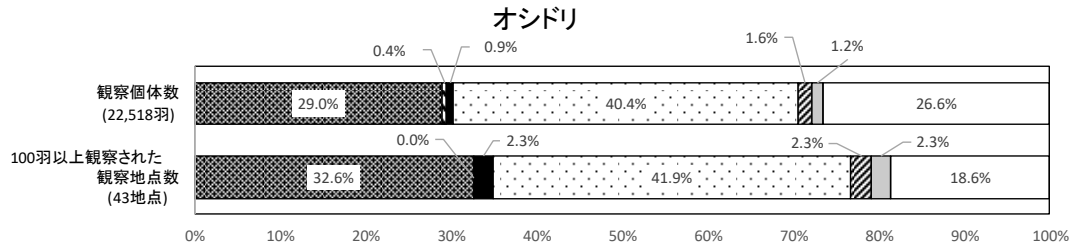
【備考】 項目内割合は、各行の項目の合計に対する法指定区域別の構成比を示す。
観察地点数の合計は、種別の観察地点数の単純合計ではない(重複地点を除いている)。

表 2-4-3 法指定区域別のカモ類観察状況（個体数の下限有）

項目	観察 個体数 下限値 (羽) *注	鳥獣保護区		休猟区		施行規則第7条 第1項第7号ハ からチの区域		特定猟具使用 禁止区域		特定猟具使用 制限区域		猟区		その他の区域		合計		
		項目内 割合(%)	項目内 割合(%)	項目内 割合(%)	項目内 割合(%)	項目内 割合(%)	項目内 割合(%)	項目内 割合(%)	項目内 割合(%)	項目内 割合(%)	項目内 割合(%)	項目内 割合(%)	項目内 割合(%)	項目内 割合(%)	項目内 割合(%)	項目内 割合(%)	項目内 割合(%)	
調査地点数(箇所)		1,713	19.6	59	0.7	148	1.7	2,827	32.4	47	0.5	164	1.9	3,774	43.2	8,732	100.0	
調査地点面積(ha)		189,514	51.0	839	0.2	3,106	0.8	68,440	18.4	1,841	0.5	5,167	1.4	102,370	27.6	371,277	100.0	
狩猟対象	マガモ	100	216	37.2	0	—	7	1.2	221	38.0	2	0.3	7	1.2	128	22.0	581	100.0
	カルガモ	100	158	37.1	0	—	6	1.4	184	43.2	1	0.2	6	1.4	71	16.7	426	100.0
	コガモ	100	83	31.4	0	—	3	1.1	138	52.3	0	—	3	1.1	37	14.0	264	100.0
	ヨシガモ	100	17	60.7	0	—	0	—	6	21.4	0	—	0	—	5	17.9	28	100.0
	ヒドリガモ	100	110	35.9	0	—	6	2.0	122	39.9	0	—	2	0.7	66	21.6	306	100.0
	オナガガモ	100	85	45.2	0	—	4	2.1	58	30.9	3	1.6	1	0.5	37	19.7	188	100.0
	ハシビロガモ	100	11	30.6	0	—	1	2.8	12	33.3	0	—	0	—	12	33.3	36	100.0
	ホシハジロ	100	73	44.2	1	0.6	5	3.0	44	26.7	0	—	0	—	42	25.5	165	100.0
	キンクロハジロ	100	67	69.8	0	—	1	1.0	15	15.6	0	—	0	—	13	13.5	96	100.0
	スズガモ	100	43	48.3	0	—	0	—	27	30.3	1	1.1	0	—	18	20.2	89	100.0
	クロガモ	100	0	—	0	—	0	—	0	—	0	—	0	—	3	100.0	3	100.0
	オンドリ	100	14	32.6	0	—	1	2.3	18	41.9	1	2.3	1	2.3	8	18.6	43	100.0
	トモエガモ	10	63	48.8	0	—	1	0.8	38	29.5	1	0.8	2	1.6	24	18.6	129	100.0
	オカヨシガモ	100	14	36.8	0	—	0	—	20	52.6	0	—	1	2.6	3	7.9	38	100.0
ビロードキンクロ	1	1	25.0	0	—	0	—	3	75.0	0	—	0	—	0	—	4	100.0	
シノリガモ	20	0	—	0	—	0	—	1	11.1	0	—	0	—	8	88.9	9	100.0	
コオリガモ	1	0	—	0	—	0	—	3	60.0	0	—	0	—	2	40.0	5	100.0	
ホオジロガモ	1	120	48.6	1	0.4	2	0.8	64	25.9	1	0.4	1	0.4	58	23.5	247	100.0	
ミコアイサ	10	39	36.1	0	—	3	2.8	57	52.8	0	—	1	0.9	8	7.4	108	100.0	
ウミアイサ	1	95	41.3	3	1.3	1	0.4	55	23.9	1	0.4	3	1.3	72	31.3	230	100.0	
カワアイサ	10	40	32.3	0	—	0	—	42	33.9	0	—	0	—	42	33.9	124	100.0	
カモ類合計	1	1,337	21.0	38	0.6	130	2.0	2,306	36.3	43	0.7	111	1.7	2,394	37.6	6,359	100.0	

*注：各項目別の観察個体数に下限を設定した観察地点数を表す。

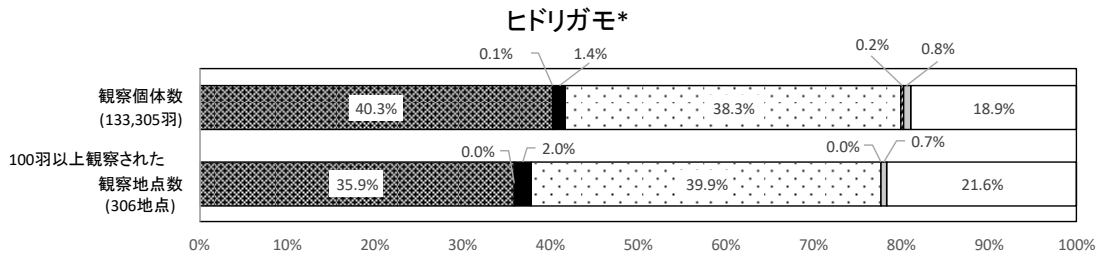
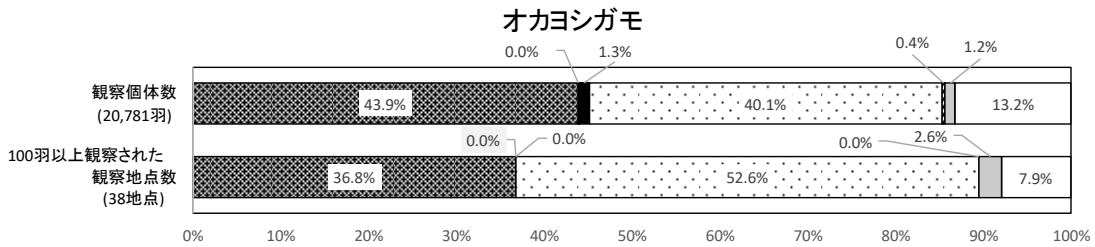
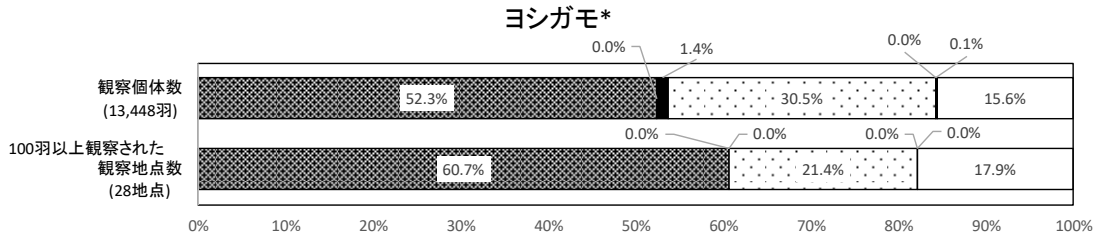
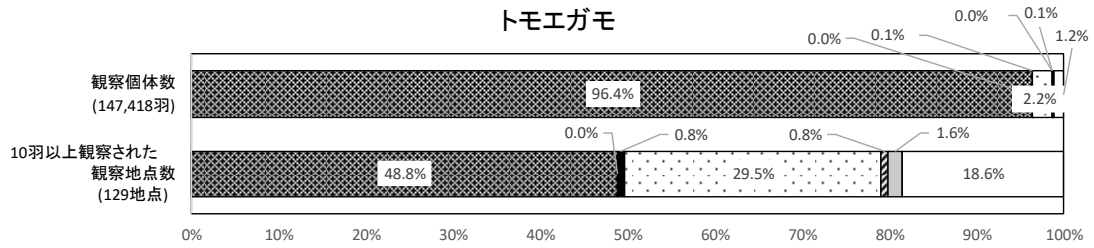
【備考】項目内割合は、各行の項目の合計に対する法指定区域別の構成比を示す。



- 鳥獣保護区
- 施行規則第7条第1項第7号ハからチの区域
- ▨ 特定猟具使用制限区域
- その他
- 休猟区
- 特定猟具使用禁止区域
- 猟区

* : 狩猟鳥獣に指定された種を示す

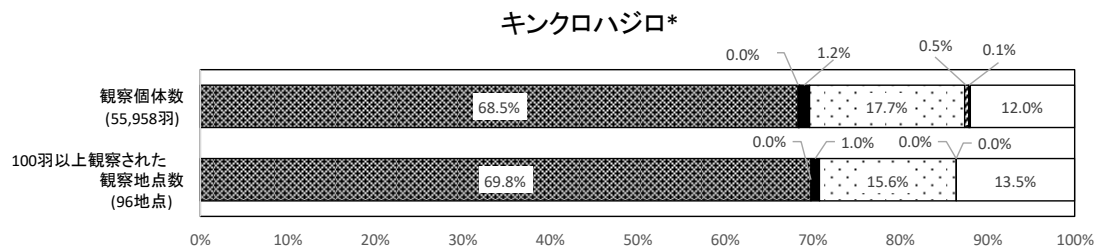
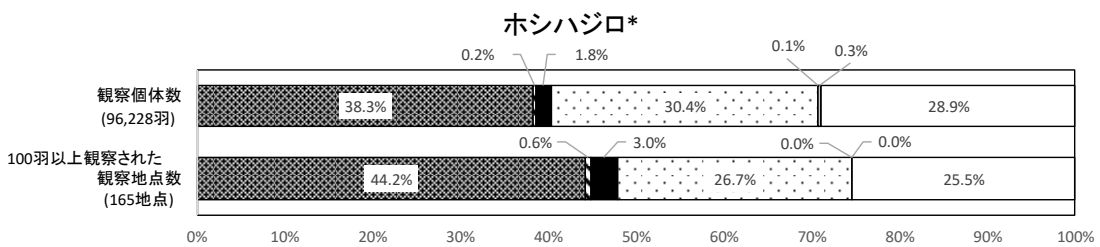
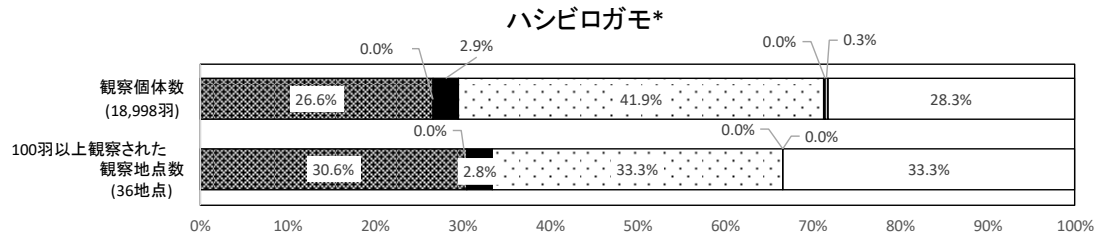
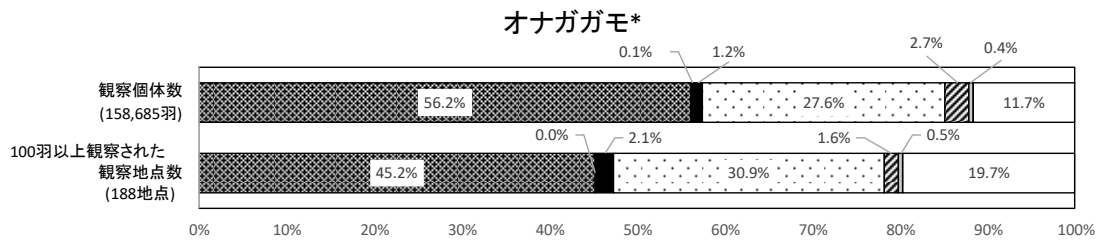
図 2-4-3(1) 法指定区域別のカモ類の観測状況



- 鳥獣保護区
- 施行規則第7条第1項第7号ハからチの区域
- 特定猟具使用制限区域
- その他
- 休猟区
- 特定猟具使用禁止区域
- 猟区

* : 狩猟鳥獣に指定された種を示す

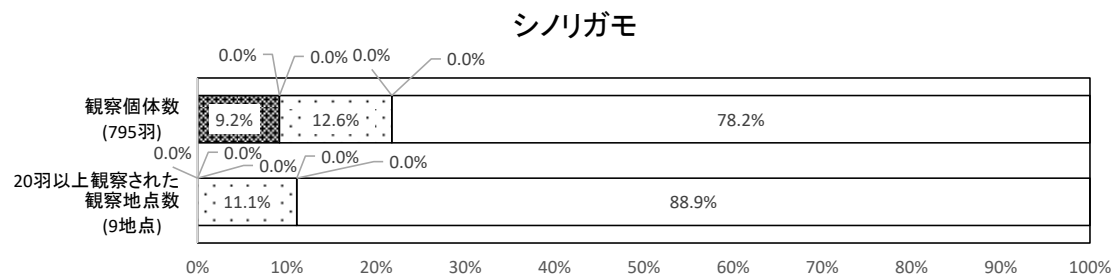
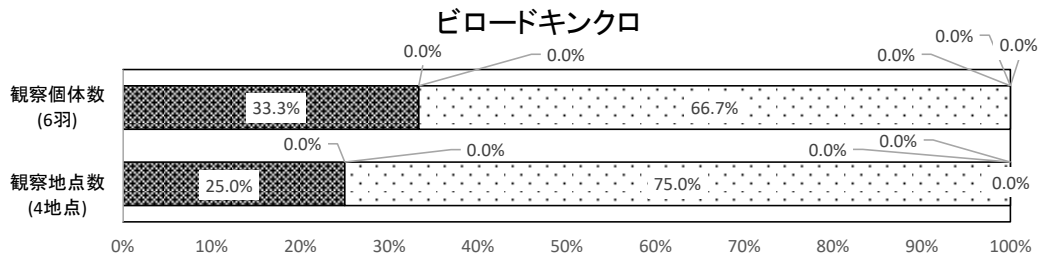
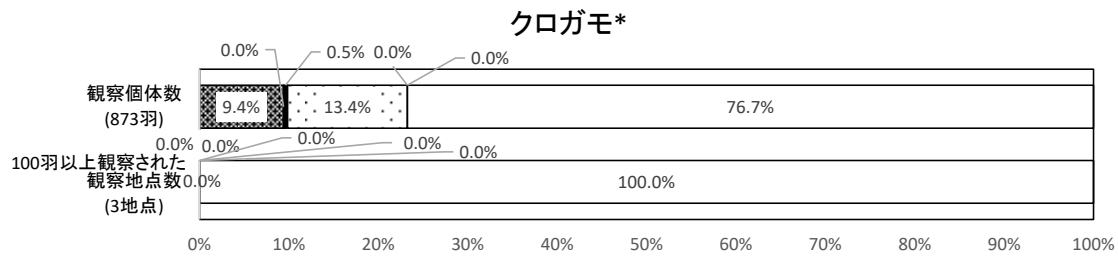
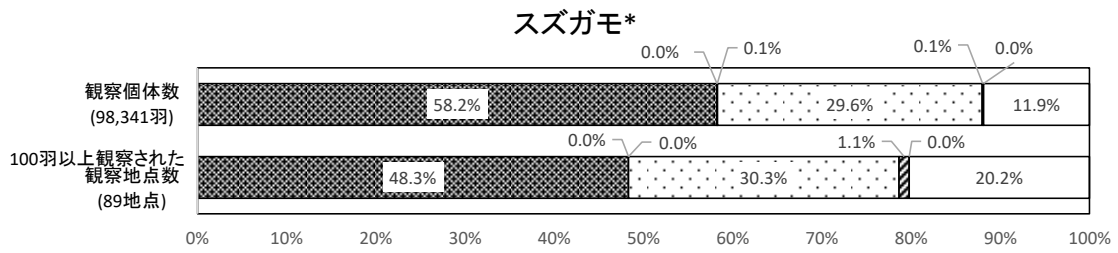
図 2-4-3(2) 法指定区域別のカモ類の観測状況



- 鳥獣保護区
- 施行規則第7条第1項第7号ハからチの区域
- ▨ 特定猟具使用制限区域
- その他
- 休猟区
- 特定猟具使用禁止区域
- 猟区

*：狩猟鳥獣に指定された種を示す

図 2-4-3(3) 法指定区域別のカモ類の観察状況



- 鳥獣保護区
- 施行規則第7条第1項第7号ハからチの区域
- ▨ 特定猟具使用制限区域
- その他
- 休猟区
- 特定猟具使用禁止区域
- 猟区

* : 狩猟鳥獣に指定された種を示す

図 2-4-3(4) 法指定区域別のカモ類の観測状況

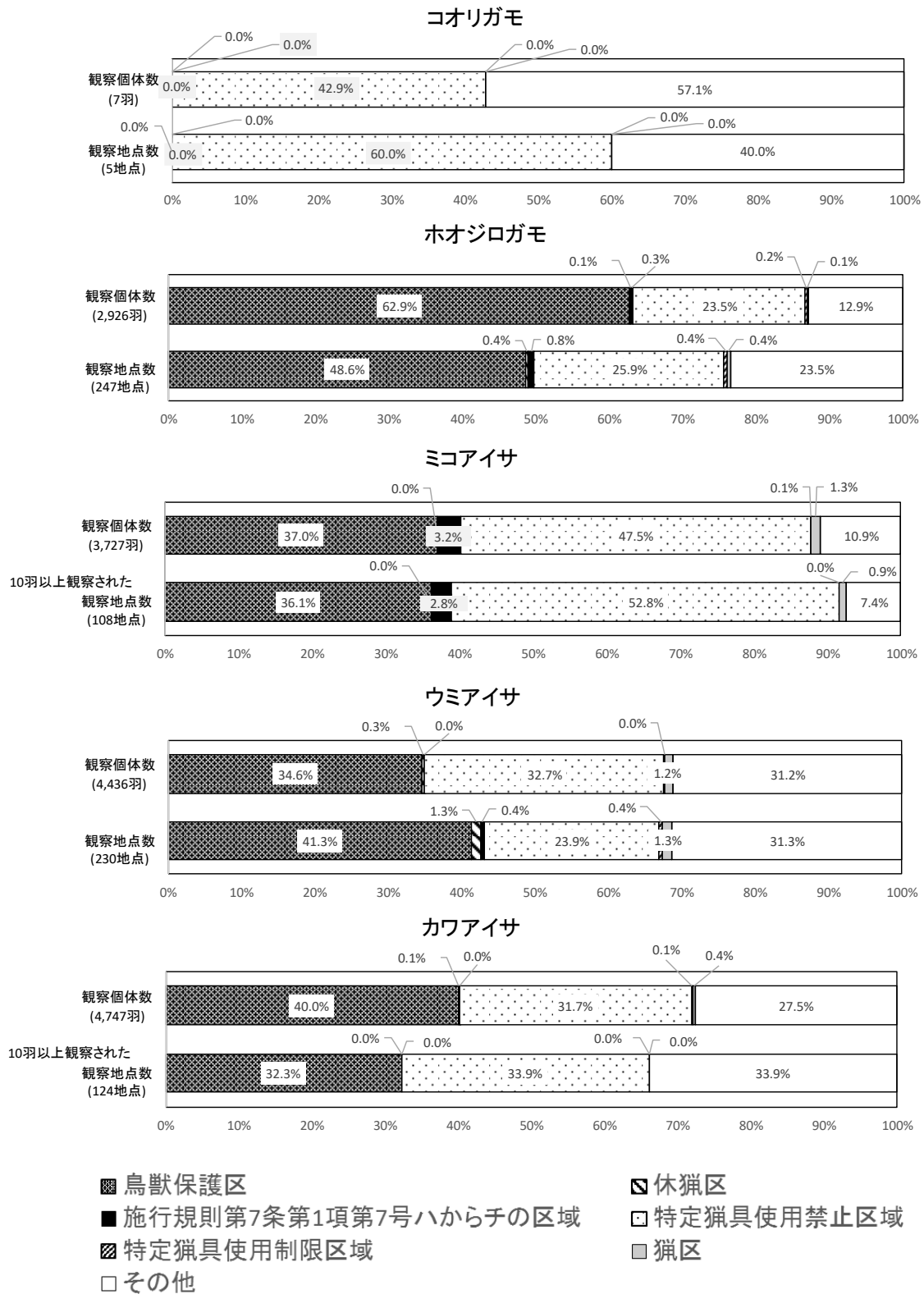


図 2-4-3(5) 法指定区域別のカモ類の観察状況

表 2-4-4 法指定区域別のカモ類の観察地点数（都道府県別）

都道府県	法指定区域等														合計
	鳥獣保護区		休猟区		施行規則第7条 第1項第7号ハ からチの区域		特定猟具使用 禁止区域		特定猟具使用 制限区域		猟区		その他の区域		
	観察 地点数	都道府 県内割 合(%)	観察 地点数	都道府 県内割 合(%)	観察 地点数	都道府 県内割 合(%)	観察 地点数	都道府 県内割 合(%)	観察 地点数	都道府 県内割 合(%)	観察 地点数	都道府 県内割 合(%)	観察 地点数	都道府 県内割 合(%)	
北海道	16	11.9	0	—	5	3.7	28	20.9	0	—	0	—	85	63.4	134
青森県	38	27.3	0	—	3	2.2	22	15.8	0	—	3	2.2	73	52.5	139
岩手県	30	12.8	0	—	0	—	102	43.6	4	1.7	0	—	98	41.9	234
宮城県	89	30.3	5	1.7	0	—	46	15.6	27	9.2	7	2.4	120	40.8	294
秋田県	32	22.5	1	0.7	0	—	24	16.9	0	—	6	4.2	79	55.6	142
山形県	21	11.5	0	—	3	1.6	66	36.3	0	—	4	2.2	88	48.4	182
福島県	55	21.2	0	—	17	6.5	66	25.4	2	0.8	17	6.5	103	39.6	260
茨城県	28	65.1	0	—	0	—	10	23.3	0	—	1	2.3	4	9.3	43
栃木県	17	53.1	0	—	0	—	12	37.5	0	—	0	—	3	9.4	32
群馬県	17	22.1	2	2.6	0	—	49	63.6	0	—	0	—	9	11.7	77
埼玉県	31	19.7	0	—	1	0.6	119	75.8	2	1.3	0	—	4	2.5	157
千葉県	47	18.5	0	—	0	—	140	55.1	0	—	21	8.3	46	18.1	254
東京都	30	51.7	0	—	14	24.1	14	24.1	0	—	0	—	0	—	58
神奈川県	55	31.1	0	—	1	0.6	100	56.5	0	—	4	2.3	17	9.6	177
新潟県	12	57.1	0	—	0	—	4	19.0	0	—	1	4.8	4	19.0	21
富山県	6	35.3	0	—	0	—	6	35.3	0	—	0	—	5	29.4	17
石川県	5	50.0	0	—	0	—	5	50.0	0	—	0	—	0	—	10
福井県	9	56.3	0	—	0	—	6	37.5	0	—	0	—	1	6.3	16
山梨県	12	24.0	1	2.0	0	—	21	42.0	0	—	0	—	16	32.0	50
長野県	17	8.5	0	—	6	3.0	51	25.6	2	1.0	0	—	123	61.8	199
岐阜県	23	19.7	1	0.9	0	—	60	51.3	0	—	0	—	33	28.2	117
静岡県	41	32.0	0	—	0	—	30	23.4	0	—	0	—	57	44.5	128
愛知県	25	20.0	0	—	3	2.4	83	66.4	0	—	1	0.8	13	10.4	125
三重県	67	26.9	3	1.2	2	0.8	72	28.9	0	—	0	—	105	42.2	249
滋賀県	84	47.5	0	—	0	—	52	29.4	0	—	1	0.6	40	22.6	177
京都府	35	25.5	0	—	0	—	81	59.1	0	—	1	0.7	20	14.6	137
大阪府	13	3.4	0	—	58	15.4	263	69.8	0	—	0	—	43	11.4	377
兵庫県	35	16.4	0	—	0	—	163	76.5	0	—	0	—	15	7.0	213
奈良県	2	1.9	0	—	7	6.5	96	89.7	0	—	0	—	2	1.9	107
和歌山県	57	37.5	0	—	0	—	31	20.4	0	—	0	—	64	42.1	152
鳥取県	4	40.0	0	—	0	—	6	60.0	0	—	0	—	0	—	10
島根県	31	21.2	1	0.7	0	—	38	26.0	0	—	0	—	76	52.1	146
岡山県	5	35.7	0	—	0	—	6	42.9	0	—	0	—	3	21.4	14
広島県	43	16.4	1	0.4	0	—	32	12.2	3	1.1	1	0.4	182	69.5	262
山口県	23	12.4	5	2.7	1	0.5	59	31.7	0	—	2	1.1	96	51.6	186
徳島県	21	30.0	0	—	0	—	35	50.0	0	—	14	20.0	0	—	70
香川県	15	10.0	0	—	0	—	65	43.3	0	—	0	—	70	46.7	150
愛媛県	15	12.9	0	—	0	—	57	49.1	0	—	0	—	44	37.9	116
高知県	18	31.6	0	—	0	—	24	42.1	0	—	0	—	15	26.3	57
福岡県	34	17.1	1	0.5	5	2.5	37	18.6	1	0.5	2	1.0	119	59.8	199
佐賀県	22	21.8	0	—	0	—	16	15.8	0	—	0	—	63	62.4	101
長崎県	21	50.0	0	—	0	—	8	19.0	0	—	0	—	13	31.0	42
熊本県	32	23.0	2	1.4	1	0.7	24	17.3	0	—	0	—	80	57.6	139
大分県	30	12.1	10	4.0	0	—	25	10.1	1	0.4	2	0.8	179	72.5	247
宮崎県	33	51.6	0	—	0	—	15	23.4	0	—	0	—	16	25.0	64
鹿児島県	24	11.8	2	1.0	3	1.5	37	18.2	1	0.5	23	11.3	113	55.7	203
沖縄県	17	22.7	3	4.0	0	—	0	—	0	—	0	—	55	73.3	75
合計	1,337	21.0	38	0.6	130	2.0	2,306	36.3	43	0.7	111	1.7	2,394	37.6	6,359

【備考】都道府県内割合は、各都道府県内での観察地点数の、法指定区域別の構成比を示す。
観察地点数の合計は、種別の観察地点数の単純合計ではない(重複地点を除いている)。

表 2-4-5 法指定区域別のカモ類の観察個体数（都道府県別）

都道府県	法指定区域等														合計
	鳥獣保護区		休猟区		施行規則第7条 第1項第7号ハ から子の区域		特定猟具使用 禁止区域		特定猟具使用 制限区域		猟区		その他の区域		
	観察個体 数(羽)	都道府 県内割 合(%)	観察個体 数(羽)	都道府 県内割 合(%)	観察個体 数(羽)	都道府 県内割 合(%)	観察個体 数(羽)	都道府 県内割 合(%)	観察個体 数(羽)	都道府 県内割 合(%)	観察個体 数(羽)	都道府 県内割 合(%)	観察個体 数(羽)	都道府 県内割 合(%)	
北海道	2,448	30.8	0	—	108	1.4	1,880	23.6	0	—	0	—	3,522	44.3	7,958
青森県	2,112	31.3	0	—	211	3.1	1,199	17.7	0	—	145	2.1	3,091	45.7	6,758
岩手県	4,142	18.5	0	—	0	—	11,663	52.1	151	0.7	0	—	6,443	28.8	22,399
宮城県	13,654	31.0	234	0.5	0	—	9,967	22.6	8,095	18.4	351	0.8	11,752	26.7	44,053
秋田県	6,794	53.6	5	0.0	0	—	2,618	20.7	0	—	85	0.7	3,171	25.0	12,673
山形県	9,815	31.0	0	—	374	1.2	17,216	54.4	0	—	241	0.8	3,987	12.6	31,633
福島県	14,539	39.6	0	—	3,898	10.6	8,373	22.8	132	0.4	2,437	6.6	7,363	20.0	36,742
茨城県	119,404	89.5	0	—	0	—	11,412	8.6	0	—	105	0.1	2,513	1.9	133,434
栃木県	10,535	69.4	0	—	0	—	3,208	21.1	0	—	0	—	1,428	9.4	15,171
群馬県	3,393	30.9	73	0.7	0	—	5,623	51.2	0	—	0	—	1,897	17.3	10,986
埼玉県	6,550	27.1	0	—	281	1.2	15,798	65.4	852	3.5	0	—	693	2.9	24,174
千葉県	71,173	52.2	0	—	0	—	56,566	41.5	0	—	862	0.6	7,733	5.7	136,334
東京都	9,835	76.3	0	—	1,673	13.0	1,379	10.7	0	—	0	—	0	—	12,887
神奈川県	3,575	45.6	0	—	64	0.8	3,156	40.3	0	—	127	1.6	916	11.7	7,838
新潟県	48,567	62.2	0	—	0	—	25,326	32.4	0	—	1,153	1.5	3,009	3.9	78,055
富山県	5,168	31.5	0	—	0	—	10,305	62.9	0	—	0	—	912	5.6	16,385
石川県	56,805	76.0	0	—	0	—	17,925	24.0	0	—	0	—	0	—	74,730
福井県	12,212	55.9	0	—	0	—	9,217	42.2	0	—	0	—	414	1.9	21,843
山梨県	910	35.2	14	0.5	0	—	1,162	45.0	0	—	0	—	498	19.3	2,584
長野県	974	6.5	0	—	559	3.7	3,845	25.6	26	0.2	0	—	9,603	64.0	15,007
岐阜県	4,385	16.5	9	0.0	0	—	17,556	66.2	0	—	0	—	4,580	17.3	26,530
静岡県	13,589	53.4	0	—	0	—	6,920	27.2	0	—	0	—	4,923	19.4	25,432
愛知県	17,855	43.2	0	—	217	0.5	18,027	43.6	0	—	7	0.0	5,201	12.6	41,307
三重県	8,932	17.9	62	0.1	333	0.7	18,965	38.1	0	—	0	—	21,481	43.2	49,773
滋賀県	74,093	86.3	0	—	0	—	8,338	9.7	0	—	6	0.0	3,425	4.0	85,862
京都府	11,012	48.3	0	—	0	—	9,351	41.0	0	—	70	0.3	2,370	10.4	22,803
大阪府	8,713	25.0	0	—	4,416	12.7	17,524	50.3	0	—	0	—	4,156	11.9	34,809
兵庫県	6,868	18.9	0	—	0	—	25,445	69.9	0	—	0	—	4,068	11.2	36,381
奈良県	125	0.9	0	—	952	6.5	13,284	91.3	0	—	0	—	191	1.3	14,552
和歌山県	4,596	36.0	0	—	0	—	4,630	36.3	0	—	0	—	3,545	27.8	12,771
鳥取県	9,203	57.1	0	—	0	—	6,903	42.9	0	—	0	—	0	—	16,106
島根県	88,621	90.4	36	0.0	0	—	6,614	6.7	0	—	0	—	2,787	2.8	98,058
岡山県	7,621	44.3	0	—	0	—	4,537	26.4	0	—	0	—	5,059	29.4	17,217
広島県	5,721	18.5	448	1.4	0	—	11,457	37.0	574	1.9	29	0.1	12,755	41.2	30,984
山口県	3,376	17.5	108	0.6	200	1.0	9,305	48.2	0	—	67	0.3	6,264	32.4	19,320
徳島県	5,371	22.7	0	—	0	—	15,449	65.2	0	—	2,869	12.1	0	—	23,689
香川県	1,492	10.2	0	—	0	—	6,342	43.4	0	—	0	—	6,794	46.4	14,628
愛媛県	13,205	47.3	0	—	0	—	5,953	21.3	0	—	0	—	8,775	31.4	27,933
高知県	16,432	57.0	0	—	0	—	11,825	41.0	0	—	0	—	556	1.9	28,813
福岡県	6,515	26.6	61	0.2	92	0.4	4,902	20.0	26	0.1	152	0.6	12,789	52.1	24,537
佐賀県	17,195	35.5	0	—	0	—	5,720	11.8	0	—	0	—	25,477	52.6	48,392
長崎県	28,352	83.6	0	—	0	—	607	1.8	0	—	0	—	4,964	14.6	33,923
熊本県	6,430	33.9	78	0.4	191	1.0	922	4.9	0	—	0	—	11,369	59.9	18,990
大分県	2,767	14.1	284	1.5	0	—	10,550	53.9	8	0.0	67	0.3	5,888	30.1	19,564
宮崎県	11,353	82.9	0	—	0	—	1,796	13.1	0	—	0	—	546	4.0	13,695
鹿児島県	3,674	13.7	30	0.1	968	3.6	12,888	48.2	33	0.1	774	2.9	8,356	31.3	26,723
沖縄県	1,251	38.8	10	0.3	0	—	0	—	0	—	0	—	1,966	60.9	3,227
合計	781,352	51.1	1,452	0.1	14,537	1.0	473,648	31.0	9,897	0.6	9,547	0.6	237,230	15.5	1,527,663

【備考】 都道府県内割合は、各都道府県内での観察個体数の、法指定区域別の構成比を示す。

4.4 地況別の観察状況

河川や湖沼等の地況別の観察状況を表2-4-6～表2-4-8及び図2-4-4(1)～(6)に示した。

地況別の観察個体数のうち、海岸で観察された割合が多かったのは、海ガモ類のスズガモ、クロガモ、ビロードキンクロ、シノリガモ、コオリガモ、ウミアイサ及びツクシガモで、いずれも概ね50.0%以上の割合であった。

河川で観察された割合が多かったのは、淡水ガモ類のオシドリ、カルガモ、コガモ、オカヨシガモ及びヒドリガモで、いずれも25.0%以上の割合であった。また、海ガモ類ではビロードキンクロが50.0%、ホオジロガモが24.3%、カワアイサが55.2%であった。

自然湖沼で観察された割合が多かったのは、淡水ガモ類のトモエガモ、ヨシガモでいずれも40.0%以上の割合であった。また、海ガモではキンクロハジロ、ホオジロガモで、いずれも40.0%以上の割合であった。

ダム湖で観察された割合が多かったのは、淡水ガモ類のオシドリで、47.4%であった。他の種はいずれも10.0%以下の割合であった。

その他人造湖で観察された割合が多かったのは、淡水ガモ類のハシビロガモで、68.9%であった。また、海ガモ類ではミコアイサが64.4%であった。

表 2-4-6(1) 地況別のカモ類の観察状況(観察地点数)

項目	区域		河口		河川		自然湖沼		ダム湖		その他人造湖		その他		合計			
	項目内割合(%)	項目内割合(%)	項目内割合(%)	項目内割合(%)	項目内割合(%)	項目内割合(%)	項目内割合(%)	項目内割合(%)	項目内割合(%)	項目内割合(%)	項目内割合(%)	項目内割合(%)	項目内割合(%)	項目内割合(%)	項目内割合(%)	項目内割合(%)		
調査地点数(箇所)	797	9.1	383	4.4	3,058	35.0	533	6.1	691	7.9	2,982	34.2	288	3.3	8,732	100.0		
調査地点面積(ha)	109,649	29.5	22,049	5.9	70,310	18.9	105,519	28.4	32,829	8.8	16,070	4.3	14,852	4.0	371,277	100.0		
観察地点数	淡水カモ類	オンドリ	5	0.8	3	0.5	154	25.5	32	5.3	165	27.4	243	40.3	1	0.2	603	100.0
		マガモ	242	6.5	187	5.0	1,256	33.8	303	8.2	350	9.4	1,319	35.5	54	1.5	3,711	100.0
		カルガモ	221	5.9	199	5.3	1,408	37.8	295	7.9	266	7.1	1,257	33.8	77	2.1	3,723	100.0
		コガモ	93	3.8	119	4.9	929	38.1	210	8.6	156	6.4	881	36.2	49	2.0	2,437	100.0
		トモエガモ	11	4.0	15	5.4	48	17.3	54	19.5	28	10.1	117	42.2	4	1.4	277	100.0
		ヨシガモ	33	6.9	26	5.4	136	28.4	89	18.6	32	6.7	159	33.2	4	0.8	479	100.0
		オカヨシガモ	39	4.9	71	9.0	263	33.3	113	14.3	23	2.9	271	34.3	9	1.1	789	100.0
		ヒドリガモ	198	11.2	191	10.8	566	32.0	156	8.8	73	4.1	553	31.3	31	1.8	1,768	100.0
		オナガガモ	89	10.3	94	10.9	248	28.8	122	14.2	33	3.8	247	28.7	27	3.1	860	100.0
		ハンビロガモ	34	3.7	29	3.2	127	14.0	91	10.0	31	3.4	579	63.6	19	2.1	910	100.0
	その他	4	8.5	2	4.3	15	31.9	10	21.3	0	—	15	31.9	1	2.1	47	100.0	
	海ガモ類	ホシハジロ	92	5.7	96	5.9	300	18.6	173	10.7	130	8.0	802	49.6	24	1.5	1,617	100.0
		キンクロハジロ	70	4.7	67	4.5	397	26.9	153	10.4	106	7.2	664	44.9	21	1.4	1,478	100.0
		スズガモ	138	32.5	76	17.9	74	17.4	64	15.1	12	2.8	48	11.3	13	3.1	425	100.0
		クロガモ	41	59.4	9	13.0	8	11.6	1	1.4	3	4.3	5	7.2	2	2.9	69	100.0
		ビロードキンクロ	2	50.0	0	—	2	50.0	0	—	0	—	0	—	0	—	4	100.0
		シノリガモ	54	79.4	6	8.8	1	1.5	5	7.4	0	—	1	1.5	1	1.5	68	100.0
		コオリガモ	3	60.0	1	20.0	0	—	0	—	0	—	1	20.0	0	—	5	100.0
		ホオジロガモ	51	20.6	23	9.3	80	32.4	69	27.9	7	2.8	14	5.7	3	1.2	247	100.0
ミコアイサ		8	1.8	2	0.4	60	13.2	92	20.3	14	3.1	270	59.6	7	1.5	453	100.0	
ウミアイサ		121	52.6	40	17.4	21	9.1	37	16.1	0	—	5	2.2	6	2.6	230	100.0	
カワアイサ	13	2.7	18	3.7	323	66.5	60	12.3	40	8.2	31	6.4	1	0.2	486	100.0		
その他	0	—	0	—	2	10.0	5	25.0	2	10.0	10	50.0	1	5.0	20	100.0		
ツクシガモ	20	38.5	13	25.0	7	13.5	2	3.8	0	—	5	9.6	5	9.6	52	100.0		
その他・種不明	68	13.1	27	5.2	169	32.6	48	9.3	67	12.9	131	25.3	8	1.5	518	100.0		
合計	550	8.6	327	5.1	2,140	33.7	438	6.9	523	8.2	2,266	35.6	115	1.8	6,359	100.0		

表 2-4-6(2) 地況別のカモ類の観察状況(観察個体数)

項目	区域		河口		河川		自然湖沼		ダム湖		その他人造湖		その他		合計			
	項目内割合(%)	項目内割合(%)	項目内割合(%)	項目内割合(%)	項目内割合(%)	項目内割合(%)	項目内割合(%)	項目内割合(%)	項目内割合(%)	項目内割合(%)	項目内割合(%)	項目内割合(%)	項目内割合(%)	項目内割合(%)	項目内割合(%)	項目内割合(%)		
観察個体数(羽)	淡水カモ類	オンドリ	139	0.6	28	0.1	5,899	26.2	494	2.2	10,675	47.4	5,282	23.5	1	0.0	22,518	100.0
		マガモ	21,391	5.9	28,637	7.9	74,446	20.6	124,805	34.5	23,541	6.5	84,364	23.3	4,532	1.3	361,716	100.0
		カルガモ	13,552	6.9	19,606	9.9	64,612	32.8	33,828	17.2	12,023	6.1	48,087	24.4	5,457	2.8	197,165	100.0
		コガモ	6,501	4.8	9,060	6.7	40,411	30.1	32,750	24.4	4,043	3.0	38,348	28.6	3,119	2.3	134,232	100.0
		トモエガモ	11,189	7.6	342	0.2	2,584	1.8	115,661	78.5	2,846	1.9	14,783	10.0	13	0.0	147,418	100.0
		ヨシガモ	664	4.9	747	5.6	2,331	17.3	6,186	46.0	300	2.2	3,205	23.8	15	0.1	13,448	100.0
		オカヨシガモ	920	4.4	1,634	7.9	7,045	33.9	6,495	31.3	790	3.8	3,646	17.5	251	1.2	20,781	100.0
		ヒドリガモ	12,826	9.6	19,895	14.9	39,567	29.7	31,407	23.6	2,821	2.1	24,935	18.7	1,854	1.4	133,305	100.0
		オナガガモ	13,873	8.7	15,145	9.5	24,883	15.7	60,097	37.9	2,854	1.8	35,900	22.6	5,933	3.7	158,685	100.0
		ハンビロガモ	619	3.3	923	4.9	1,184	6.2	1,945	10.2	643	3.4	13,094	68.9	590	3.1	18,998	100.0
	その他	4	0.8	2	0.4	20	4.2	12	2.5	0	—	434	91.8	1	0.2	473	100.0	
	海ガモ類	ホシハジロ	16,481	17.1	18,031	18.7	13,492	14.0	13,672	14.2	5,456	5.7	25,813	26.8	3,283	3.4	96,228	100.0
		キンクロハジロ	5,421	9.7	1,488	2.7	10,579	18.9	24,259	43.4	3,739	6.7	9,923	17.7	549	1.0	55,958	100.0
		スズガモ	46,955	47.7	11,533	11.7	2,459	2.5	32,898	33.5	69	0.1	2,606	2.6	1,821	1.9	98,341	100.0
		クロガモ	615	70.4	64	7.3	137	15.7	2	0.2	7	0.8	28	3.2	20	2.3	873	100.0
		ビロードキンクロ	3	50.0	0	—	3	50.0	0	—	0	—	0	—	0	—	6	100.0
		シノリガモ	703	88.4	39	4.9	2	0.3	44	5.5	0	—	1	0.1	6	0.8	795	100.0
		コオリガモ	5	71.4	1	14.3	0	—	0	—	0	—	1	14.3	0	—	7	100.0
		ホオジロガモ	600	20.5	110	3.8	711	24.3	1,374	47.0	40	1.4	68	2.3	23	0.8	2,926	100.0
ミコアイサ		42	1.1	6	0.2	258	6.9	893	24.0	90	2.4	2,399	64.4	39	1.0	3,727	100.0	
ウミアイサ		2,956	66.6	553	12.5	66	1.5	740	16.7	0	—	43	1.0	78	1.8	4,436	100.0	
カワアイサ	74	1.6	133	2.8	2,622	55.2	1,495	31.5	288	6.1	130	2.7	5	0.1	4,747	100.0		
その他	0	—	0	—	3	13.0	7	30.4	2	8.7	10	43.5	1	4.3	23	100.0		
ツクシガモ	5,800	88.7	276	4.2	326	5.0	6	0.1	0	—	36	0.6	97	1.5	6,541	100.0		
その他・種不明	7,144	16.1	3,460	7.8	4,575	10.3	16,567	37.4	5,397	12.2	6,846	15.4	327	0.7	44,316	100.0		
合計	168,477	11.0	131,713	8.6	298,215	19.5	505,637	33.1	75,624	5.0	319,982	20.9	28,015	1.8	1,527,663	100.0		

【(1)(2)共通備考】

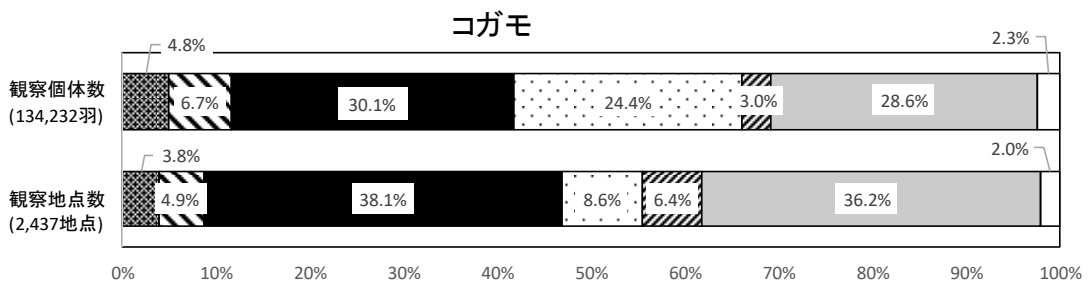
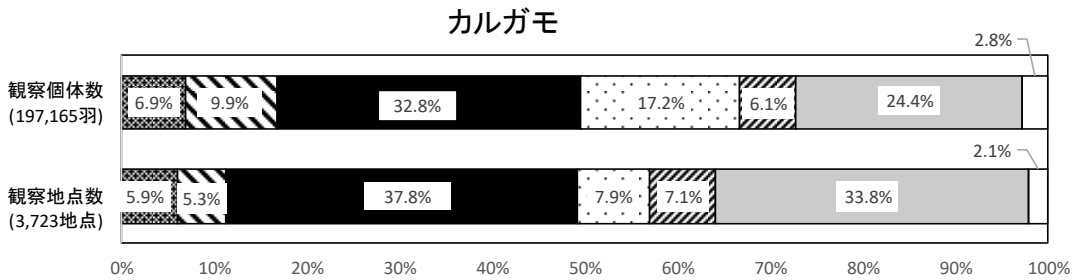
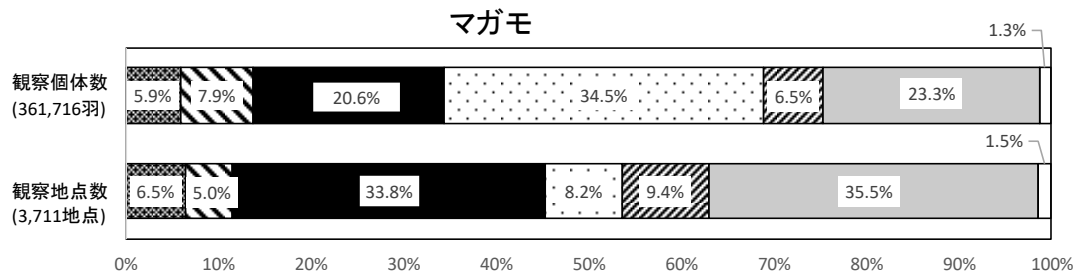
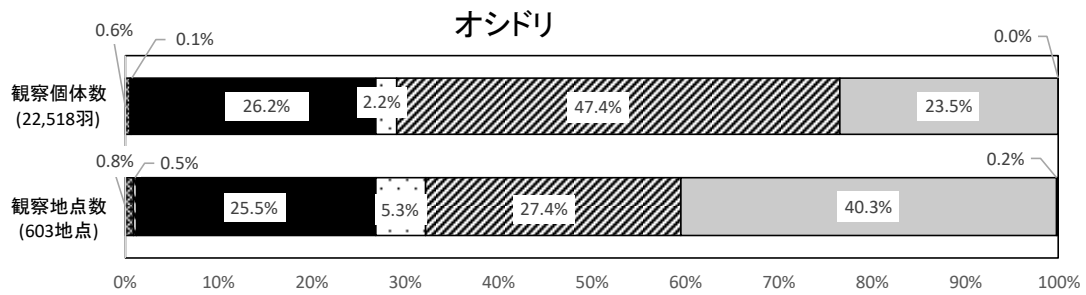
項目内割合は、各行の項目の合計に対する地況別の構成比を示す

淡水ガモ類のその他は、アメリカヒドリ、シマアジが対象

海ガモ類のその他は、アカハシハジロ、オオホシハジロ、メジロガモ、アカハジロ、ケワタガモ、コケワタガモ、アラナミキンクロ、ヒメハジロ、クビワキンクロ、コウライアイサが対象(今年度はケワタガモ、コケワタガモ、アラナミキンクロ、ヒメハジロは観察されなかった)

その他・種不明のその他は、アカツクシガモ、リュウキュウガモが対象(今年度はリュウキュウガモは観察されなかった)

観察地点数の合計は、種別の観察地点数の単純合計ではない(重複地点を除いている)



- 海岸
- 河口
- 河川
- 自然湖沼
- ダム湖
- その他人造湖
- その他

図 2-4-4(1) 地況別のカモ類の観察状況

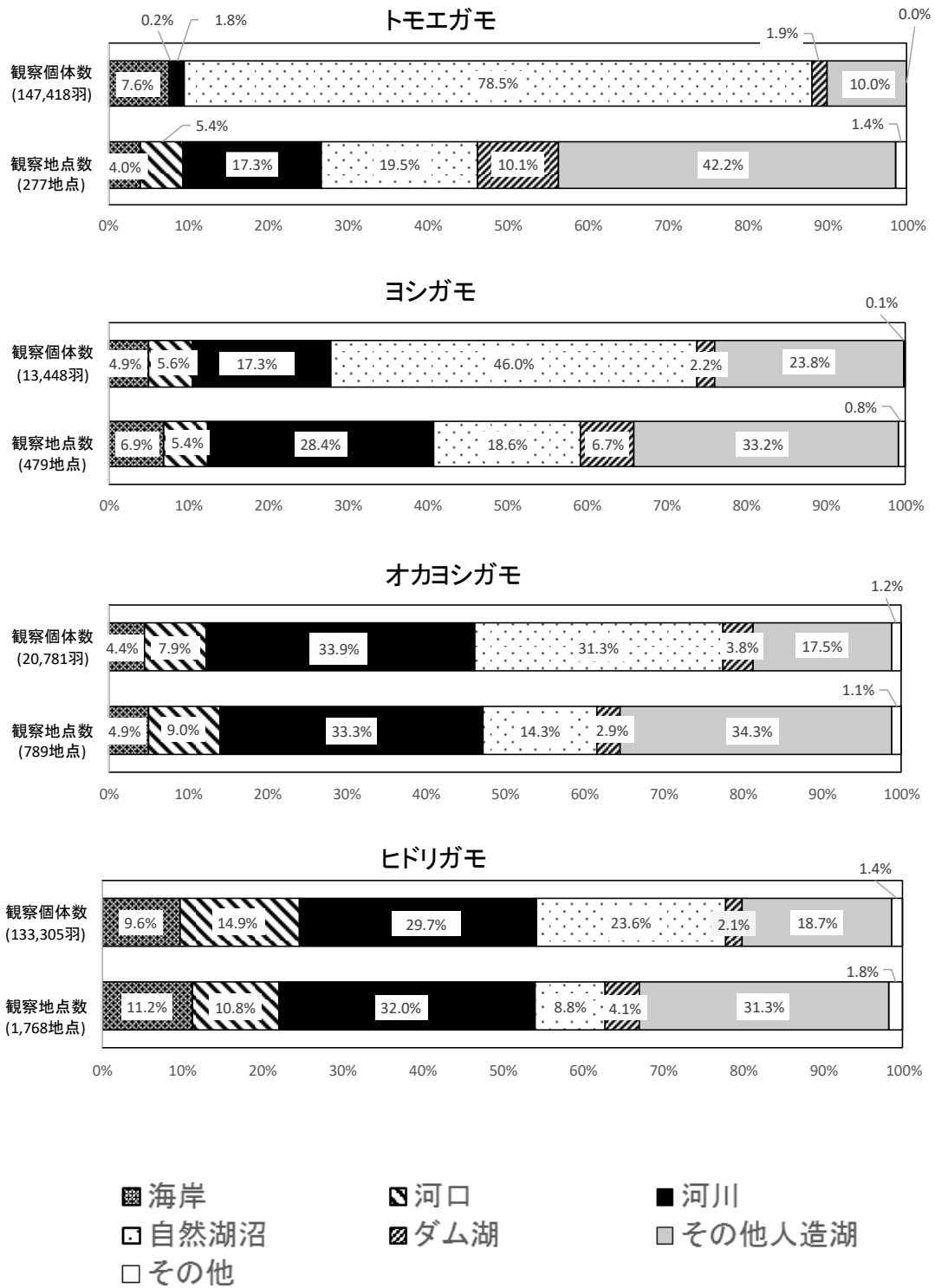


図 2-4-4(2) 地況別のカモ類の観察状況

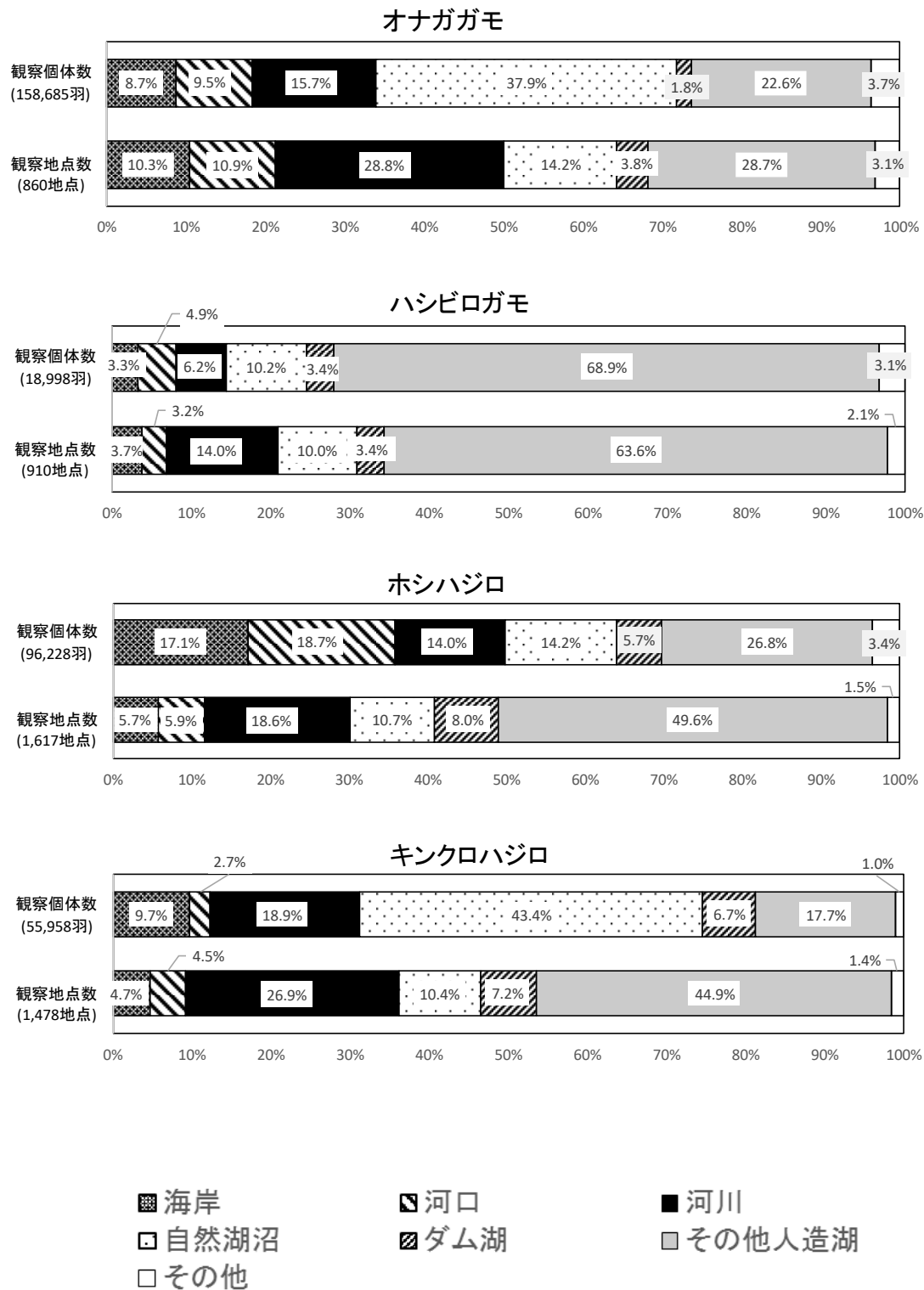


図 2-4-4(3) 地況別のカモ類の観察状況

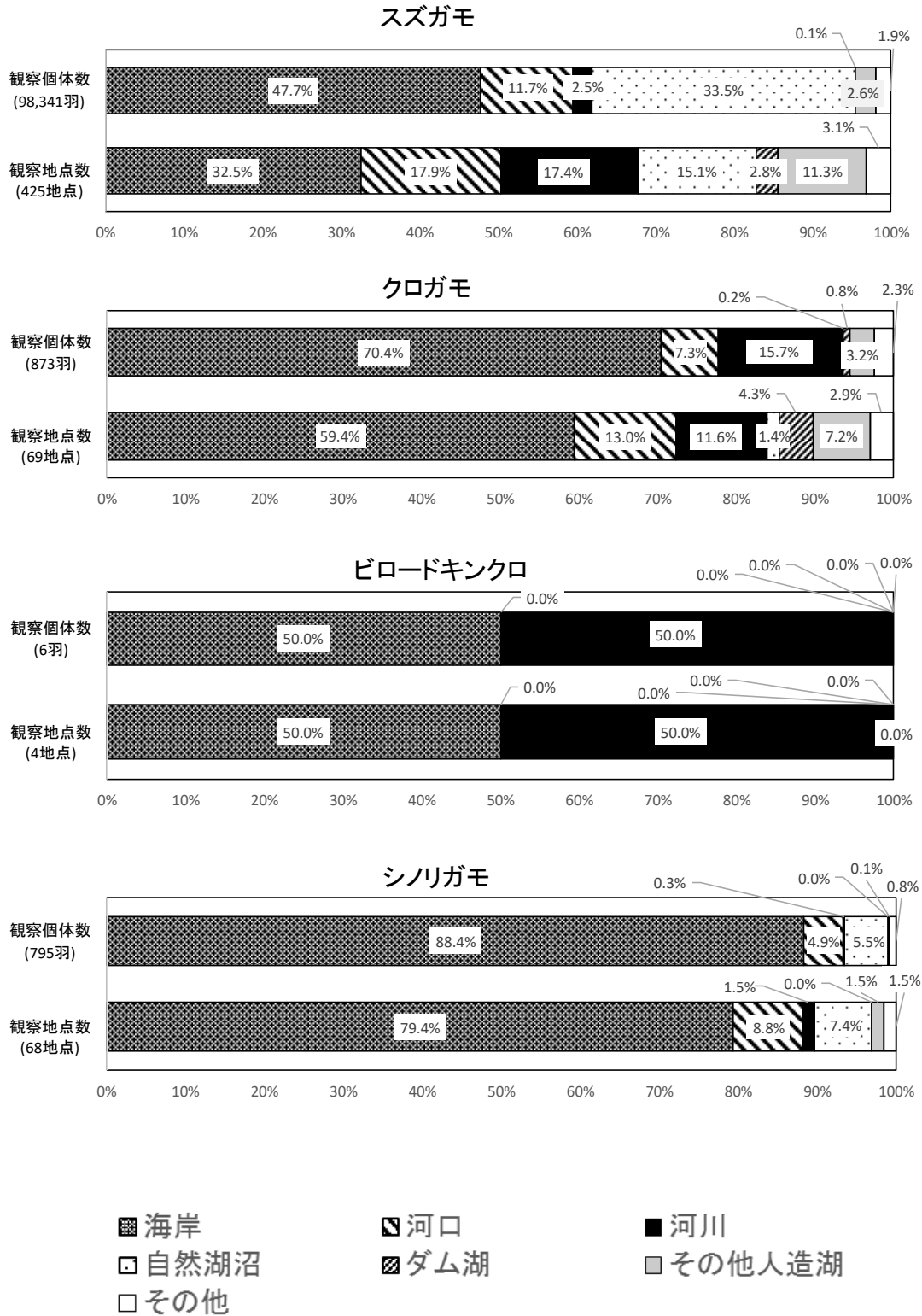
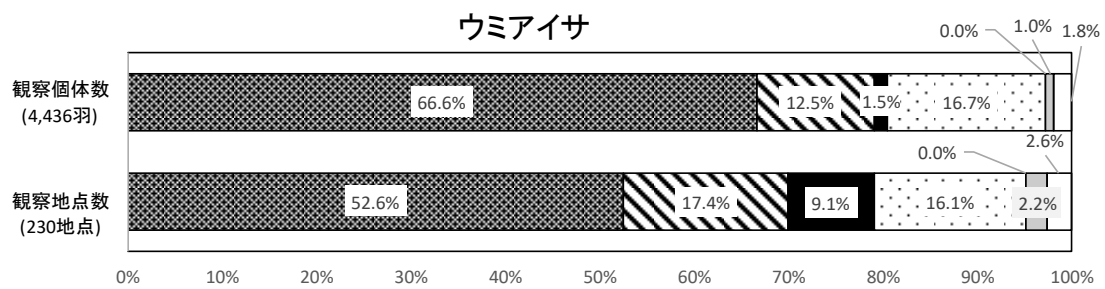
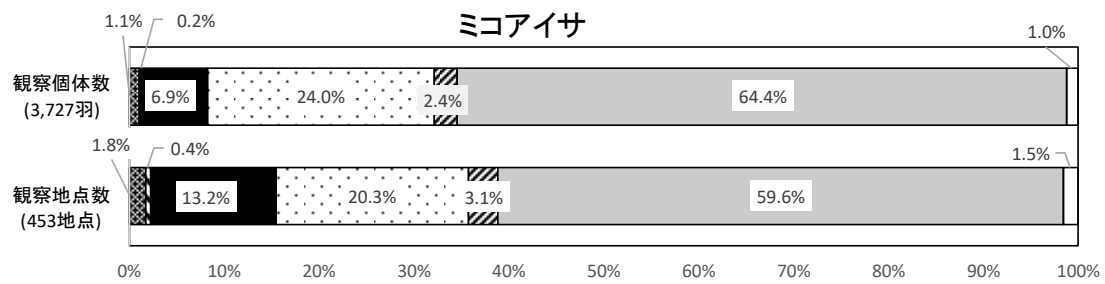
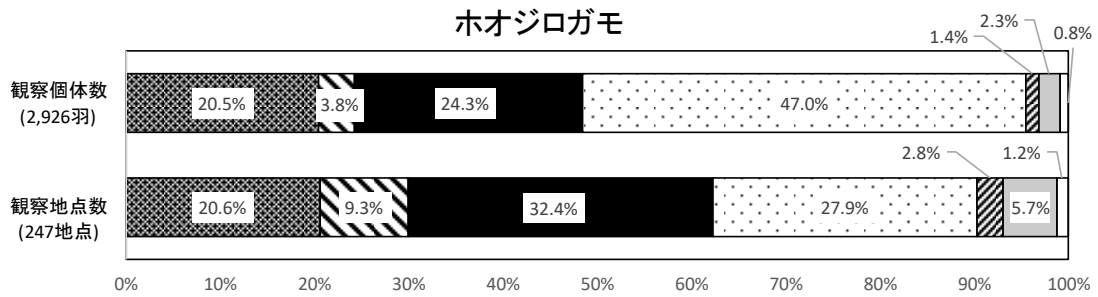
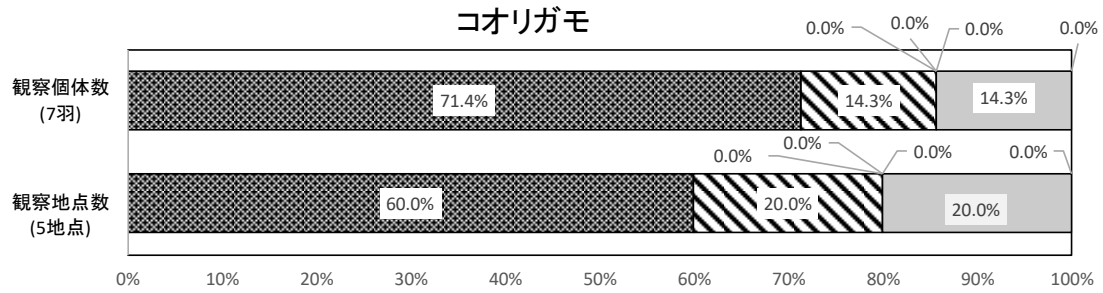


図 2-4-4(4) 地況別のカモ類の観察状況



- 海岸
- 河口
- 河川
- 自然湖沼
- ダム湖
- その他人造湖
- その他

図 2-4-4(5) 地況別のカモ類の観察状況

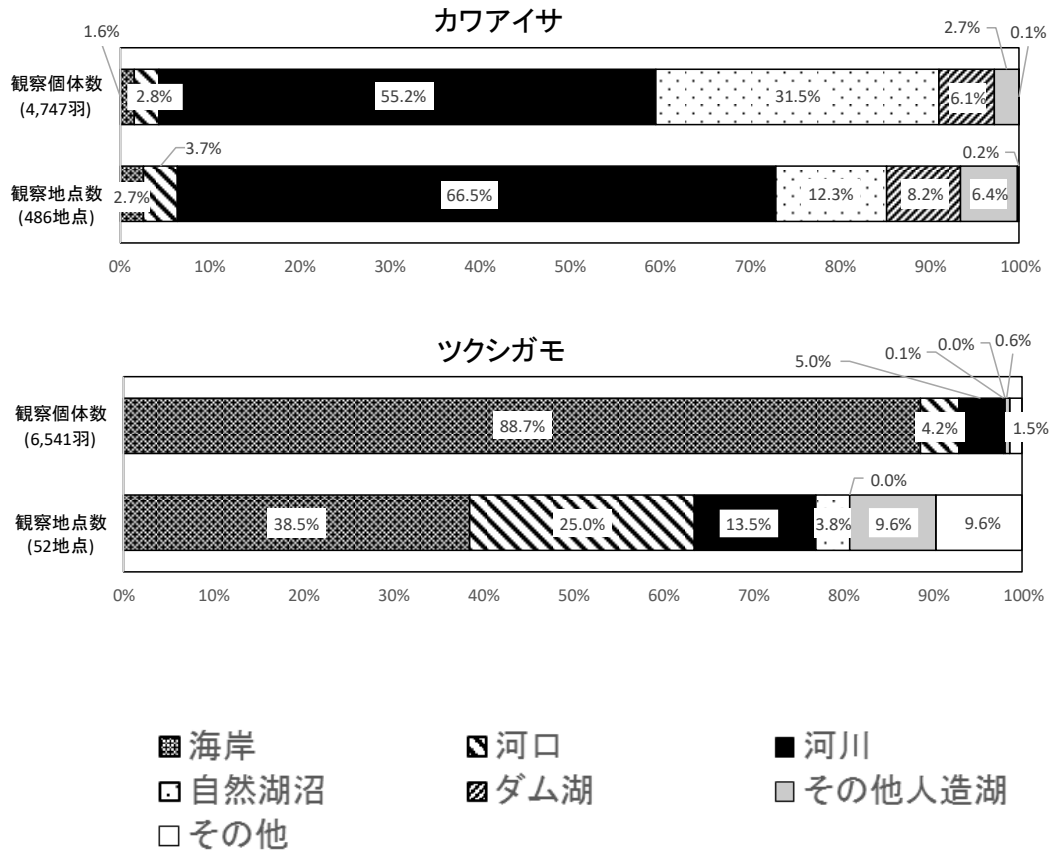


図 2-4-4(6) 地況別のカモ類の観察状況

表 2-4-7 地況別のカモ類観察地点数（都道府県別）

都道府県	地況														合計
	海岸		河口		河川		自然湖沼		ダム湖		その他人造湖		その他		
	観察 地点数	都道府県 内割合 (%)	観察 地点数	都道府県 内割合 (%)	観察 地点数	都道府県 内割合 (%)	観察 地点数	都道府県 内割合 (%)	観察 地点数	都道府県 内割合 (%)	観察 地点数	都道府県 内割合 (%)	観察 地点数	都道府県 内割合 (%)	
北海道	77	57.5	8	6.0	33	24.6	15	11.2	0	—	0	—	1	0.7	134
青森県	70	50.4	5	3.6	47	33.8	13	9.4	1	0.7	3	2.2	0	—	139
岩手県	17	7.3	18	7.7	160	68.4	4	1.7	13	5.6	21	9.0	1	0.4	234
宮城県	48	16.3	7	2.4	113	38.4	24	8.2	20	6.8	64	21.8	18	6.1	294
秋田県	23	16.2	5	3.5	92	64.8	6	4.2	1	0.7	12	8.5	3	2.1	142
山形県	4	2.2	5	2.7	136	74.7	7	3.8	11	6.0	16	8.8	3	1.6	182
福島県	7	2.7	9	3.5	110	42.3	31	11.9	29	11.2	67	25.8	7	2.7	260
茨城県	4	9.3	1	2.3	4	9.3	12	27.9	6	14.0	16	37.2	0	—	43
栃木県	0	—	0	—	2	6.3	2	6.3	7	21.9	20	62.5	1	3.1	32
群馬県	0	—	0	—	30	39.0	8	10.4	15	19.5	22	28.6	2	2.6	77
埼玉県	0	—	0	—	65	41.4	5	3.2	6	3.8	81	51.6	0	—	157
千葉県	5	2.0	14	5.5	50	19.7	11	4.3	26	10.2	127	50.0	21	8.3	254
東京都	5	8.6	1	1.7	24	41.4	1	1.7	3	5.2	24	41.4	0	—	58
神奈川県	13	7.3	6	3.4	110	62.1	2	1.1	5	2.8	40	22.6	1	0.6	177
新潟県	1	4.8	0	—	6	28.6	6	28.6	0	—	8	38.1	0	—	21
富山県	1	5.9	3	17.6	4	23.5	1	5.9	0	—	5	29.4	3	17.6	17
石川県	2	20.0	0	—	2	20.0	6	60.0	0	—	0	—	0	—	10
福井県	2	12.5	0	—	5	31.3	7	43.8	0	—	2	12.5	0	—	16
山梨県	0	—	0	—	25	50.0	4	8.0	6	12.0	15	30.0	0	—	50
長野県	0	—	0	—	129	64.8	7	3.5	29	14.6	34	17.1	0	—	199
岐阜県	0	—	0	—	71	60.7	2	1.7	16	13.7	28	23.9	0	—	117
静岡県	9	7.0	12	9.4	47	36.7	21	16.4	6	4.7	33	25.8	0	—	128
愛知県	10	8.0	6	4.8	30	24.0	1	0.8	6	4.8	71	56.8	1	0.8	125
三重県	18	7.2	33	13.3	44	17.7	12	4.8	12	4.8	125	50.2	5	2.0	249
滋賀県	0	—	2	1.1	17	9.6	92	52.0	8	4.5	58	32.8	0	—	177
京都府	7	5.1	2	1.5	73	53.3	6	4.4	4	2.9	45	32.8	0	—	137
大阪府	7	1.9	8	2.1	54	14.3	15	4.0	1	0.3	289	76.7	3	0.8	377
兵庫県	7	3.3	14	6.6	25	11.7	1	0.5	9	4.2	155	72.8	2	0.9	213
奈良県	0	—	0	—	7	6.5	0	—	11	10.3	89	83.2	0	—	107
和歌山県	7	4.6	10	6.6	45	29.6	10	6.6	10	6.6	67	44.1	3	2.0	152
鳥取県	1	10.0	0	—	4	40.0	5	50.0	0	—	0	—	0	—	10
島根県	0	—	9	6.2	80	54.8	20	13.7	19	13.0	17	11.6	1	0.7	146
岡山県	0	—	2	14.3	3	21.4	0	—	3	21.4	3	21.4	3	21.4	14
広島県	30	11.5	10	3.8	58	22.1	4	1.5	28	10.7	129	49.2	3	1.1	262
山口県	24	12.9	14	7.5	54	29.0	0	—	21	11.3	72	38.7	1	0.5	186
徳島県	13	18.6	3	4.3	31	44.3	3	4.3	8	11.4	12	17.1	0	—	70
香川県	15	10.0	13	8.7	11	7.3	0	—	11	7.3	98	65.3	2	1.3	150
愛媛県	15	12.9	12	10.3	14	12.1	1	0.9	6	5.2	67	57.8	1	0.9	116
高知県	4	7.0	14	24.6	14	24.6	6	10.5	10	17.5	9	15.8	0	—	57
福岡県	10	5.0	16	8.0	37	18.6	14	7.0	27	13.6	92	46.2	3	1.5	199
佐賀県	19	18.8	11	10.9	9	8.9	0	—	12	11.9	47	46.5	3	3.0	101
長崎県	9	21.4	1	2.4	0	—	0	—	19	45.2	13	31.0	0	—	42
熊本県	20	14.4	12	8.6	58	41.7	13	9.4	13	9.4	20	14.4	3	2.2	139
大分県	23	9.3	8	3.2	95	38.5	7	2.8	26	10.5	86	34.8	2	0.8	247
宮崎県	5	7.8	7	10.9	29	45.3	3	4.7	14	21.9	6	9.4	0	—	64
鹿児島県	15	7.4	22	10.8	76	37.4	27	13.3	29	14.3	27	13.3	7	3.4	203
沖縄県	3	4.0	4	5.3	7	9.3	3	4.0	16	21.3	31	41.3	11	14.7	75
合計	550	8.6	327	5.1	2,140	33.7	438	6.9	523	8.2	2,266	35.6	115	1.8	6,359

【備考】 都道府県内割合は、各都道府県内での観察地点数の、地況別の構成比を示す。
観察地点数の合計は、種別の観察地点数の単純合計ではない(重複地点を除いている)。

表 2-4-8 地況別のカモ類観察個体数（都道府県別）

都道府県	地況																合計
	海岸		河口		河川		自然湖沼		ダム湖		その他人造湖		その他				
	観察個体数(羽)	都道府県内割合(%)	観察個体数(羽)	都道府県内割合(%)	観察個体数(羽)	都道府県内割合(%)	観察個体数(羽)	都道府県内割合(%)	観察個体数(羽)	都道府県内割合(%)	観察個体数(羽)	都道府県内割合(%)	観察個体数(羽)	都道府県内割合(%)			
北海道	4,380	55.0	382	4.8	978	12.3	2,190	27.5	0	—	0	—	28	0.4	7,958		
青森県	3,316	49.1	274	4.1	1,268	18.8	721	10.7	71	1.1	1,108	16.4	0	—	6,758		
岩手県	1,080	4.8	1,215	5.4	12,105	54.0	832	3.7	2,105	9.4	5,057	22.6	5	0.0	22,399		
宮城県	4,688	10.6	6,303	14.3	10,850	24.6	3,810	8.6	6,184	14.0	8,659	19.7	3,559	8.1	44,053		
秋田県	2,708	21.4	874	6.9	3,203	25.3	1,162	9.2	29	0.2	4,359	34.4	338	2.7	12,673		
山形県	145	0.5	1,237	3.9	13,708	43.3	6,948	22.0	2,186	6.9	7,147	22.6	262	0.8	31,633		
福島県	1,029	2.8	566	1.5	15,917	43.3	4,634	12.6	5,952	16.2	8,109	22.1	535	1.5	36,742		
茨城県	1,215	0.9	301	0.2	3,027	2.3	113,394	85.0	2,834	2.1	12,663	9.5	0	—	133,434		
栃木県	0	—	0	—	29	0.2	177	1.2	1,504	9.9	12,493	82.3	968	6.4	15,171		
群馬県	0	—	0	—	3,051	27.8	2,594	23.6	2,312	21.0	2,523	23.0	506	4.6	10,986		
埼玉県	0	—	0	—	10,082	41.7	566	2.3	543	2.2	12,983	53.7	0	—	24,174		
千葉県	10,799	7.9	3,148	2.3	12,330	9.0	55,843	41.0	7,090	5.2	44,393	32.6	2,731	2.0	136,334		
東京都	5,011	38.9	18	0.1	3,763	29.2	87	0.7	461	3.6	3,547	27.5	0	—	12,887		
神奈川県	568	7.2	476	6.1	3,420	43.6	155	2.0	887	11.3	2,314	29.5	18	0.2	7,838		
新潟県	5,136	6.6	0	—	19,304	24.7	28,547	36.6	0	—	25,068	32.1	0	—	78,055		
富山県	474	2.9	2,019	12.3	2,533	15.5	55	0.3	0	—	8,006	48.9	3,298	20.1	16,385		
石川県	8,207	11.0	0	—	1,532	2.1	64,991	87.0	0	—	0	—	0	—	74,730		
福井県	2,077	9.5	0	—	7,384	33.8	10,180	46.6	0	—	2,202	10.1	0	—	21,843		
山梨県	0	—	0	—	545	21.1	561	21.7	638	24.7	840	32.5	0	—	2,584		
長野県	0	—	0	—	9,524	63.5	1,628	10.8	1,506	10.0	2,349	15.7	0	—	15,007		
岐阜県	0	—	0	—	22,551	85.0	85	0.3	1,067	4.0	2,827	10.7	0	—	26,530		
静岡県	240	0.9	4,771	18.8	6,350	25.0	9,861	38.8	367	1.4	3,843	15.1	0	—	25,432		
愛知県	16,016	38.8	6,531	15.8	7,156	17.3	952	2.3	611	1.5	9,766	23.6	275	0.7	41,307		
三重県	15,856	31.9	17,275	34.7	3,343	6.7	640	1.3	2,178	4.4	9,857	19.8	624	1.3	49,773		
滋賀県	0	—	31	0.0	2,720	3.2	76,930	89.6	187	0.2	5,994	7.0	0	—	85,862		
京都府	1,752	7.7	1,894	8.3	9,491	41.6	1,350	5.9	3,774	16.6	4,542	19.9	0	—	22,803		
大阪府	2,944	8.5	5,961	17.1	10,135	29.1	471	1.4	45	0.1	13,928	40.0	1,325	3.8	34,809		
兵庫県	5,410	14.9	7,728	21.2	7,741	21.3	7	0.0	1,341	3.7	12,938	35.6	1,216	3.3	36,381		
奈良県	0	—	0	—	2,761	19.0	0	—	1,533	10.5	10,258	70.5	0	—	14,552		
和歌山県	279	2.2	2,427	19.0	3,998	31.3	633	5.0	1,424	11.2	3,761	29.4	249	1.9	12,771		
鳥取県	3,214	20.0	0	—	4,663	29.0	8,229	51.1	0	—	0	—	0	—	16,106		
島根県	0	—	1,010	1.0	4,480	4.6	89,372	91.1	1,372	1.4	778	0.8	1,046	1.1	98,058		
岡山県	0	—	3,204	18.6	2,954	17.2	0	—	110	0.6	7,596	44.1	3,353	19.5	17,217		
広島県	5,286	17.1	1,818	5.9	11,756	37.9	134	0.4	2,033	6.6	9,142	29.5	815	2.6	30,984		
山口県	2,301	11.9	2,057	10.6	5,317	27.5	0	—	1,170	6.1	6,475	33.5	2,000	10.4	19,320		
徳島県	3,273	13.8	1,840	7.8	16,404	69.2	167	0.7	400	1.7	1,605	6.8	0	—	23,689		
香川県	740	5.1	1,580	10.8	1,513	10.3	0	—	274	1.9	9,895	67.6	626	4.3	14,628		
愛媛県	2,563	9.2	10,850	38.8	3,830	13.7	61	0.2	2,702	9.7	7,374	26.4	553	2.0	27,933		
高知県	3,191	11.1	10,476	36.4	5,470	19.0	2,123	7.4	6,891	23.9	662	2.3	0	—	28,813		
福岡県	2,955	12.0	5,309	21.6	2,962	12.1	810	3.3	2,660	10.8	7,515	30.6	2,326	9.5	24,537		
佐賀県	12,785	26.4	12,606	26.0	4,679	9.7	0	—	289	0.6	17,958	37.1	75	0.2	48,392		
長崎県	29,301	86.4	455	1.3	0	—	0	—	3,089	9.1	1,078	3.2	0	—	33,923		
熊本県	6,231	32.8	2,212	11.6	2,946	15.5	3,239	17.1	1,377	7.3	2,279	12.0	706	3.7	18,990		
大分県	1,974	10.1	7,691	39.3	6,048	30.9	415	2.1	1,593	8.1	1,819	9.3	24	0.1	19,564		
宮崎県	214	1.6	3,007	22.0	6,086	44.4	1,054	7.7	1,472	10.7	1,862	13.6	0	—	13,695		
鹿児島県	1,045	3.9	4,093	15.3	8,184	30.6	9,919	37.1	1,674	6.3	1,492	5.6	316	1.2	26,723		
沖縄県	74	2.3	74	2.3	124	3.8	110	3.4	1,689	52.3	918	28.4	238	7.4	3,227		
合計	168,477	11.0	131,713	8.6	298,215	19.5	505,637	33.1	75,624	5.0	319,982	20.9	28,015	1.8	1,527,663		

【備考】都道府県内割合は、各都道府県内での観察個体数の、地況別の構成比を示す。

5. 希少なガンカモ類の観察状況

5.1 選定基準

本調査で観察された種のうち、各種法律や資料によってその希少性や学術的な価値が指摘されている種を希少なガンカモ類とし、その観察状況を整理した。希少なガンカモ類の選定は、「文化財保護法」、「絶滅のおそれのある野生動植物の種の保存に関する法律」、「鳥獣の保護及び管理並びに狩猟の適正化に関する法律」、環境省の鳥類レッドリスト2020及び国際自然保護連合(IUCN)のレッドリスト(2021年1月現在)の掲載種を対象とした。詳細な選定基準を表2-5-1に示した。

表 2-5-1 希少なガンカモ類の選定基準

No.	選定基準
1	「文化財保護法」(昭和25年法律第214号)における国指定の天然記念物・特別天然記念物
2	「絶滅のおそれのある野生動植物の種の保存に関する法律」(平成4年法律第75号)における国内希少野生動植物種・国際希少野生動植物種
3	「鳥獣の保護及び管理並びに狩猟の適正化に関する法律」(平成14年法律第88号)における希少鳥獣
4	「[鳥類]環境省レッドリスト2020」の掲載種
5	「The IUCN Red List of Threatened Species」(www.iucnredlist.org)で指摘されている種のうち、絶滅危惧Ⅱ類(VU)以上に該当する種

5.2 希少なガンカモ類の観察状況

本調査で観察記録のある希少なガンカモ類と最近の観察年度を表2-5-2に示した。令和6年度の調査では、全国でガン類6種、カモ類9種の計15種の希少なガンカモ類が観察された。これらのうち、サカツラガン、ビロードキンクロ、コオリガモ、ホシハジロ、アカハジロ、コウライアイサは、世界的に個体数の減少が指摘されている種である。種別の観察個体数の推移を図2-5-1、種別の観察個体数上位3地域を表2-5-3に、それぞれ示した。

表 2-5-2 日本産の希少なガンカモ類と本調査における最近の観察年度

種	選定基準(表2-5-1より)					最近の観察年度	
	1	2	3	4	5		
ガン類	コクガン	国天		○	VU		R6
	マガン	国天			NT		R6
	カリガネ				EN	VU	R5
	ヒシクイ	国天		○	VU/NT		R6
	ハクガン				CR		R6
	サカツラガン				DD	VU	R6
	シジュウカラガン		国内	○	CR		R6
カモ類	アカツクシガモ				DD		R6
	ツクシガモ			○	VU		R6
	オシドリ				DD		R6
	トモエガモ			○	VU		R6
	ビロードキンクロ					VU	R6
	コオリガモ					VU	R6
	ホシハジロ					VU	R6
	アカハジロ				DD	CR	R6
	コケワタガモ					VU	H3
	コウライアイサ		国際			EN	R6

【備考】

- ・選定基準の1～5は表2-5-1のNo. 1～5に対応する。
- ・以下各基準のカテゴリー
 - 基準1 国天：国指定天然記念物 特天：国指定特別天然記念物
 - 基準2 国内：国内希少野生動植物種 国際：国際希少野生動植物種
 - 基準4、5 EX：絶滅 EW：野生絶滅 CR：絶滅危惧ⅠA類 EN：絶滅危惧ⅠB類
VU：絶滅危惧Ⅱ類 NT：準絶滅危惧 DD：情報不足
LP：絶滅のおそれのある地域個体群
- ・注：ヒシクイはVU、オオヒシクイはNT

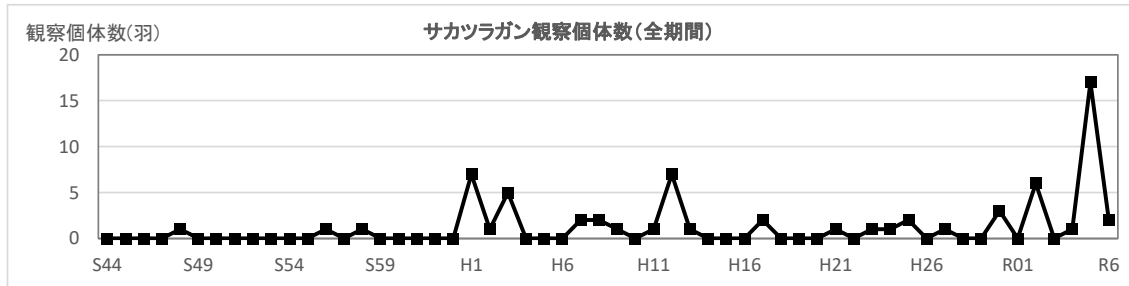
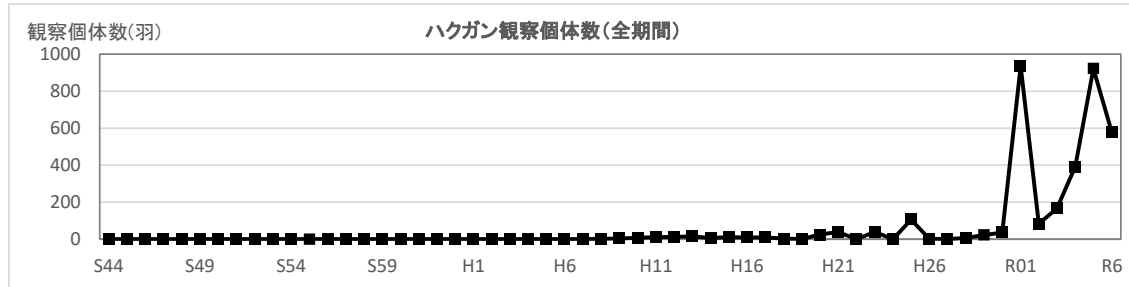
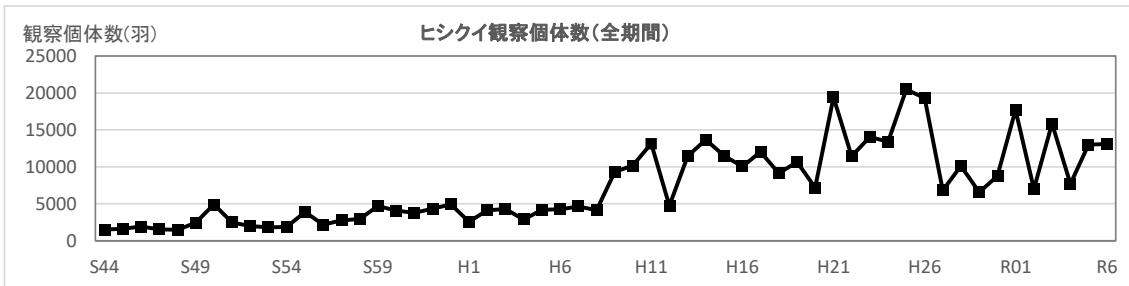
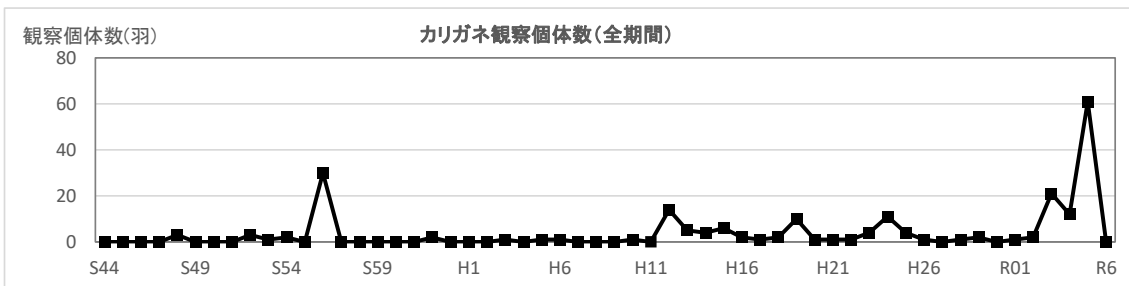
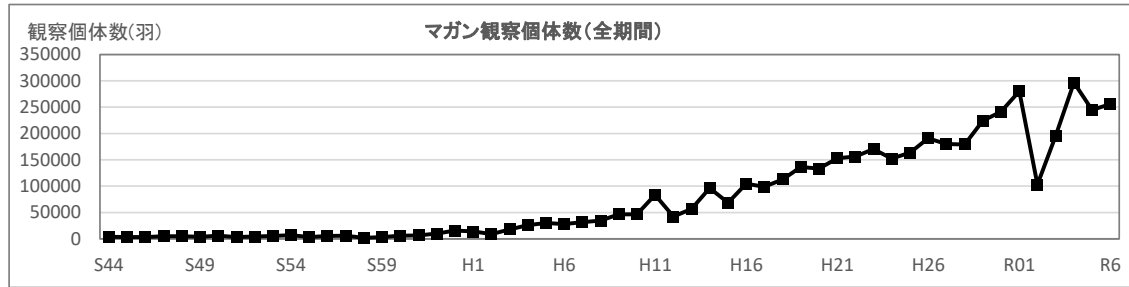
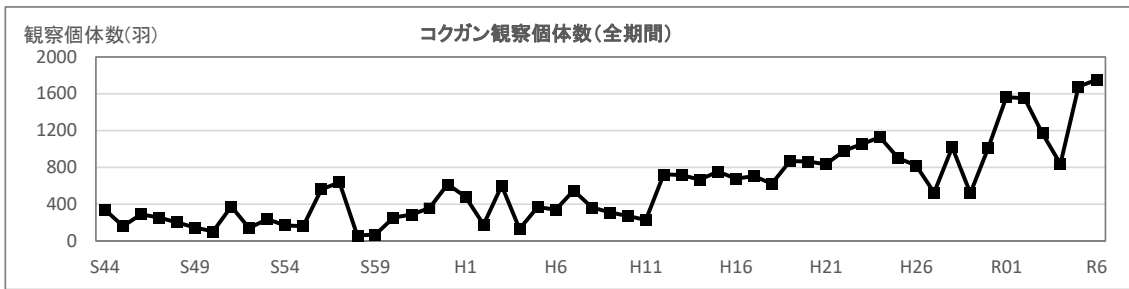


図 2-5-1(1) 希少なガンカモ類の観察個体数の推移

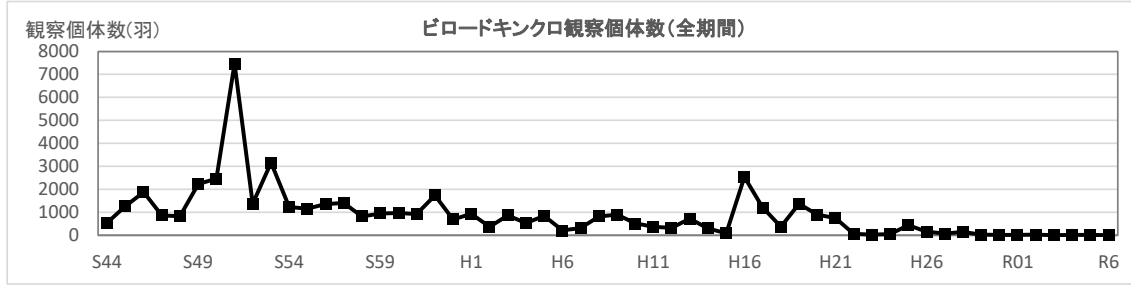
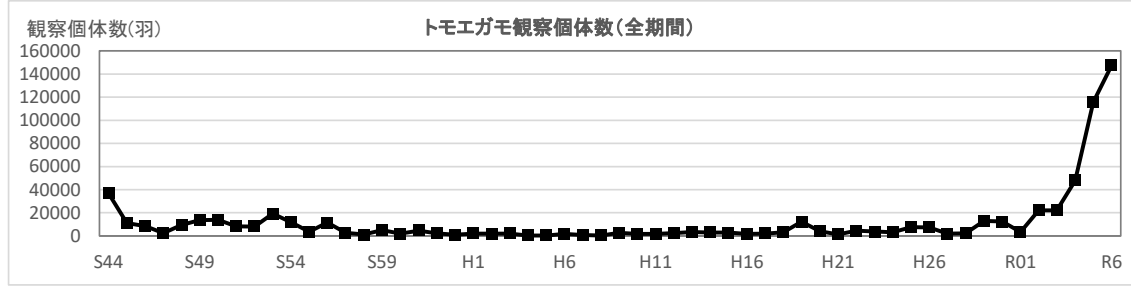
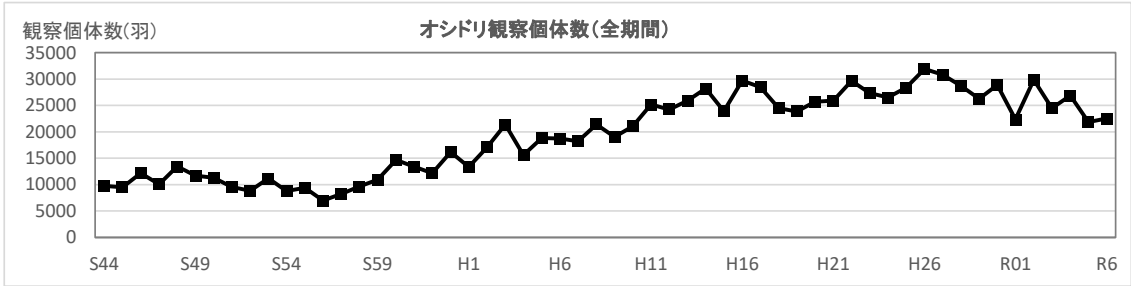
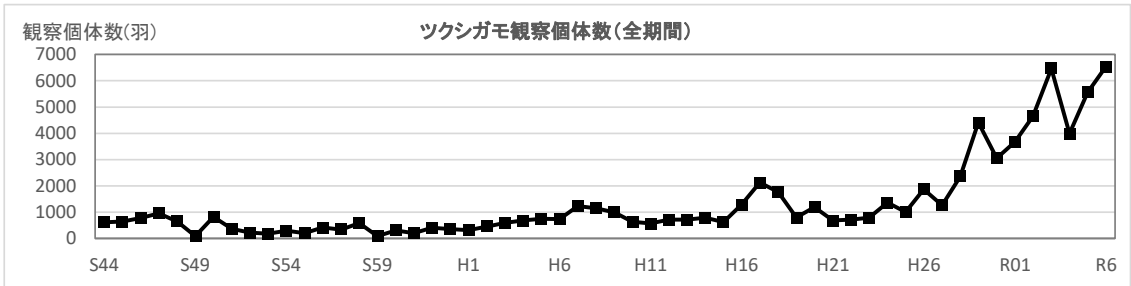
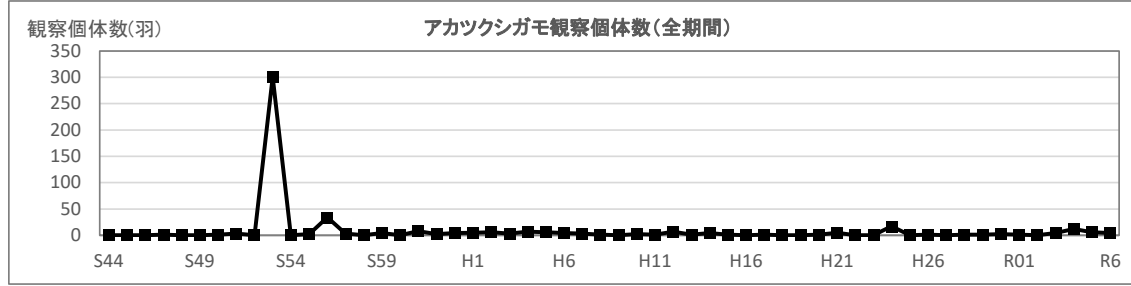
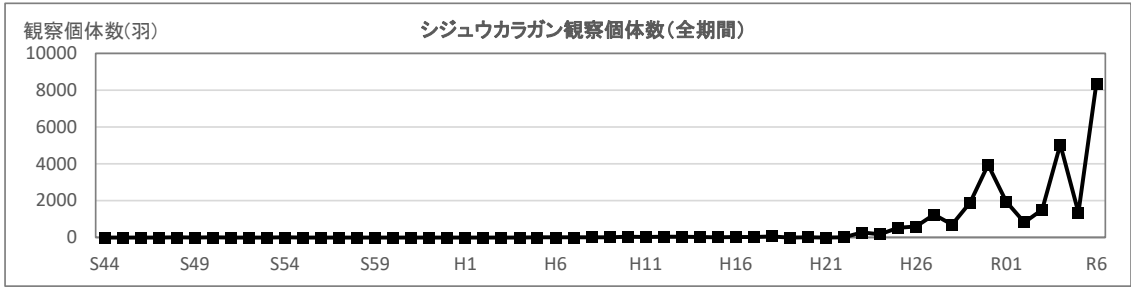


図 2-5-1(2) 希少なガンカモ類の観察個体数の推移

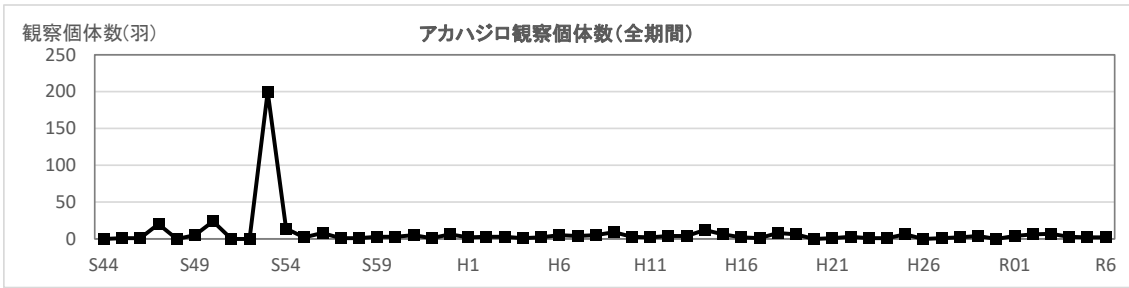
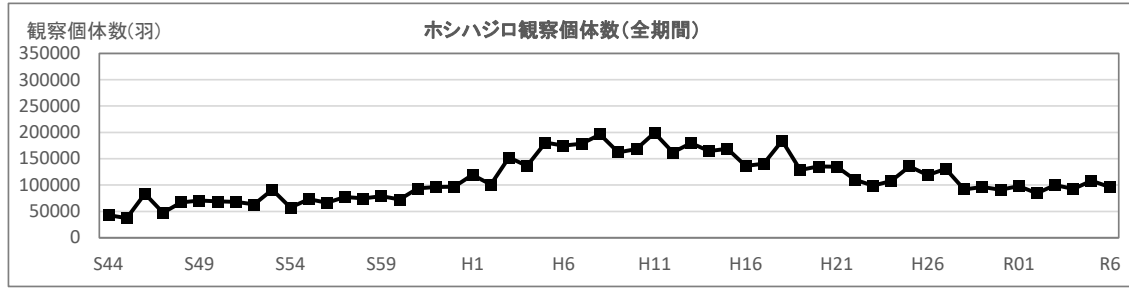
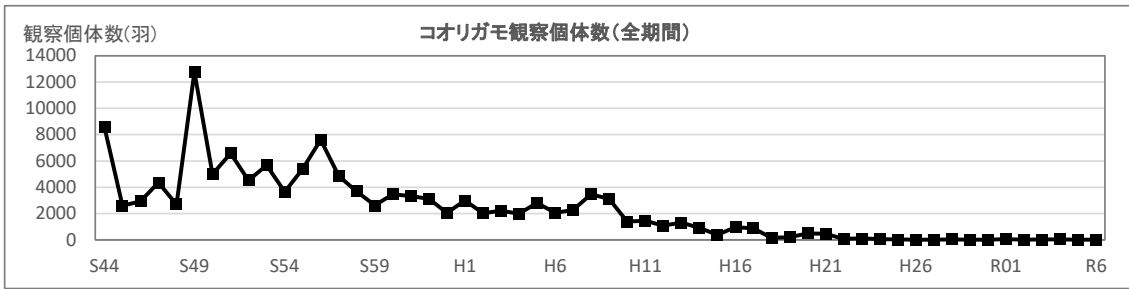


表 2-5-3 希少なガンカモ類の観察個体数上位 3 地域

分類群	種名	全国合計		観察個体数上位3地域	
		観察 地点数	観察個体数 (羽)	観察地域	観察個体数 (羽)
ガン類	コクガン	49	1,752	宮城県 竹浦一出島(出島大橋)	300
				宮城県 波伝谷	202
				宮城県 御前湾	150
	マガン	67	255,689	宮城県 蕪栗沼	121,881
				宮城県 伊豆沼内沼	93,365
				宮城県 化女沼	12,101
	ヒシクイ	51	13,072	新潟県 福島潟	5,643
				秋田県 大潟村干拓地	2,812
				新潟県 朝日池・鶴の池	802
	ハクガン	5	579	新潟県 朝日池・鶴の池	317
				宮城県 伊豆沼内沼	159
				山形県 最上川	100
	サカツラガン	1	2	鳥取県 天神川	2
シジュウカラガン	7	8,323	宮城県 化女沼	8,238	
			岩手県 和賀川	62	
			宮城県 蕪栗沼	8	
カモ類	アカツクシガモ	1	4	佐賀県 嘉瀬川河口	4
	ツクシガモ	52	6,541	佐賀県 大授2区	2,000
				佐賀県 大授3区	1,500
				佐賀県 大授1区	1,100
				オシドリ	603
	トモエガモ	277	147,418	京都府 天ヶ瀬ダム湖	1,242
				鳥取県 日野川	955
				島根県 宍道湖	45,012
	ビロードキンクロ	4	6	千葉県 印旛沼	40,000
				石川県 河北潟	14,505
				宮城県 蒲生	2
				岐阜県 木曾川	2
				京都府 由良川	1
	コオリガモ	5	7	千葉県 三番瀬	1
				北海道 釧路港一3	2
				北海道 稚内港	2
				埼玉県 八丁湖	1
				千葉県 浦安沖	1
				千葉県 江戸川	1
	ホシハジロ	1,617	96,228	滋賀県 琵琶湖	5,496
大阪府 淀川				4,559	
佐賀県 早津江川 大正堀江湖				3,500	
アカハジロ	2	2	大阪府 河池	1	
			和歌山県 吉礼池	1	
コウライアイサ	2	3	徳島県 吉野川	2	
			岐阜県 木曾川	1	

注)カリガネ、コケワタガモは今年度の観察個体数がゼロである。

6. 移入種の観察状況

令和6年度に観察されたガン、カモ、ハクチョウ類のうち、移入種であるハクチョウ類のコブハクチョウ (*Cygnus olor*) を対象に観察状況をまとめた。

6.1 コブハクチョウ

令和6年度の都道府県別分布状況を表2-6-1に、最近20年間の観察個体数を表2-6-2及び図2-6-1に示した。コブハクチョウは過去に野生個体とされる記録があるが、現在観察される個体はほとんどが人為的に移入されたものやその子孫と考えられる。令和6年度調査の観察個体数は19道府県で215羽と、令和5年度に比べて増加した。

表 2-6-1 コブハクチョウの分布状況（都道府県別個体数上位順）

No.	都道府県	観察個体数(羽)
1	山梨県	82
2	福島県	39
3	茨城県	16
4	青森県	11
5	福岡県	11
6	大分県	10
7	千葉県	8
8	島根県	8
9	秋田県	6
10	鳥取県	5
11	香川県	5
12	北海道	3
13	宮城県	2
14	新潟県	2
15	静岡県	2
16	鹿児島県	2
17	埼玉県	1
18	長野県	1
19	京都府	1
	計	215

表 2-6-2 最近 20 年間の主要県別コブハクチョウ観察個体数

調査年度	観察 地点数	観察個体数(羽)						
		総数	山梨県	福島県	茨城県	青森県	福岡県	その他
平成17年度	23	227	44	0	105	0	0	78
平成18年度	29	209	42	1	80	0	0	86
平成19年度	27	240	48	0	111	0	0	81
平成20年度	30	247	43	0	93	0	1	110
平成21年度	25	200	59	3	104	0	0	34
平成22年度	29	269	54	0	100	1	0	114
平成23年度	31	215	55	1	85	0	2	72
平成24年度	32	218	35	1	96	0	4	82
平成25年度	34	256	43	17	91	0	4	101
平成26年度	47	380	35	44	110	2	2	187
平成27年度	43	337	43	54	68	4	2	166
平成28年度	43	367	37	105	88	0	4	133
平成29年度	44	304	40	44	49	34	7	130
平成30年度	42	309	41	81	54	8	8	117
令和元年度	51	307	52	62	54	38	6	95
令和2年度	32	158	36	6	47	12	11	46
令和3年度	37	343	60	114	63	12	11	83
令和4年度	37	303	47	89	24	8	5	130
令和5年度	31	200	30	71	20	18	7	54
令和6年度	39	215	82	39	16	11	11	56

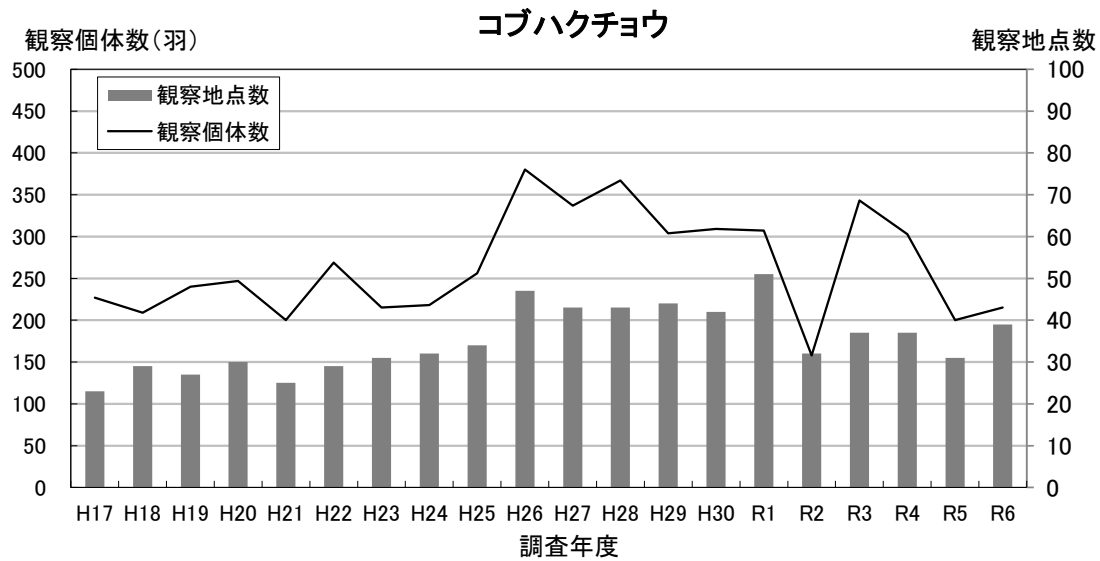


図 2-6-1 最近 20 年間のコブハクチョウ観察個体数と観察地点数

7. 飼養品種の観察状況

令和6年度調査中に観察された飼養品種の報告状況をまとめた。なお、飼養品種の観察状況は、任意報告があったデータのみをまとめている。

表 2-7-1 飼養品種の観察状況

種名	観察個体数(羽)	報告のあった都道府県
バリケン	8	沖縄県
アヒル	14	京都府
アイガモ	69	東京都、京都府

(参考) 第 56 回ガンカモ類の生息調査実施要領

■ 第 56 回ガンカモ類の生息調査実施要領 一覧

- 1) 第 56 回ガンカモ類の生息調査実施要領
- 2) 別紙 1 - 1 ガンカモ類の生息調査 調査項目
- 3) 別紙 1 - 2 日本産鳥類目録第 7 版 (平成 24 年改訂) 抜粋 改変版
- 4) 別紙 1 - 3 1989~2024 年ガンカモ調査地点リスト
- 5) 別紙 2 - 1 2025 都道府県報告様式 a-c
- 6) 別紙 2 - 2 都道府県報告様式記入上の留意事項
- 7) 参考 1 2025 現地調査員報告様式例
- 8) 参考 2 現地調査員報告様式例記入上の留意事項等

第56回ガンカモ類の生息調査

実施要領

令和6（2024）年10月

環境省自然環境局
生物多様性センター

第1章 調査の趣旨

1. 目的

日本におけるガン・カモ・ハクチョウ類の冬期生息状況を把握し、野生動物保護管理行政（鳥獣の保護管理、希少種の保全、外来種・鳥インフルエンザ対策等）に有用な情報を得ることを目的としています。

2. 調査の主体

調査は各都道府県が主体となって実施をお願いいたします。

3. 調査区域

各都道府県の区域（海域を含む。）です。

なお、2つ以上の都道府県にわたる調査地（複数の都道府県にわたる河川、湖沼、湾の場合等）の調査については、あらかじめ関係都道府県で相互に協議するなどして、重複カウント及び調査漏れの防止に努めていただきますようお願いいたします。

第2章 調査方法

1. 調査地の選定手順

- ①過去の調査結果及び鳥類保護団体、狩猟団体等からの情報に基づき、原則としてガン・カモ・ハクチョウ類のすべての渡来地について、その位置、地点名等を把握してください。
- ②ガン類及びハクチョウ類の渡来地については原則としてすべての渡来地を調査地としてください。
- ③カモ類のみの渡来地については、各都道府県の状況（調査体制、調査人数等）に応じて、各都道府県に飛来しているガンカモ類の生息状況を概ね把握できるよう、主要な渡来地を調査地として選定してください。

2. 調査日

- ・令和6年度基準日：令和7（2025）年1月12日（日）
- ・令和6年度調査期間：令和7（2025）年1月5日（日）～19日（日）

重複カウントを避け、全国に飛来するガンカモ類の個体数をより正確に把握するため、できる限り一斉調査基準日の前後数日以内で調査を実施いただきますようお願いいたします。

都合がつかない場合は、調査期間のいずれか1日を都道府県ごとに指定いただき、実施してください。

なお、一斉調査基準日については、その年の1月9日～1月15日までのうち日曜日に該

当する日とし、前後1週間の調査期間に年始（1月1日～3日）を含む場合は、基準日を1週間遅く設定しております。

3. 調査項目

調査地点の基礎情報（地況、鳥獣保護区等、天候、環境コード）、調査体制（調査人数、調査者属性）、ハクチョウ類・ガン類・カモ類の個体数等について、記録をお願いします。

また、ガンカモ類の生息調査の各調査地点において観察されたカワウの個体数についても記録をお願いします。

詳細は、別紙1-1「ガンカモ類の生息調査 調査項目」のとおりです。

4. 現地調査員の調査結果とりまとめ

都道府県の担当者の方は、調査実施後、現地調査員の調査報告をとりまとめてください。

なお、参考資料1「現地調査員報告様式例」は、現地調査員が調査結果を報告するための記入様式の一例ですので、適宜参考にしてください。

また、現地調査員報告様式例を用いる場合には、参考資料2「現地調査員報告様式例記入上の留意事項等」を御参照ください。

5. 都道府県担当者からの環境省への報告

都道府県の担当者の方は、別紙2-1「都道府県報告様式a～c」（様式aには前年度調査時の地点情報が記載されています）に調査結果を入力し、電子メールに添付して令和7年2月17日（月）までにガンカモ類の生息調査及びカワウカウント共通アドレス（gankamo_kawau@env.go.jp）までお送りください。なお、書面による御報告は必須ではありません。

それぞれの様式の報告内容と提出方法は、以下のとおりです。

様式名	報告内容	提出方法
様式 a	調査地点ごとのハクチョウ類、ガン類、カモ類、カワウの個体数を記入	必須
様式 b	様式 a に載っていない種及び亜種を発見した場合に記入	任意
様式 c	現地調査員の实人数や所属を記入	必須

必須：報告内容の有無にかかわらず、必ず御提出をお願いいたします。

任意：御提出は任意となりますが、報告すべき情報があった場合は、御提出をお願いいたします。

なお、別紙2-1「都道府県報告様式a～c」を入力する際は、別紙2-2「都道府県報告様式記入上の留意事項」を御参照ください。

また、提出の前に、入力内容の一通りの御確認をお願いいたします。

6. 環境省からの各都道府県担当者へのエラー照会・事実確認

各都道府県からお送りいただいた電子様式a～cについては、環境省で論理チェック（空欄、誤記等の単純なエラーチェック）及び生物学的チェック（個体数データに係る誤同定・誤報告等のエラーチェック）を実施し、各都道府県担当者へのエラー照会・事実確認を行わせていただく場合がありますので、御協力をお願いいたします。

なお、生物学的チェックでは、ガンカモ類の専門家の意見を踏まえ作成した「生物学的チェック表」に準拠してエラーデータを抽出し、専門家確認を経た上で、必要に応じて都道府県へ再確認をお願いしております。生物学的チェック表（令和6年度版）は下記のとおりとなりますので、調査結果報告前の確認をしていただく際に、御参照ください。

生物学的チェック表（令和6年度版）

概要	対象種	チェック内容
個体数そのものが少ない希少種	カリガネ、サカツラガン、シジュウカラガン、カナダガン、ハイイロガン、ハクガン、アカツクシガモ、アカハシハジロ、アカハジロ、アラナミキンクロ、オオホシハジロ、クビワキンクロ、ケワタガモ、コウライアイサ、コケワタガモ、ヒメハジロ、メジログアモ、リュウキュウガモ、シマアジ	都道府県に限らず1羽以上報告された場合にチェック
内陸にいるのが稀な種	アラナミキンクロ、ウミアイサ、クロガモ、ケワタガモ、コオリガモ、コケワタガモ、シノリガモ、ピロードキンクロ、スズガモ、シマアジ	地況コードが 1:海岸、2:河口以外で報告された場合にチェック ※都道府県よりチェック対象外指定された地点および海岸から 500m 以内の地点は除く
生息が稀な地域で出現①	オオハクチョウ	東京都・神奈川県・山梨県・岐阜県・静岡県・愛知県・三重県・大阪府・奈良県・和歌山県・中国・四国・九州で報告された場合にチェック
生息が稀な地域で出現②	コハクチョウ	四国・九州で報告された場合にチェック
生息が稀な地域で出現③	コクガン、コオリガモ	北海道・東北以外で1羽以上報告された場合にチェック
生息が稀な地域で出現④	マガン、ヒシクイ、ガン種類不明	宮城、秋田、新潟、石川、福井以外で1羽以上報告された場合にチェック
アメリカヒドリとヒドリガモの関係性確認	アメリカヒドリ、ヒドリガモ	【条件】 ①アメリカヒドリのみ観察された地点 ②アメリカヒドリが5羽以上観察された地点 ③上記以外の場合、アメリカヒドリ÷ヒドリガモの比率が 0.03 を超える地点 ①②③いずれかの条件を満たしている場合にチェック
生息が稀な地域で出現⑤	クロガモ	中国・四国・九州で1羽以上報告された場合にチェック
生息が稀な地域で出現⑥	ツクシガモ	近畿地方より北(福井県～岐阜県～愛知県以東)で報告された場合にチェック
生息が稀な地域で出現⑦	シノリガモ	岡山県・広島県・四国・九州で1羽以上報告された場合にチェック

※過去 4 年以内に観測実績のあるデータは、チェック対象から除外。

7. その他

(1) 重点的な調査地

渡来数の多い調査地及び絶滅のおそれのある種7種（シジュウカラガン、ハクガン、カリガネ、コクガン、ヒシクイ、ツクシガモ、トモエガモ）等の希少なガンカモ類の渡来する調査地については、特に調査精度の向上につき、重点的に配慮をお願いいたします。

(2) 関係団体との協力

調査実施前には、日本野鳥の会、日本鳥類保護連盟、猟友会等の関係民間団体とあらかじめ調査方法等について協議いただきますようお願いいたします。

(3) 識別ガイドについて

ガンカモ類の生息調査において見られる主なカモ類とハクチョウ類等の識別ポイントをまとめた識別ガイドを作成し、下記に公開しておりますので御活用下さい。

●ページ順

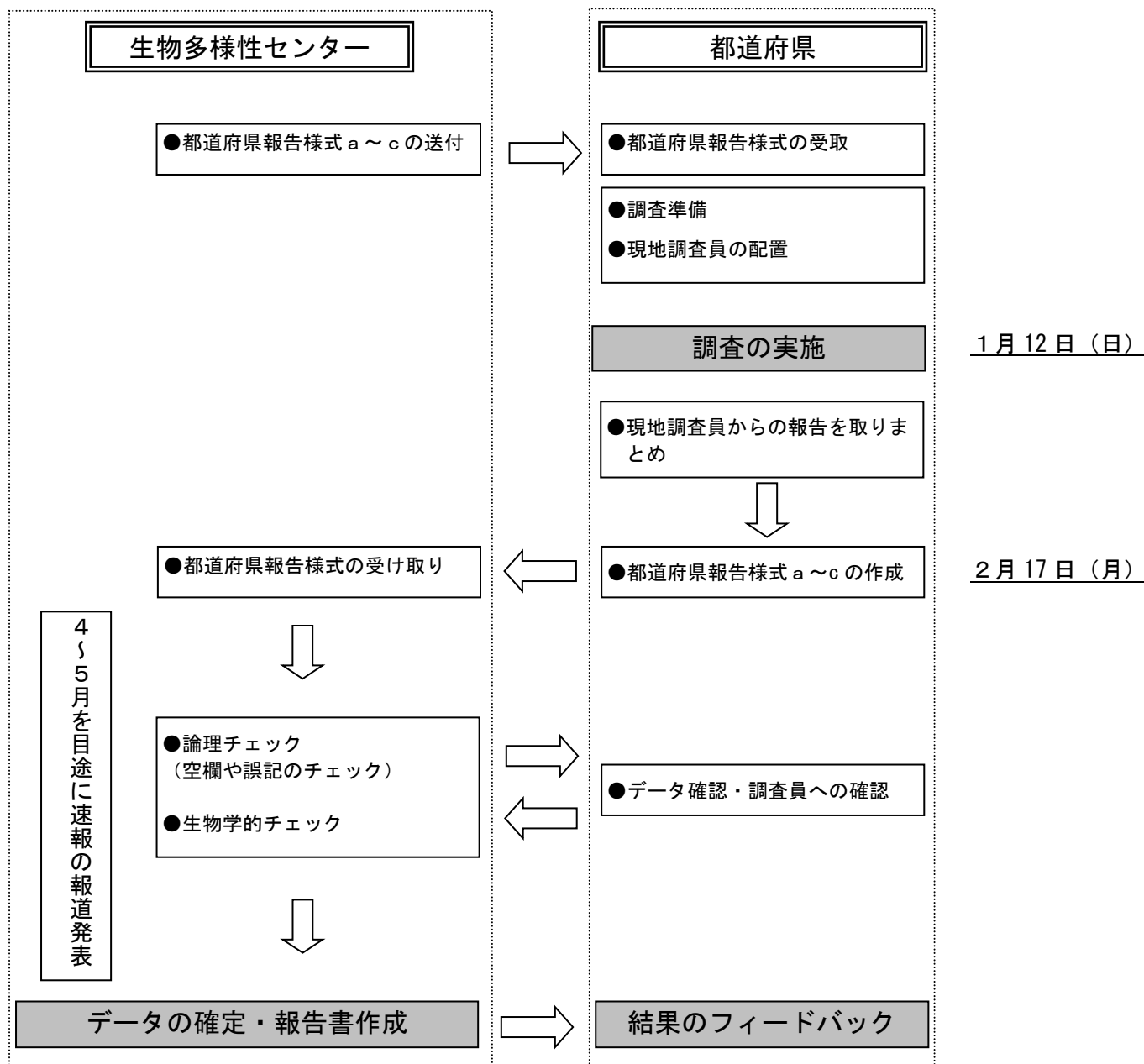
https://www.biodic.go.jp/gankamo/seikabutu/data/report/IdentificationGuide_bypage.pdf

●製本順 ※短辺綴じの両面印刷で出力し、出力された順に重ね、内側に折る

https://www.biodic.go.jp/gankamo/seikabutu/data/report/IdentificationGuide_bi-fold.pdf

第3章 調査全体の流れ・データの受け渡し

調査全体の流れは以下のとおりです。



例年、論理チェック並びに生物学的チェックの結果、再照会を要するデータがあるため、各都道府県ご担当の皆様には大変お手数をお掛けしております。エラーの低減、迅速な処理及び確定データの早期公開に向け、必須項目が空欄になっていないか等につきましては、御提出前に再度ファイルを御確認いただきますよう、御協力をお願いいたします。

ガンカモ類の生息調査 調査項目

1 調査地点（都道府県報告様式 a、現地調査員報告様式例 1）

ガンカモ類の渡来の有無に関わらず、調査を実施した調査地はすべて記録してください。
なお、「都道府県報告様式 a」及び「現地調査員報告様式例 1」については、前年度の調査地点情報をあらかじめ記載してあります。

（1）地点情報コード（調査継続状況の把握）

各調査地点が、下記選択肢のいずれに該当するかを確認してください。

- 0（継続）：前年度から継続して調査を実施した地点
- 1（復活）：前年度には調査を実施しなかったが、1989年（昭和63年度調査）以降1度でも調査を実施したことがある地点
 - ※ 昭和63（1988）年度以降の全調査地点については、環境省から電子メールに添付してお送りする別紙1-3「1989-2024年ガンカモ調査地点リスト」に整理しておりますので、御参照ください。
- 2（新規）：新規の調査地点
- 3（休止）：今年度調査を実施しなかった地点

（2）調査地点番号

調査地の番号は、1調査地に1つずつ与えられています。これまで、過去とは異なる番号が記録されたり、既に登録されている番号が新たな地点の番号として記録されている事例がありましたので、御注意ください。

- ア 前年度からの継続調査地は、既存番号を変更しないこと。
- イ 昭和63（1988）年度～令和4（2022）年度のいずれかの年度に調査を行ったが、令和5（2023）年度には調査を行わず、今年度再び調査を行った場合は、過去に使用した番号を記録すること（別紙1-3「1989-2024年ガンカモ調査地点リスト」参照）。
 - ただし、昭和62（1987）年度以前のいずれかの年度に調査を行ったが、その後調査を行わず、今年度再び調査を行った場合は、新規の場合と同様に取り扱うこと。
- ウ 新規調査地の調査地点番号については、現地調査員が都道府県の取りまとめ担当者に、これまで一度も使用していない番号であるかどうかを確認したうえで記録すること。

(3) 調査地点名

調査地の地名等を必ず記録してください。

特に、(6) 地況コードが2～6に該当する場合は、河川名、湖沼名等を必ず記録してください。

また、同一河川、湖沼等において、複数の調査地点を設定している場合には、河川名、湖沼名等を先に記録し、ハイフン（－）に続けて詳細な地点名を記録してください。

【記録例】

同一河川、湖沼等に調査地点が一つだけの場合	〇〇湖
同一河川、湖沼等に調査地点が複数ある場合	△△川－××川合流地点
	△△川－□□橋地点
	△△川－◇◇水門地点

(4) 調査地域番号及び調査地域名称

各都道府県内において、一つの湖沼周囲に設置された複数の調査地点や、一つの河川に沿って設置された複数の調査地点など、都道府県担当者の視点で一体として扱うべき調査地点群を「調査地域」としてグルーピングし、その名称（湖沼名、河川名等、以下の例参照）を記録してください。これにより、今後の解析において、湖沼単位や河川単位の集計が容易になります。新規にグルーピングする際には、調査地域番号に重複がないよう御留意ください。

【調査地域番号及び名称記録例】

調査地点番号	調査地点名称	調査地域番号	調査地域名称
1015	A B C湖－D地点	5	A B C湖
1016	A B C湖－E地点		
1022	F G H湾 (X Y Z湖の湾)	1 2	X Y Z湖
1025	I J K島 (X Y Z湖の小島)		

(5) 市町村名

調査地を所管する市町村名を記録します。なお、複数の市町村にまたがって調査を実施した場合は、そのうちの代表的な市町村名を一つだけ記録してください。

(6) 地況

調査地の地況を下記のとおり分類し、該当する数字を記録してください。

- 1 (海岸) : 調査地域が海岸を含む海域の場合
- 2 (河口) : 調査地域が河口から海域にわたる場合
- 3 (河川) : 調査地域が河川敷を含む河川の場合
- 4 (湖沼) : 調査地域が自然湖沼の場合

- 5 (ダム湖) : 調査地域がダム湖の場合
- 6 (その他人造湖) : 調査地域がダム湖を除く人造湖の場合
(ため池、公園の池、ゴルフ場の池、堀等)
- 7 (その他) : 調査地域が1～6に該当しない場合
(貯木場、運河、水田、湿原、塩田跡等)

(7) 面積

湖沼、ダム湖、その他人造湖の開放水面の場合はその面積を、海岸、河口、河川、その他の場合は調査範囲の面積を、それぞれ ha 単位で記録してください（小数点以下第1位までとし、第2位は四捨五入）。

(8) 緯度、経度、測地系、調査地点位置図

(1) で新規に該当する調査地点、又は復活に該当し、緯度・経度が別紙1～3「1989-2024年ガンカモ調査地点リスト」に記載されていない調査地点においては、緯度・経度を秒単位まで記録してください。

調査地点の位置が不明な場合は、現地調査員に確認をしてください。

なお、位置の特定に当たっては調査範囲の中心的な地点を調査地点としてください。

※緯度・経度の記録は、地理院地図 (<http://maps.gsi.go.jp/>) 等を参照してください。

※「測地系」には原則として、世界測地系を用いてください。

※「日本測地系」を用いた場合のみ、その旨を備考欄に記録してください。

※測地系の詳細については、国土地理院 HP (下記 URL) を御参照ください。

■日本の測地系：<https://www.gsi.go.jp/sokuchikijun/datum-main.html>

■世界測地系の導入に関して：<https://www.gsi.go.jp/LAW/jgd2000-AboutJGD2000.htm>

(9) 鳥獣保護区等

下記の区分に従い、コード番号を記録します。なお、2種類以上の区分にかかる場合は最大3区分までとし、面積比率の高い順に左寄せで記録してください。

- 1 (鳥獣) : 調査地域が鳥獣保護区の場合
- 2 (休猟) : 調査地域が休猟区の場合
- 3 (法律) : 調査地域が鳥獣保護管理法施行規則第7条第1項第7号ハからチまでの場所の場合 (公道、自然公園法による特別保護地区、都市計画法による園地、自然環境保全法による原生自然環境保全地域、社寺境内、墓地)
- 4 (猟禁) : 調査地域が特定猟具使用禁止区域 (銃器) (注: 旧銃猟禁止区域) の場合
- 5 (猟制) : 調査地域が特定猟具使用制限区域 (銃器) (注: 旧銃猟制限区域) の場合
- 6 (猟区) : 調査地域が猟区の場合
- 7 (他) : 調査地域が1～6に該当しない場合

(10) 調査人数

調査人員の延べ人数を、調査地点ごとに記録してください。

(11) 現地調査員代表者名

現地調査員の代表者氏名を記録してください。

(12) 調査月日

調査を実施した月日を記録してください。

(13) 天候

調査実施時の天候を、次の区分に従って記録してください。

なお、例えば「晴ときどき曇、一時雪のち霧」等調査実施中に天候が変化した場合は、調査実施中の主要天候を一つ選んで記録してください。

1 : 晴 2 : 曇 3 : 雨 4 : 雪 5 : 霧

(14) 給餌の実施状況

調査地における給餌の有無を把握し、次の区分に従って記録してください。

なお、給餌の有無は、調査実施中に給餌を行ったか否かではなく、日常的に給餌事業等を行っているか否かを把握した上で記録ください。給餌事業の実施の有無を把握していない場合は不明と記録してください。

1 : 給餌有り 2 : 給餌無し 3 : 不明（給餌の実施状況未把握）

(15) 環境コード

調査地域の生息環境及びその変化が次の区分に当てはまる場合は、該当するコードを記録してください。なお、複数のコードに該当する場合は、そのすべてを記入欄に左寄せで記録してください。

1（全面凍結）： 調査地の水面が全面凍結している場合

2（一部凍結）： 調査地の水面が一部凍結している場合

3（水質悪化）： 調査地の水質が悪化している場合

※ ただし、調査実施中に水質の悪化が見られた場合に限らず、
前回調査時と比較して悪化した場合を含む。

4（水量減少）： 調査地の水量が減少している場合

※ ただし、調査実施中に水量の減少が見られた場合に限らず、
前回調査時と比較して減少した場合を含む。

5（工事）： 調査地で工事等を行っている場合

※ ただし、調査実施中に工事作業を実施している場合に限らず、過去の工事のために環境が変化している場合を含む。

- 6 (宅地化) : 調査地が前回調査と比較して宅地化が進んでいる場合
- 7 (埋立) : 調査地が前回調査と比較して埋立が進んでいる場合
- 8 (その他) : 調査地の環境が1～7以外の特別な状況にある場合

なお、上記「前回調査」とは、前年度調査のほか数年前に調査地とした場合を含め、今年度新規に調査地とした地点の場合は「以前」と読み替えるものとします。

また、8 (その他) に該当する場合、その具体的内容、特記事項等を「備考」欄に簡潔に記録してください。

2 ガンカモ類の個体数

(都道府県報告様式 a・b、現地調査員報告様式例 2～6)

(1) 個体数調査

ガン・カモ・ハクチョウ類の種ごとの個体数を記録してください。また、ガンカモ類の生息調査の各調査地点において観察されたカワウの個体数についても記録してください。

なお、別紙1-2「日本産鳥類目録第7版(平成24年改訂)抜粋改変版」に記載されている複数の亜種を含む種について、亜種別の個体数が把握できた場合は、都道府県報告様式b(任意報告)に各亜種の個体数、都道府県報告様式a(必須報告)に亜種別個体数の合計となる種の個体数を記録してください。

(2) 絶滅のおそれのある種及びカウント数の少ないカモ類について

下記に示すガンカモ類については、その種と判断した理由・根拠(識別ポイント)が報告された場合は備考欄に記録してください。

※ 専門家によるデータチェックの際に、さかのぼって確認できるようにしておくためのものです。

① 絶滅のおそれのある種:

シジュウカラガン、ハクガン、カリガネ、コクガン、ヒシクイ、ツクシガモ、トモエガモ

② 過年度調査でカウント数の少ないカモ類:

リュウキュウガモ、アカツクシガモ、シマアジ、アカハシハジロ、オオホシハジロ、メジロガモ、アカハジロ、ケワタガモ、コケワタガモ、アラナミキンクロ、ヒメハジロ、クビワキンクロ、コウライアイサ

(3) 移入種について

カナダガン（平成25年度までシジュウカラガン大型亜種として扱われていましたが、平成26年度より独立種としています。なお、国内に定着が確認されていた個体の防除は平成27年12月に完了しましたが、モニタリングとして国内の目撃情報を収集するための呼びかけを継続して行っています。）やコブハクチョウなどの人為的に持ち込まれた種については、確認された個体数を様式 a（必須報告）に記録してください。

(4) 飼養品種（任意報告項目）について

アヒルやアイガモなどの飼養品種で野外に逸出し繁殖しているおそれのあるものについて報告があった場合は、その個体数を様式 b（任意報告）に記録してください。

3 現地調査員内訳（都道府県報告様式 c、現地調査員報告様式例 7）

各都道府県における現地調査員の実人数を記録してください。

その際、現地調査員が①都道府県職員、②鳥獣保護管理員、③鳥獣保護管理員以外の 3 項目で分類し、各人数を集計します。②及び③の場合には、「保護団体関係者」、「狩猟団体関係者」、「保護・狩猟団体両団体関係者」、「その他」のいずれかまで区分します。

◆別紙1-2 日本産鳥類目録第7版(平成24年改訂)抜粋 改変版

「日本産鳥類目録第7版(平成24年改訂)抜粋改変版」(分類群順)

種名(和名)	データ記入用の様式		コードNo.		属	種	亜種	命名者、年	備考 (レッドリストランク等)
	現地調査 員報告様 式例	都道府県 報告様式	種コード	亜種コード					
鳥綱					AVES				
カモ目					ANSERIFORMES				
カモ科					Anatidae				
ガン類									
シジュウカラガン	3	a	077		<i>Branta</i>	<i>hutchinsii</i>		{Richardson, 1832}	
亜種シジュウカラガン	5	b	077	01	<i>Branta</i>	<i>hutchinsii</i>	<i>leucopareia</i>	{Brandt, 1836}	CR
亜種ヒメシジュウカラガン	5	b	077	02	<i>Branta</i>	<i>hutchinsii</i>	<i>minima</i>	Ridgway, 1885	
カナダガン	5	a	13128	01	<i>Branta</i>	<i>canadensis</i>	<i>moffitti</i>		移入
コクガン	3	a	078	01	<i>Branta</i>	<i>bernicla</i>	<i>orientalis</i>	{Tugarinov, 1941}	VU
ハイロガン	3	a	079	01	<i>Anser</i>	<i>anser</i>	<i>rubirostris</i>	{Swinhoe, 1871}	
マガン	3	a	080	01	<i>Anser</i>	<i>albifrons</i>	<i>albifrons</i>	{Scopoli, 1769}	NT
カリガネ	3	a	081		<i>Anser</i>	<i>erythropus</i>		{Linnaeus, 1758}	EN
ヒシクイ	3	a	082		<i>Anser</i>	<i>fabalis</i>		{Latham, 1787}	VU
亜種オオヒシクイ	5	b	082	01	<i>Anser</i>	<i>fabalis</i>	<i>middendorffii</i>	{Severtzov, 1873}	
亜種ヒメヒシクイ	5	b	082	02	<i>Anser</i>	<i>fabalis</i>	<i>curtus</i>	{Lonnberg, 1923}	
亜種ヒシクイ	5	b	082	03	<i>Anser</i>	<i>fabalis</i>	<i>serrirostris</i>	{Swinhoe, 1871}	VU
ハクガン	3	a	083		<i>Anser</i>	<i>caerulescens</i>		{Linnaeus, 1758}	
亜種ハクガン	5	b	083	01	<i>Anser</i>	<i>caerulescens</i>	<i>caerulescens</i>	{Linnaeus, 1758}	CR
亜種オオハクガン	5	b	1128	01	<i>Anser</i>	<i>caerulescens</i>	<i>atlanticus</i>	{Kennard, 1927}	
ミカドガン	5	b	084		<i>Anser</i>	<i>canagicus</i>		{Sevastianov, 1802}	
サカツラガン	3	a	085		<i>Anser</i>	<i>cygnoides</i>		{Linnaeus, 1758}	DD
インドガン	5	b	2128		<i>Anser</i>	<i>indicus</i>		{Latham, 1790}	
ハクチョウ類									
コブハクチョウ	2	a	086		<i>Cygnus</i>	<i>olor</i>		{Gmelin, 1789}	移入
ナキハクチョウ	5	b	087		<i>Cygnus</i>	<i>buccinator</i>		{Richardson, 1832}	
オオハクチョウ	2	a	088		<i>Cygnus</i>	<i>cygnus</i>		{Linnaeus, 1758}	
コハクチョウ	2	a	089		<i>Cygnus</i>	<i>columbianus</i>		{Ord, 1815}	
亜種コハクチョウ	5	b	089	01	<i>Cygnus</i>	<i>columbianus</i>	<i>jankowskyi</i>	{Alpheraky, 1904}	
亜種アメリカコハクチョウ	5	b	089	02	<i>Cygnus</i>	<i>columbianus</i>	<i>columbianus</i>	{Ord, 1815}	
コクチョウ	5	b	1128		<i>Cygnus</i>	<i>atratus</i>		{Latham, 1790}	移入
カモ類									
リュウキュウガモ	4-2, 5	a	090		<i>Dendrocygna</i>	<i>javonica</i>		{Horsfield, 1821}	
アカツシガモ	4-2, 5	a	091		<i>Tadorna</i>	<i>ferruginea</i>		{Pallas, 1764}	DD
ツクシガモ	4-2	a	092		<i>Tadorna</i>	<i>tadorna</i>		{Linnaeus, 1758}	VU
カンムリツクシガモ	5	b	093		<i>Tadorna</i>	<i>cristata</i>		{Kuroda, 1917}	EX
オシドリ	4-1	a	094		<i>Aix</i>	<i>galericulata</i>		{Linnaeus, 1758}	DD
マガモ	4-1	a	095	01	<i>Anas</i>	<i>platyrhynchos</i>	<i>platyrhynchos</i>	{Linnaeus, 1758}	
カルガモ	4-1	a	096		<i>Anas</i>	<i>zonorhyncha</i>		{Swinhoe, 1866}	
コガモ	4-1	a	097		<i>Anas</i>	<i>crecca</i>		{Linnaeus, 1758}	
亜種コガモ	5	b	097	01	<i>Anas</i>	<i>crecca</i>	<i>crecca</i>	{Linnaeus, 1758}	
亜種アメリカコガモ	5	b	097	02	<i>Anas</i>	<i>crecca</i>	<i>carolinensis</i>	{Gmelin, 1789}	
トモエガモ	4-2	a	098		<i>Anas</i>	<i>formosa</i>		{Georgi, 1775}	VU
ヨシガモ	4-1	a	099		<i>Anas</i>	<i>fulcata</i>		{Georgi, 1775}	
オカヨシガモ	4-1	a	100	01	<i>Anas</i>	<i>strepera</i>	<i>strepera</i>	{Linnaeus, 1758}	
ヒドリガモ	4-1	a	101		<i>Anas</i>	<i>penelope</i>		{Linnaeus, 1758}	
アメリカヒドリ	4-2, 5	a	102		<i>Anas</i>	<i>americana</i>		{Gmelin, 1789}	
オナガガモ	4-1	a	103		<i>Anas</i>	<i>acuta</i>		{Linnaeus, 1758}	
シマアジ	4-2, 5	a	104		<i>Anas</i>	<i>querquedula</i>		{Linnaeus, 1758}	
ハシビロガモ	4-1	a	105		<i>Anas</i>	<i>clypeata</i>		{Linnaeus, 1758}	
ミカツキシマアジ	5	b	4128		<i>Anas</i>	<i>discors</i>		{Linnaeus, 1766}	
アカハシハジロ	4-2, 5	a	106		<i>Netta</i>	<i>rufina</i>		{Pallas, 1773}	
ホシハジロ	4-1	a	107		<i>Aythya</i>	<i>ferina</i>		{Linnaeus, 1758}	
アメリカホシハジロ	5	b	108		<i>Aythya</i>	<i>americana</i>		{Eyton, 1838}	
オオホシハジロ	4-2, 5	a	109		<i>Aythya</i>	<i>valisineria</i>		{Wilson, 1814}	
クビワキンクロ	4-2	a	110		<i>Aythya</i>	<i>collaris</i>		{Donovan, 1809}	
メジロガモ	4-2, 5	a	111		<i>Aythya</i>	<i>nyroca</i>		{Guldenstadt, 1770}	
アカハジロ	4-2, 5	a	112		<i>Aythya</i>	<i>baeri</i>		{Radde, 1863}	DD
キンクロハジロ	4-1	a	113		<i>Aythya</i>	<i>fuligula</i>		{Linnaeus, 1758}	
スズガモ	4-1	a	114	01	<i>Aythya</i>	<i>marila</i>	<i>mariloides</i>	{Vigors, 1839}	
コスズガモ	5	b	115		<i>Aythya</i>	<i>affinis</i>		{Eyton, 1838}	
コケワタガモ	4-2, 5	a	116		<i>Polysticta</i>	<i>stelleri</i>		{Pallas, 1769}	
ケワタガモ	4-2, 5	a	117		<i>Somateria</i>	<i>spectabilis</i>		{Linnaeus, 1758}	
クロガモ	4-1	a	118		<i>Melanitta</i>	<i>nigra</i>		{Swainson, 1832}	

種名(和名)	データ記入用の様式		コードNo.		属	種	亜種	命名者、年	備考 (レッドリストランク等)
	現地調査 員報告様 式例	都道府県 報告様式	種コード	亜種コード					
ビロードキンクロ	4-2	a	119	01	<i>Melanitta</i>	<i>fusca</i>	<i>stegneri</i>	(Ridgway, 1887)	
アラナキンクロ	4-2, 5	a	120		<i>Melanitta</i>	<i>perspicillata</i>		(Linnaeus, 1758)	
シロガモ	4-2	a	121		<i>Histrionicus</i>	<i>histrionicus</i>		Brooks, 1915	
コオリガモ	4-2	a	122		<i>Clangula</i>	<i>hyemalis</i>		(Linnaeus, 1758)	
ホオジロガモ	4-2	a	123	01	<i>Bucephala</i>	<i>clangula</i>	<i>clangula</i>	(Linnaeus, 1758)	
ヒメハジロ	4-2, 5	a	124		<i>Bucephala</i>	<i>albeola</i>		(Linnaeus, 1758)	
ミコアイサ	4-2	a	125		<i>Mergus</i>	<i>albellus</i>		Linnaeus, 1758	
ウミアイサ	4-2	a	126		<i>Mergus</i>	<i>serrator</i>		Linnaeus, 1758	
コウライアイサ	4-2, 5	a	127		<i>Mergus</i>	<i>squamatus</i>		Gould, 1864	DD
カワアイサ	4-2	a	128		<i>Mergus</i>	<i>merganser</i>		Linnaeus, 1758	
亜種カワアイサ	5	b	128	01	<i>Mergus</i>	<i>merganser</i>	<i>merganser</i>	Linnaeus, 1758	
亜種コカワアイサ	5	b	128	02	<i>Mergus</i>	<i>merganser</i>	<i>comatus</i>	Salvadori, 1895	
飼養品種									
サカツラガンが原種					<i>Anser</i>	<i>cygnoides</i>		(Linnaeus, 1758)	
シナガチョウ	5	b	6128	01	<i>Anser</i>	<i>cygnoides</i>	<i>domesticus</i>	(Linnaeus, 1758)	移入、飼養
ハイロガンが原種					<i>Anser</i>	<i>anser</i>		(Linnaeus, 1758)	
セイウガチョウ	5	b	7128	01	<i>Anser</i>	<i>anser</i>	<i>domesticus</i>	(Linnaeus, 1758)	移入、飼養
ノバリケンが原種					<i>Cairina</i>	<i>moschata</i>		(Linnaeus, 1758)	
バリケン	5	b	9128	01	<i>Cairina</i>	<i>moschata</i>	<i>domestica</i>	(Linnaeus, 1758)	移入、飼養
マガモが原種					<i>Anas</i>	<i>platyrhynchos</i>		Linnaeus, 1758	
アヒル	5	b	10128	01	<i>Anas</i>	<i>platyrhynchos</i>	<i>domestica</i>	(Linnaeus, 1758)	移入、飼養
アイガモ	5	b	10128	02	<i>Anas</i>	<i>platyrhynchos</i>			雑種

※コードNo.は「生物多様性調査 日本産鳥類目録」(平成12年3月)のコードに準拠します。コードのない種については仮コード(コードNo.1128~13128)を付しています。
 ※備考欄のレッドリストランクは、平成24年8月28日発表のリストに基づいています。

「日本産鳥類目録第7版（平成24年改訂）抜粋改変版」（五十音順）

種名(和名)	データ記入用の様式		コードNo.		属	種	亜種	命名者、年	備考 (レッドリストランク等)
	現地調査 員報告様 式例	都道府県 報告様式	種コード	亜種コード					
鳥綱					AVES				
カモ目					ANSERIFORMES				
カモ科					Anatidae				
ガン類									
インドガン	5	b	2128		<i>Anser</i>	<i>indicus</i>		{Latham, 1790}	
カリガネ	3	a	081		<i>Anser</i>	<i>erythropus</i>		{Linnaeus, 1758}	EN
コクガン	3	a	078	01	<i>Branta</i>	<i>bernicla</i>	<i>orientalis</i>	{Tugarinov, 1941}	VU
サカツラガン	3	a	085		<i>Anser</i>	<i>cygnoides</i>		{Linnaeus, 1758}	DD
シジュウカラガン	3	a	077		<i>Branta</i>	<i>hutchinsii</i>		{Richardson, 1832}	
亜種シジュウカラガン	5	b	077	01	<i>Branta</i>	<i>hutchinsii</i>	<i>leucopareia</i>	{Brandt, 1836}	CR
亜種ヒメシジュウカラガン	5	b	077	02	<i>Branta</i>	<i>hutchinsii</i>	<i>minima</i>	{Ridgway, 1885}	
カナダガン	5	a	13128	01	<i>Branta</i>	<i>canadensis</i>	<i>moffitti</i>		移入
ハイロガン	3	a	079	01	<i>Anser</i>	<i>anser</i>	<i>rubrostris</i>	{Swinhoe, 1871}	
ハクガン	3	a	083		<i>Anser</i>	<i>caerulescens</i>		{Linnaeus, 1758}	
亜種ハクガン	5	b	083	01	<i>Anser</i>	<i>caerulescens</i>	<i>caerulescens</i>	{Linnaeus, 1758}	CR
亜種オオハクガン	5	b	1128	01	<i>Anser</i>	<i>caerulescens</i>	<i>atlanticus</i>	{Kennard, 1927}	
ヒシクイ	3	a	082		<i>Anser</i>	<i>fabalis</i>		{Latham, 1787}	
亜種オオヒシクイ	5	b	082	01	<i>Anser</i>	<i>fabalis</i>	<i>middendorffii</i>	{Severtzov, 1873}	
亜種ヒメヒシクイ	5	b	082	02	<i>Anser</i>	<i>fabalis</i>	<i>curtus</i>	{Lonnberg, 1923}	
亜種ヒシクイ	5	b	082	03	<i>Anser</i>	<i>fabalis</i>	<i>serrirostris</i>	{Swinhoe, 1871}	VU
マガン	3	a	080	01	<i>Anser</i>	<i>albifrons</i>		{Scopoli, 1769}	
ミカドガン	5	b	084		<i>Anser</i>	<i>canagicus</i>		{Sevastianov, 1802}	
ハクチョウ類									
オオハクチョウ	2	a	088		<i>Cygnus</i>	<i>cygnus</i>		{Linnaeus, 1758}	
コクチョウ	5	b	11128		<i>Cygnus</i>	<i>atratus</i>		{Latham, 1790}	移入
コハクチョウ	2	a	089		<i>Cygnus</i>	<i>columbianus</i>		{Ord, 1815}	
亜種コハクチョウ	5	b	089	01	<i>Cygnus</i>	<i>columbianus</i>	<i>jankowskyi</i>	{Alpheraky, 1904}	
亜種アメリカコハクチョウ	5	b	089	02	<i>Cygnus</i>	<i>columbianus</i>	<i>columbianus</i>	{Ord, 1815}	
コブハクチョウ	2	a	086		<i>Cygnus</i>	<i>olor</i>		{Gmelin, 1789}	移入
ナキハクチョウ	5	b	087		<i>Cygnus</i>	<i>buccinator</i>		{Richardson, 1832}	
カモ類									
アカツクシガモ	4-2	a	091		<i>Tadorna</i>	<i>ferruginea</i>		{Pallas, 1764}	DD
アカハシハジロ	4-2	a	106		<i>Netta</i>	<i>rufina</i>		{Pallas, 1773}	
アカハジロ	4-2	a	112		<i>Aythya</i>	<i>baeri</i>		{Radde, 1863}	DD
アメリカヒドリ	4-2	a	102		<i>Anas</i>	<i>americana</i>		{Gmelin, 1789}	
アメリカホシハジロ	5	b	108		<i>Aythya</i>	<i>americana</i>		{Eyton, 1838}	
アラナミキンクロ	4-2	a	120		<i>Melanitta</i>	<i>perspicillata</i>		{Linnaeus, 1758}	
ウミアイサ	4-2	a	126		<i>Mergus</i>	<i>serator</i>		{Linnaeus, 1758}	
オオホシハジロ	4-2	a	109		<i>Aythya</i>	<i>valisineria</i>		{Wilson, 1814}	
オカヨシガモ	4-1	a	100	01	<i>Anas</i>	<i>strepera</i>	<i>strepera</i>	{Linnaeus, 1758}	
オシドリ	4-1	a	094		<i>Aix</i>	<i>galericulata</i>		{Linnaeus, 1758}	DD
オナガガモ	4-1	a	103		<i>Anas</i>	<i>acuta</i>		{Linnaeus, 1758}	
カルガモ	4-1	a	096		<i>Anas</i>	<i>zonorhyncha</i>		{Swinhoe, 1866}	
カワアイサ	4-2	a	128		<i>Mergus</i>	<i>merganser</i>		{Linnaeus, 1758}	
亜種カワアイサ	5	b	128	01	<i>Mergus</i>	<i>merganser</i>	<i>merganser</i>	{Linnaeus, 1758}	
亜種コカワアイサ	5	b	128	02	<i>Mergus</i>	<i>merganser</i>	<i>comatus</i>	{Salvadori, 1895}	
カンムリツクシガモ	5	b	093		<i>Tadorna</i>	<i>cristata</i>		{Kuroda, 1917}	EX
キンクロハジロ	4-1	a	113		<i>Aythya</i>	<i>fuligula</i>		{Linnaeus, 1758}	
クビワキンクロ	4-2	a	110		<i>Aythya</i>	<i>collaris</i>		{Donovan, 1809}	
クロガモ	4-1	a	118		<i>Melanitta</i>	<i>nigra</i>		{Swainson, 1832}	
ケワタガモ	4-2	a	117		<i>Somateria</i>	<i>spectabilis</i>		{Linnaeus, 1758}	
コウライアイサ	4-2	a	127		<i>Mergus</i>	<i>squamatus</i>		{Gould, 1864}	DD
コオリガモ	4-2	a	122		<i>Clangula</i>	<i>hyemalis</i>		{Linnaeus, 1758}	
コガモ	4-1	a	097		<i>Anas</i>	<i>crecca</i>		{Linnaeus, 1758}	
亜種コガモ	5	b	097	01	<i>Anas</i>	<i>crecca</i>	<i>crecca</i>	{Linnaeus, 1758}	
亜種アメリカコガモ	5	b	097	02	<i>Anas</i>	<i>crecca</i>	<i>carolinensis</i>	{Gmelin, 1789}	
コケワタガモ	4-2	a	116		<i>Polysticta</i>	<i>stelleri</i>		{Pallas, 1769}	
コスズガモ	5	b	115		<i>Aythya</i>	<i>affinis</i>		{Eyton, 1838}	
シノガモ	4-2	a	121		<i>Histrionicus</i>	<i>histrionicus</i>		{Brooks, 1915}	
シマアジ	4-2	a	104		<i>Anas</i>	<i>querquedula</i>		{Linnaeus, 1758}	
スズガモ	4-1	a	114	01	<i>Aythya</i>	<i>marila</i>	<i>marloides</i>	{Vigors, 1839}	
ツクシガモ	4-2	a	092		<i>Tadorna</i>	<i>tadorna</i>		{Linnaeus, 1758}	VU
トモエガモ	4-2	a	098		<i>Anas</i>	<i>formosa</i>		{Georgi, 1775}	VU

種名(和名)	データ記入用の様式		コードNo.		属	種	亜種	命名者、年	備考 (レッドリストランク等)
	現地調査 員報告様 式例	都道府県 報告様式	種コード	亜種コード					
ハシビロガモ	4-1	a	105		<i>Anas</i>	<i>clypeata</i>		Linnaeus, 1758	
ヒドリガモ	4-1	a	101		<i>Anas</i>	<i>penelope</i>		Linnaeus, 1758	
ヒメハジロ	4-2	a	124		<i>Bucephala</i>	<i>albeola</i>		(Linnaeus, 1758)	
ビロードキンクロ	4-2	a	119	01	<i>Melanitta</i>	<i>fusca</i>	<i>stejnegeri</i>	(Ridgway, 1887)	
ホオジロガモ	4-2	a	123	01	<i>Bucephala</i>	<i>clangula</i>	<i>clangula</i>	(Linnaeus, 1758)	
ホシハジロ	4-1	a	107		<i>Aythya</i>	<i>ferina</i>		(Linnaeus, 1758)	
マガモ	4-1	a	095	01	<i>Anas</i>	<i>platyrhynchos</i>	<i>platyrhynchos</i>	Linnaeus, 1758	
ミカヅキシマアジ	5	b	4128		<i>Anas</i>	<i>discors</i>		Linnaeus, 1766	
ミコアイサ	4-2	a	125		<i>Mergus</i>	<i>albellus</i>		Linnaeus, 1758	
メジロガモ	4-2	a	111		<i>Aythya</i>	<i>nyroca</i>		(Guldenstadt, 1770)	
ヨシガモ	4-1	a	099		<i>Anas</i>	<i>falcata</i>		Georgi, 1775	
リュウキュウガモ	4-2	a	090		<i>Dendrocygna</i>	<i>javanica</i>		(Horsfield, 1821)	
飼養品種									
アイガモ	5	b	10128	02	<i>Anas</i>	<i>platyrhynchos</i>			雑種
アヒル	5	b	10128	01	<i>Anas</i>	<i>platyrhynchos</i>	<i>domestica</i>	(Linnaeus, 1758)	移入、飼養
シナガチョウ	5	b	6128	01	<i>Anser</i>	<i>cygnoides</i>	<i>domesticus</i>	(Linnaeus, 1758)	移入、飼養
セイヨウガチョウ	5	b	7128	01	<i>Anser</i>	<i>anser</i>	<i>domesticus</i>	(Linnaeus, 1758)	移入、飼養
バリケン	5	b	9128	01	<i>Cairina</i>	<i>moschata</i>	<i>domestica</i>	(Linnaeus, 1758)	移入、飼養

※「生物多様性調査 日本産鳥類目録」(平成12年3月)の中でコードが振られていない種については仮コード(コードNo.1128~13128)を付しています。
 ※備考欄のレッドリストランクは、平成24年8月28日発表のリストに基づいています。

◆別紙1-3 1989～2024年ガンカモ調査地点リスト

1989～2024年ガンカモ調査地点リスト項目を以下に示す。

項目名
最終調査実施年
都道府県
調査地点番号
市町村名
地況
調査地点名
調査地域番号
調査地域名称
1次メッシュコード
2次メッシュコード
3次メッシュコード
面積
緯度・度
緯度・分
緯度・秒
経度・度
経度・分
経度・秒
測地系

◆別紙 2 - 1 都道府県報告様式 a~c

都道府県報告様式 a 項目を以下に示す。

項目名	入力必須項目	コード入力項目	入力制限の有無	自動計算
変更の有無			○	
地点情報コード	○	○	○	
年	○			
都道府県	○			
調査地点番号	○			
調査地点名	○			
調査地域番号				
調査地域名称				
市町村名	○			
地況	○	○	○	
面積 (ha)	○			
緯度度	○		○	
緯度分	○		○	
緯度秒	○		○	
経度度	○		○	
経度分	○		○	
経度秒	○		○	
鳥獣保護区等(1)	○	○	○	
鳥獣保護区等(2)		○	○	
鳥獣保護区等(3)		○	○	
調査人員	○ (調査実施時のみ)			
調査員代表者名	○ (調査実施時のみ)			
調査月	○ (調査実施時のみ)		○	
調査日	○ (調査実施時のみ)		○	
天候	○ (調査実施時のみ)	○	○	
給餌コード	○	○	○	
環境コード(1)		○	○	
環境コード(2)		○	○	
環境コード(3)		○	○	
環境コード(4)		○	○	
環境コード(5)		○	○	
備考				
オオハクチョウ				
コハクチョウ				
アメリカコハクチョウ				
コブハクチョウ				
ハクチョウ類種不明				
シジュウカラガン				
カナダガン				
コクガン				
ハイイロガン				
マガン				
カリガネ				
ヒシクイ				
ハクガン				
サカツラガン				
ガン類種不明				

項目名	入力必須項目	コード入力項目	入力制限の有無	自動計算
オシドリ				
マガモ				
カルガモ				
コガモ				
ヨシガモ				
オカヨシガモ				
ヒドリガモ				
オナガガモ				
ハシビロガモ				
ホシハジロ				
キンクロハジロ				
スズガモ				
クロガモ				
トモエガモ				
ピロードキンクロ				
シノリガモ				
コオリガモ				
ホオジロガモ				
ウミアイサ				
カワアイサ				
ミコアイサ				
ツクシガモ				
リュウキュウガモ				
アカツクシガモ				
アメリカヒドリ				
シマアジ				
アカハシハジロ				
オオホシハジロ				
メジロガモ				
アカハジロ				
ケワタガモ				
コケワタガモ				
アラナミキンクロ				
ヒメハジロ				
クビワキンクロ				
コウライアイサ				
カモ種類不明				
ハクチョウ類合計				○
ガン類合計				○
カモ類合計				○
総合計				○
カワウ個体数				

都道府県報告様式 b 項目を以下に示す。

項目名
年
都道府県
調査地点番号
種コード
亜種コード
種名
個体数 羽
備考

都道府県報告様式 c 項目を以下に示す。

項目名
年
都道府県
都道府県職員
鳥獣保護管理員 保護団体関係者
鳥獣保護管理員 狩猟団体関係者
鳥獣保護管理員 保護・狩猟両団体関係者
鳥獣保護管理員 その他
鳥獣保護管理員以外 保護団体関係者
鳥獣保護管理員以外 狩猟団体関係者
鳥獣保護管理員以外 保護・狩猟両団体関係者
鳥獣保護管理員以外 その他

都道府県報告様式記入上の留意事項

1. 共通事項

各様式に共通する入力時の注意事項については、次のとおりです。

(1) 数字入力、漢字入力

各様式の 4～5 行目には、各列の調査項目が「数字」と「漢字」のどちらで入力すべきかが表示されています。数字入力の場合は半角数字で、漢字入力の場合は全角の漢字・ひらがな・カタカナで入力してください。

(2) 実施年

調査実施年の「2025」を入力します。年度（2024）ではありませんのでご注意ください。

(3) 調査地点番号

調査地点番号については、別紙 1 - 1 「ガンカモ類の生息調査 調査項目」 1 (2) をご確認のうえ、入力してください。

特に、都道府県報告様式 b（任意提出）においては、調査地点番号が地点を特定する唯一の情報となりますので、調査地点番号に間違いがないか御確認をお願いいたします。

2. 都道府県報告様式 a について【必須提出】

都道府県報告様式 a と現地調査員報告様式例 1～5 の対応は、以下のとおりです。

調査地点	地点情報 (現地調査員報告様式例 1)	ハクチョウ類 (現地調査員報告様式例 2)	ガン類 (現地調査員報告様式例 3)	カモ類 (現地調査員報告様式例 4)	カワウ (現地調査員報告様式例 5)

入力必須項目

本様式 a に掲載されている種以外の種は
「都道府県報告様式 b」で報告

入力画面イメージ 都道府県報告様式 a

【必須提出】様式 a																	
0	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17
変更の有無	地点情報コード	年	都道府県	調査地点番号	調査地点名	調査地域番号	調査地域名称	市町村名	地況	面積 (ha)	緯度	緯度分	緯度秒	経度	経度分	経度秒	鳥獣保護区等(1)
	数字	数字	数字	数字	漢字	数字	漢字	漢字	数字	数字	数字	数字	数字	数字	数字	数字	数字
20**		1		53	千歳川-7	1	千歳川	千歳市	3	50	42	49	42	141	39	33	7
20**		1		55	千歳川-9	1	千歳川	千歳市	3	50	42	50	41	141	40	10	7
20**		1		57	千歳川-11	1	千歳川	千歳市	3	5	42	55	23	141	39	12	7
20**		1		61	千歳川-11	1	千歳川	千歳市	3	0.5	42	52	58	141	40	50	4
20**		1						千歳市	2	30	42	16	25	140	16	41	7
20**		1						千歳市	1	30	42	6	42	140	35	47	7
20**		1						千歳市	1	200	42	2	22	140	49	6	7
20**		1						千歳市	1	50	41	54	27	140	58	34	3
20**		1						千歳市	1	50	41	53	38	141	1	0	7
20**		1						千歳市	1	40	41	45	31	141	5	6	7
20**		2		10				千歳市	2	10	41	45	40	141	4	40	3
20**		1		20				千歳市	1	20	41	44	43	141	4	37	7
20**		1		30				千歳市	1	30	41	44	4	141	3	9	7
20**		1		30				千歳市	1	30	41	43	38	141	2	28	7
20**		1		30				千歳市	1	30	41	43	17	141	0	47	7
20**		1		30				千歳市	1	30	41	42	55	141	0	24	7
20**		1		30				千歳市	1	30	41	43	2	140	59	38	7
20**		1		30				千歳市	1	30	41	42	41	140	57	25	7
20**		1		30				千歳市	1	30	41	44	0	140	56	4	7
20**		1		242	小安			函館市	1	30	41	44	41	140	54	28	7
20**		1		245	古川町			函館市	1	3	41	45	38	140	51	21	7
20**		1		246	志海苔町			函館市	2	3	41	45	47	140	49	22	7
20**				247	松倉川			函館市	3	3	41	46	36	140	47		3
20**								七飯町	4	65	41	58	44	140	46		3

「地点情報コード」をプルダウンより選択の上、御入力ください。

- ・0：継続地点（調査実施）
- ・1：復活地点（調査実施）
- ・2：新規地点（調査実施）
- ・3：休止地点（調査未実施）

様式 a にあらかじめ記載されている入力必須項目に変更がある場合は、プルダウンより「あり」を選択してください。変更がない場合は入力不要です。

「鳥獣保護区等(1)」～「備考」を御確認及び御入力ください。

(1) 様式 a 入力時の留意事項

お送りした今年度報告様式は、前年度の地点関連情報の一部があらかじめ記載されています。今後のエラー発生を最小限に抑えるため、必ずお送りした今年度報告様式をご利用ください。

- また、次のようなファイルの体裁を改変する操作は避けていただきますようお願いいたします。
- ・行・列の追加・削除・並べ替え（行の追加は、復活・新規調査地について入力する時のみ可能）
- ・行・列の非表示化（入力作業に伴う非表示化は問題ありませんが、提出時には全ての行・列を表示した状態にしてください。）
- ・スペースキーによるセル内容の削除（スペースキーでは完全に削除されないため、セル内容を削除するにはデリート又はバックスペースを使用してください。）
- ・シート追加時のシートの移動（報告用シートは常に一番左にしてください。）

(2) エラーチェックについて

報告様式には、以下のエラーチェック機能を付しております。今後のエラー発生を最小限に抑えるに当たって、調査結果報告前に御確認をお願いいたします。

- ・地点関連情報の入力必須項目が空欄の場合、セルが黄色く着色されるよう設定しております。
 - ✓ 調査結果を御提出いただく前に、空欄がないか御確認ください。
- ・地点関連情報に入力範囲外の数値が入力された場合、セルが赤く着色されるよう設定しております。
 - ✓ 入力内容に誤りがありませんか御確認ください。
- ・地点情報コードが3(休止)となっているものの、観察個体数の合計が1羽以上だった場合、「地点情報コード」のセルが青色に着色されるよう設定しております。
 - ✓ 「地点情報コード」または「観察個体数」に、行ずれや、誤りがありませんか等、御確認ください。

- ・カモ類のうち、観察が稀である種の個体数記入欄は色づけしております。
- ✓ 調査結果を御提出いただく前に、列ずれや、結果に誤りがないか等、御確認ください。

(3) 変更の有無について

様式 a にあらかじめ記載されている入力必須項目（前年度の地点関連情報）に変更がありましたら、プルダウンより「あり」を選択してください。変更がない場合は空欄で構いません。また、変更箇所は赤字でご記入をお願いいたします。

特に調査地点番号及び調査地点名については、よく御確認いただいた上で、変更してください。
また新規調査地点や復活した調査地点がある場合には、別紙 1 - 3 「1989～2024 年ガンカモ調査地点リスト」を参考に、過去に同一地点で調査が行われていないか確認したうえで、新たに行を追加し、地点関連情報を赤字で御入力ください。

(4) 緯度・経度・測地系

緯度・経度とも“度”“分”“秒”ごとに入力欄が用意されています。分・秒は、必ず 00～59 の間の数値を（60 進法で）入力してください。

【緯度・経度入力例：東経 135 度 8 分 3 秒の場合】

度	分	秒
135	08	03

（上記例のように“08” “03”のような場合は、単に“8” “3”と入力しても構いません。）

また、緯度・経度計測の際に基準となるのが「測地系」ですが、新規調査地の緯度・経度計測に際して、原則として「世界測地系」を用いてください。なお、「日本測地系」を用いた場合は、その旨を備考欄に明記してください。

測地系の詳細については国土地理院の HP（下記 URL）を御参照ください。

■日本の測地系：<https://www.gsi.go.jp/sokuchikijun/datum-main.html>

■世界測地系の導入に関して：<https://www.gsi.go.jp/LAW/jgd2000-AboutJGD2000.htm>

(5) コードを入力する項目について

下記 1)～6) は別紙 1 - 1 「ガンカモ類の生息調査 調査項目」に記載のコードを入力いただくにあたって、プルダウンを設定しております。該当するコードをプルダウンより選択いただき、御入力ください。該当するコード番号を直接御入力いただくことも可能です。

なお、プルダウンの設定用の「コードリスト（変更不可）」シートについては、内容の変更を避けるため編集制限をかけております。

1) 地点情報コード（調査継続状況の把握）

別紙 1 - 1 「ガンカモ類の生息調査 調査項目」 1 (1) を参照し、0～3 のいずれかを入力してください。

2) 地況コード

別紙 1 - 1 「ガンカモ類の生息調査 調査項目」 1 (6) を参照し、1～7 のいずれかを入力してください。

3) 鳥獣保護区等コード

別紙1-1「ガンカモ類の生息調査 調査項目」1(9)を参照し、1～7のいずれか、または空白が入ります。

なお、2種類以上の区分にかかる場合は最大3区分までとし、面積比率の高い順に左寄せで該当する数字を入力してください。

【鳥獣保護区等コード入力例】

鳥獣保護区等		
1	7	

該当区分が2つの場合

4) 天候コード

別紙1-1「ガンカモ類の生息調査 調査項目」1(13)を参照し、1～5のいずれかを入力してください。

5) 給餌コード

別紙1-1「ガンカモ類の生息調査 調査項目」1(14)を参照し、1～3のいずれかを入力してください。

6) 環境コード

環境コード入力欄は5列分あります。別紙1-1「ガンカモ類の生息調査 調査項目」1(15)を参照し、該当する環境コードを左詰で順に入力してください。それ以外の箇所は空白のままとしてください。

【環境コード入力例】

環境コード				
1	3	7		

環境コードの対象が“1” “3” “7”の場合

↓

↓

↓

残りの環境コード欄は空欄のままとします

(6) 観察個体数 (ハクチョウ類、ガン類、カモ類、カワウ)

調査地点番号を基にして報告様式a中の当該箇所に入力していきます。

なお、ハクチョウ類、ガン類、カモ類のうち複数の亜種を含む種の個体数は、亜種別個体数(都道府県報告様式bに記録)の合計となりますので、適宜、都道府県報告様式b(任意提出)と照合しつつご確認ください。

3. 都道府県報告様式 b について【任意提出】

入力画面イメージ2 都道府県報告様式 b

【任意提出】都道府県報告様式 b

1	2	3	4	5	6	7	8
年	都道府県	調査地点番号	種コード	亜種コード	種名	個体数羽	備考
数字	数字	数字	数字	数字	漢字	数字	漢字
20**							

(1) データ報告

別紙1-2「日本産鳥類目録第7版（平成24年改訂）抜粋改変版」に掲載されている種で複数の亜種を含むものを亜種まで同定した場合と、都道府県報告様式 a に記載されていない種が確認された場合に、調査地点別・種別に御報告ください（参考資料1「現地調査員報告様式例」6に対応）。

(2) 調査地点番号

必ず、都道府県報告様式 a に入力されている調査地点番号を入力してください。

(3) 種コード・亜種コード・種名

別紙1-2「日本産鳥類目録第7版（平成24年改訂）抜粋改変版」に掲載されている『種コード』・『亜種コード』・『種名』を入力してください。なお、同じ種内で複数の亜種がいた場合、様式 b における亜種別個体数の合計が、様式 a における種の個体数に相当します。

【報告様式 b 入力例】

調査地点 A（調査地点番号 123）で観察されたヒシクイのうち、亜種オオヒシクイが 100 羽、亜種ヒシクイが 20 羽であった場合

・都道府県報告様式 b には、亜種別の個体数をそれぞれ入力する。

【任意提出】都道府県報告様式 b

1	2	3	4	5	6	7	8
年	都道府県	調査地点番号	種コード	亜種コード	種名	個体数羽	備考
数字	数字	数字	数字	数字	漢字	数字	漢字
20**	**	123	82	1	亜種オオヒシクイ	100	
20**	**	123	82	3	亜種ヒシクイ	20	

・都道府県報告様式 a におけるヒシクイの個体数は、亜種別個体数の合計（120羽）となる。

4. 都道府県報告様式cについて【必須提出】

入力画面イメージ3 都道府県報告様式c

【必須提出】都道府県報告様式c

1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11
年	都道府県	都道府県職員	鳥獣保護管理員				鳥獣保護管理員以外			
			保護団体関係者	狩猟団体関係者	保護・狩猟両団体関係者	その他	保護団体関係者	狩猟団体関係者	保護・狩猟両団体関係者	その他
数字	数字	数字	数字	数字	数字	数字	数字	数字	数字	数字
20**										

(1) データ報告

都道府県報告様式cについては、現地調査員に関するデータをまとめます（参考資料1「現地調査員報告様式例」7に対応）。1行分のみのデータ報告となります。本様式については、必ず御提出ください。

◆参考資料1 現地調査員報告様式例1～7

現地調査員報告様式例の構成は下記のとおり。

- 現地調査員報告様式例1 調査地点調査票
- 現地調査員報告様式例2 ハクチョウ類個体数調査票
- 現地調査員報告様式例3 ガン類個体数調査票
- 現地調査員報告様式例4-1 カモ類個体数調査票(1)
- 現地調査員報告様式例4-2 カモ類個体数調査票(2)
- 現地調査員報告様式例5 カワウ個体数調査票
- 現地調査員報告様式例6 その他のガンカモ類個体数調査票
- 現地調査員報告様式例7 調査員内訳調査票

様式例のイメージを次ページ以降に記載した。

現地調査員報告様式例2 ハクチョウ類個体数調査票

調査実施年① _____ 年 (都道府県名② _____ ページ数 - (_____))

(単位：羽)

調査地点番号	オオハクチョウ	コハクチョウ	アメリカ コハクチョウ	コブハクチョウ	ハクチョウ類 種不明	合計
計						

現地調査員報告様式例3 ガン類個体数調査票

調査実施年① _____ 年 (都道府県名② _____ ページ数 - (_____))

- * 1 シジュウカラガンには亜種シジュウカラガンと亜種ヒメシジュウカラガン、ヒシクイには亜種オオヒシクイと亜種ヒメヒシクイ及び亜種ヒシクイ、ハクガンには亜種ハクガンと亜種オオハクガンをそれぞれ含みます。
本票へは亜種を含めた個体数の合計を記載いただき、亜種別の個体数は、現地調査員報告様式例6へ記載してください。
- * 2 平成25年度までカナダガンはシジュウカラガン大型亜種としてシジュウカラガンの個体数に含めていましたが、分類の見直しにより単独の種として記載します。

(単位：羽)

調査地点番号	シジュウカラガン*1	カナダガン*2	コクガン	ハイイログガン	マガン	カリガネ	ヒシクイ*1	ハクガン*1	サカツラガン	ガン類種不明	合計
計											

現地調査員報告様式例記入上の留意事項等

第 1 章 現地調査員報告様式例・都道府県報告様式対応

現地調査員報告様式例と都道府県報告様式は、以下のとおり対応しています。

表 1 現地調査員報告様式例・都道府県報告様式対応表

都道府県報告様式	現地調査員報告様式例	内容
a	1 調査地点調査票	調査地点の位置・環境等の基礎情報
	2 ハクチョウ類個体数調査票	地点別ハクチョウ類の個体数
	3 ガン類個体数調査票	地点別ガン類の個体数
	4 カモ類個体数調査票	地点別カモ類の個体数
	5 カワウ個体数調査票	地点別カワウの個体数
b	6 その他のガンカモ類個体数調査票	都道府県報告様式 a (現地調査員報告様式 2～4) に記載のないガンカモ類の個体数
c	7 調査員内訳調査票	調査員の所属内訳

第 2 章 各調査票作成に当たっての共通事項

調査票の整理・チェックのため、枠外所定の位置に

調査実施年① (2025年 【注】2024年ではありません)、都道府県名②を記入するとともに、ページ番号を記入してください。

※文中の①～⑱は現地調査員報告様式例中の①～⑱と対応

第3章 調査地点調査票（現地調査員報告様式例1）の作成

1. 継続調査地及び新規調査地

前年度からの継続調査地については、当該データを2段書きの上段に記入してありますので、変更箇所があれば赤線を引いて下段に赤字で記入してください。

また、新規調査地については、余部の調査票の上段に記入してください。

(記入例)

	③	④	⑤
	調査地点番号	調査地点名	市町村名 (1ヶ所のみ記入)
変更がない場合は記入不要です。	1	霞ヶ関海岸	環境町
変更がある場合は下段に赤字で記入して下さい。	2	千代田ダム	環境町 地球市
新規調査地は、余部の上段に新たに記入して下さい。	401	生物市水田	生物市

2. 地況コード⑥

「ガンカモ類の生息調査 調査項目」1 (6)を確認の上、該当するコード番号に丸印 (○) を付けます。

3. 鳥獣保護区等⑪

「ガンカモ類の生息調査 調査項目」1 (9)を確認の上、該当するコード番号に丸印 (○) を付けます。

4. 天候⑯

「ガンカモ類の生息調査 調査項目」1 (13)を確認の上、“1”～“5”のコード番号を記入します。

5. 給餌コード⑰

「ガンカモ類の生息調査 調査項目」1 (14)を確認の上、1 (有)、2 (無)、3 (不明)のいずれかに丸印 (○) を付けます。

6. 環境コード⑱、備考⑲

「ガンカモ類の生息調査 調査項目」1 (15)を確認の上、該当するコード番号に丸印 (○) を付けます。

8 (その他)に該当する場合、その具体的内容、特記事項等を備考欄に簡潔に記入してください。

第4章 個体数調査票（現地調査員報告様式例2～6）の作成

「別紙1-1 ガンカモ類の生息調査 調査項目」2(2)を確認の上、現地調査員報告様式例4-2右半分の、種名に＊を付けた希少なカモ類について、その種と判断した理由・根拠（識別ポイント）がある場合は、現地調査員報告様式例6にも記入し、「備考・識別ポイント」の欄にその種と判断した理由を記入してください。

1. 調査地点番号

調査地点番号については、調査地点調査票（現地調査員報告様式例1）の作成時に使用した番号(③)に合わせて、記入します。

2. 種別個体数（ハクチョウ類、ガン類、カモ類、カワウ）

調査地点ごとに、種別個体数を記入してください。

3. 亜種（ハクチョウ類、ガン類、カモ類）

ハクチョウ類、ガン類、カモ類のうち、同じ種内に複数の亜種を含む種について、亜種レベルまで個体数が把握できた場合は、現地調査員報告様式例2～4にその合計数を記入し、現地調査員報告様式例6ではその内訳を記入してください。

4. 種コード・亜種コード・種名

現地調査員報告様式例6の「種コード」・「亜種コード」・「種名」は、別紙1-2「日本産鳥類目録第7版（平成24年改訂）抜粋改変版」に記載されているものを記入してください。

第56回ガンカモ類の生息調査報告書（令和6年度）

令和8年(2026)年3月

環境省自然環境局
生物多様性センター

〒403-0005 山梨県富士吉田市上吉田剣丸尾 5597-1
電話：0555-72-6033

業務名 令和7年度ガンカモ類の生息調査報告書等作成業務

請負者 株式会社 数理計画
〒101-0064 東京都千代田区神田猿樂町2丁目5番4号（OGAビル）